令和８年度　保育所管理事業
新保育園建設　建築工事

実施設計図

駒ヶ根市　教育委員会　子ども課

株式会社 倉橋建築計画事務所

図面番号	タイトル	SCALE	図面番号	タイトル	SCALE	図面番号	タイトル	SCALE	図面番号	タイトル	SCALE
	建築意匠図　計75枚（表紙･図面ﾘｽﾄを除く）	A3			A3					構造図　計22枚	A3
A-01	建築概要	―	A-46	家具図1	1/40				S-01	構造設計特記仕様書（1）	―
A-02	木造特記仕様書（その1）	―	A-47	家具図2	1/40				S-02	構造設計特記仕様書（2）	―
A-03	木造特記仕様書（その2）	―	A-48	家具図3	1/40				S-03	RC構造配筋標準図（1）	―
A-04	木造特記仕様書（その3）	―	A-49	家具図4	1/40				S-04	RC構造配筋標準図（2）	―
A-05	木造特記仕様書（その4）	―	A-50	サイン計画図	1/300				S-05	RC構造配筋標準図（3）	―
A-06	木造特記仕様書（その5）	―	A-51	システムキッチン参考図1（事務室）	1/30				S-06	鉄骨構造標準図（1）	―
A-07	木造特記仕様書（その6）	―	A-52	システムキッチン参考図2（事務室）	1/30				S-07	木質工事特記仕様書	―
A-08	工事区分表	―	A-53	システムキッチン参考図3（調乳室）	1/30				S-08	木造標準図	―
A-09	配置図	1/300	A-54	外構図	1/300				S-09	基礎伏図	1/200
A-10	用地実測図・面積計算　計算書	1/500	A-55	外構詳細図1	1/20				S-10	1階床伏図	1/200
A-11	建物求積図・求積表	1/300	A-56	外構詳細図2	1/40				S-11	桁梁レベル伏図	1/200
A-12	法規チェック図1	1/200	A-57	外構詳細図3	1/40				S-12	屋根梁伏図	1/200
A-13	法規チェック図2	―	A-58	外構詳細図4	1/20				S-13	垂木伏図	1/200
A-14	仕上表1	―	A-59	外構詳細図5	1/20				S-14	軸組図1	1/200
A-15	仕上表2	―	A-60	外構詳細図6	1/50				S-15	軸組図2	1/200
A-16	仕上表3	―	A-61	外構詳細図7	1/40				S-16	軸組図3	1/200
A-17	平面図	1/200	A-62	外構詳細図8	1/20 1/40				S-17	軸組図4	1/200
A-18	屋根伏図	1/200	A-63	物置参考図	1/50				S-18	軸組図5	1/200
A-19	立面図1	1/200	A-64	パーゴラ参考図	1/50				S-19	RC部材リスト	1/40
A-20	立面図2	1/200	A-65	プール参考図	A2:1/20 1/50				S-20	T1詳細図	1/20
A-21	断面図	1/200	A-66	中型4人乗りブランコ参考図	1/40				S-21	T2詳細図	1/20
A-22	平面詳細図1	1/100	A-67	中型4人乗りブランコ防護柵参考図	1/50				S-22	T3詳細図	1/20
A-23	平面詳細図2	1/100	A-68	4人用L型ハント棒（鉄棒付）参考図	1/25						
A-24	平面詳細図3	1/100	A-69	複式すべり台（ステンレス張）参考図	1/40						
A-25	断面詳細図1	1/50	A-70	4枠×6階ジャングルジム参考図	1/30						
A-26	断面詳細図2	1/50	A-71	水平雲梯参考図	1/30						
A-27	断面詳細図3	1/50	A-72	砂場（4000×4000）参考図	1/30						
A-28	断面詳細図4	1/50	A-73	日除けシェルター（1）参考図	1/50						
A-29	断面詳細図5	1/50	A-74	日除けシェルター（2）参考図	1/40						
A-30	天井伏図	1/200	A-75	仮設計画図	1/300						
A-31	展開図1	1/100									
A-32	展開図2	1/100									
A-33	展開図3	1/100									
A-34	展開図4	1/100									
A-35	展開図5	1/100									
A-36	展開図6	1/100									
A-37	展開図7	1/100									
A-38	展開図8	1/100									
A-39	鋼製建具キープラン	1/200									
A-40	鋼製建具表1	1/100									
A-41	鋼製建具表2	1/100									
A-42	木製建具キープラン	1/200									
A-43	木製建具表1	1/100									
A-44	木製建具表2	1/100									
A-45	家具キープラン	1/200									

令和8年度　保育所管理事業
新保育園建設　建築工事

図面リスト

SCALE	DATE
―	2026.09.14

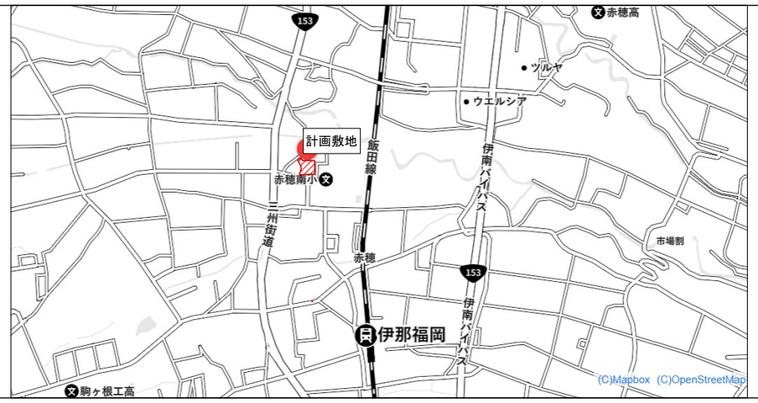
A-00

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

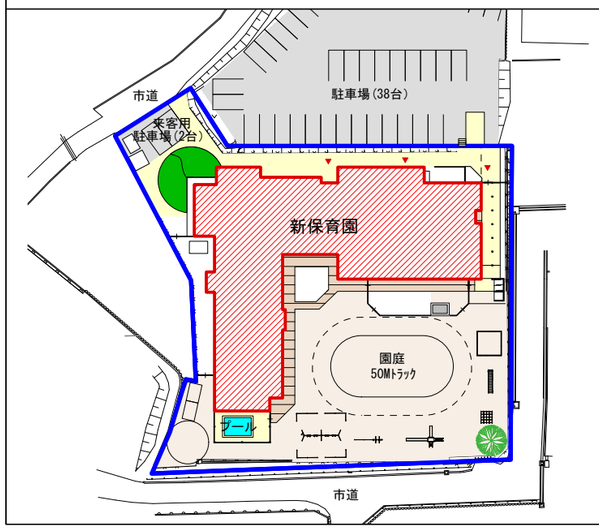
工 事 概 要

工事名称	令和８年度　保育所管理事業　新保育園建設工事		
工事場所	長野県駒ケ根市赤穂　8858、8863、8864-1、8864-2、8865-2	住居表示:	
敷地条件	敷地面積	実測　：2,988.83㎡	境界確定:(済)・未了　(官一民)　(民一民)
		測定日:	測定者　:
	地域・地区	都市計画区域内　用途地域の指定のない区域（許容建ぺい率:60%、許容容積率:200%）	(200/60) 容積率%　建ぺい率%
		防火地域:指定なし	
		駒ケ根市景観計画区域内（周辺田園・河岸段丘地域）	
	周辺道路	市道1-666号線　幅員3.5～4.7m、市道1-974号線　幅員4.6～5.3m、市道1-975号線　幅員2.8～5.6m	
	日影規制	有・(無)（軒の高さ7m未満のため）　5m～10m:時間　10m以上:時間　測定高　真北測定者:	
	騒音規制	有・(無)	
	排水規制	(有)・無　下水放流(可)・不可)	
環境条件	自然・気象		
諸元	棟数・棟名	計:4棟　既存建物　有・(無)	駐車台数　建物内:0台・敷地内:2台(来客用)
			敷地外:38台(送迎用)、1台(厨房用)
	建ぺい率	36.63%　≦　許容建ぺい率:60%	駐輪台数　建物内:0台・敷地内:0台
	容積率	33.41%　≦　許容容積率:200%	
	建築面積	1,094.80 ㎡	
	容積対象延床面積	998.33 ㎡	
許可申請	建築確認申請、建築物エネルギー消費性能適合性判定、景観条例届出		
工期			
工事範囲	(建築工事)((仕上)(躯体)(外構))(設備工事)((電気)(衛生)(空調)(防災) 昇降機等 (厨房設備)生産施設関連)		
別途工事			

案 内 図



工 区・工 期



建築工事：保育園の建替工事

電気設備工事：保育園の建替に伴う電気設備工事

機械設備工事：保育園の建替に伴う機械設備工事（厨房設備工事を含む）

外構工事：保育園の建替に伴う外構整備工事（屋外遊具工事を含む）

床 面 積 表

	階	床面積	建築面積参入	建築面積	
新保育園　園舎	1階	983.49 ㎡		1,079.96 ㎡	
カート・遊具置場	1階	4.77 ㎡		4.77 ㎡	
既製品物置　2棟	1階	10.07 ㎡		10.07 ㎡	
	合　計	998.33 ㎡		1,094.80 ㎡	

建 築 概 要

		新保育園
建築基準法	工事種別	新築
	用途	区分:08180（保育所その他これに類するもの）
	耐火建築物等	その他（指定なし）
	特殊建築物	別表第(い)欄(2)項 児童福祉施設等(保育所)
	無窓居室/内装制限	無窓居室 (有)・無　採光 換気 排煙 / 内装制限 (有)・無
	主要構造	□RC造 □S造 ■木造
	階数	地上 1 階 / 地下 0 階
	最高高さ	7.130m（軒高：6.630 m）
	建築面積	1,094.80 ㎡
	延床面積	998.33 ㎡
消防法	特定防火対象物	(6)ハ(3) 保育所
	収容人員	園児:100名・職員:23名
建築工事	杭・基礎	布基礎
	躯体	木造
	床下断熱	断熱材:(有)・無　A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板3種b(ｱ)50
	屋根	仕上:ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板(ｱ)0.5 立ﾊｾﾞ葺き、一部強化ｶﾞﾗｽ(ｱ)5
		下地:ｺﾞﾑｱｽｼｰﾄ + 構造用合板(ｱ)24 + 木組下地
		断熱材:(有)・無　(内)・外　A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板1種b(ｱ)90
	外壁	仕上:窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ(ｱ)16、ｽｷﾞ羽目板張り(ｱ)12 木材保護塗料塗り
		下地:通気胴縁 + 透湿防水ｼｰﾄ + 構造用合板(ｱ)12 + 木組下地
		断熱材:(有)・無　(内)・外　高性能ｶﾞﾗｽｳｰﾙ16K(ｱ)100
	開口部	ｱﾙﾐ樹脂複合ｻｯｼ(住宅用・複層ｶﾞﾗｽ)、木製建具(玄関扉)
	主要内部仕上	床:複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ
		壁:ｼｱ合板、EP塗装、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ　天井:木毛ｾﾒﾝﾄ板、EP塗装、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ
設備工事	電気	受変電設備、幹線動力設備、電灯ｺﾝｾﾝﾄ設備、構内交換設備、情報配管配線設備
		拡声設備、ﾃﾚﾋﾞ共聴設備、ｲﾝﾀｰﾎﾝ設備、ﾄｲﾚ呼出設備、時計設備、防犯設備
	衛生	衛生器具設備、給排水設備、ｶﾞｽ給湯設備
	空調	空調設備、床暖房設備、換気設備
		自動制御設備
	厨房	厨房設備
	防災	消火器、ﾊﾟｯｹｰｼﾞ型消火設備、自動火災報知設備、自動火災通報設備
	昇降機等	

区画構造（耐火・準耐火構造）

摘要箇所		要求性能	構造方法		備考
壁	防火上主要な間仕切壁	準耐火45分	間柱及び下地を木材で造り、かつ、その両側に下記防火被覆が設けられたもの。 厚さ15mm以上の石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	平成12年建設省告示第1358号一項ハ	(令114条2項)
壁	小屋裏隔壁	準耐火45分	間柱及び下地を木材で造り、かつ、その両側に下記防火被覆が設けられたもの。 厚さ15mm以上の石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	平成12年建設省告示第1358号一項ハ	(令114条3項)
間仕切壁 垂れ壁	防煙区画 防煙壁		不燃材料で造られ、または覆われた下記のもの ・間仕切壁 ・天井から下方へ50cm以上突出した垂れ壁		(令126条の2、令126条の3)

特 記 事 項

園舎本体は、延床面積1000㎡以下により「その他建築物」とする。

耐火・準耐火建築物に該当しないため、面積区画なし(令112条2項)

平屋建てのため、竪穴区画なし(令112条9項)

防火上主要な間仕切壁を準耐火構造とし、小屋裏又は天井裏まで達するように設ける(令114条2項)

建物面積が300㎡を超えるため、桁行間隔12m以内の小屋裏に準耐火構造の隔壁を設ける(令114条3項)

		SCALE	DATE	
令和8年度　保育所管理事業 新保育園建設　建築工事	建築概要	—	2026.09.14	A-01

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

令和８年度　保育所管理事業　新保育園建設　建築工事

特 記 仕 様 書

Ⅰ.　工事概要

1．工事場所　長野県駒ケ根市赤穂8863番地　外

2．敷地面積　2,988.83㎡

3．工事種目

建　物　別	種　別	構　造	階　数	建築面積(㎡)	延面積(㎡)
保育所	新築	木造	1	1,079.96㎡	983.49㎡
カート・遊具置場	新築	木造	1	4.77㎡	4.77㎡
物置	新築	鋼製造	1	10.07㎡	10.07㎡

Ⅱ　管理技術者等

設計事務所名	管理技術者
(株)倉橋建築計画事務所	篠田　真之

主任担当技術者	担当技術者
意匠担当	
(株)倉橋建築計画事務所　倉橋　美有希	
構造担当	
伊藤構造計画工房　　伊藤　正明	
積算担当	
株式会社 江島積算　　江島　伸二	
電気設備担当	
西澤電気設備設計　　西澤　徹	
機械設備担当	
(株)山下技術士事務所　　山下　幸人	

Ⅲ.　建築改修工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。

⊙ 公共建築木造工事標準仕様書（建築工事編）（令和 7 年版）（以下、「木造標準仕様書」という。）
⊙ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和 7 年版）（以下、「標準仕様書」という。）
・ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和 7 年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
⊙ 建築工事標準詳細図（令和 4 年版）（以下、「標準詳細図」という。）
・ 建築物解体工事共通仕様書（令和 4 年版）
⊙ 敷地調査共通仕様書　　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課(令和 5 年改定)
⊙ 建築構造設計基準　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和 3 年版)
⊙ 工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
⊙ 長野県営繕工事の手引　　長野県建設部施設課監修
⊙ 公共建築木造工事標準仕様書　　国土交通省大臣官房営繕部監修(令和 7 年版)
⊙ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）　　建設省建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修
⊙ 長野県建設リサイクル推進指針

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（E-01）図、機械設備工事の特記仕様書は（M-01）図による。

（3）本特記仕様書の表記
1）項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。（・印のみの場合は適用しない。）
⊙ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の［　］内表示番号は、木造標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）特記事項に記載の（　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
5）G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）の特定調達品目を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	1 工事実績情報の登録	※適用する　・適用しない　　標仕 (1.1.4)
	② 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ⊙ 風圧力 風速（Vo=30.0 m/s） 地表面粗度区分　（ ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ ） ・積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（　） ・
	③ 電気保安技術者	※適用する　・適用しない　　(1.3.3)
	4 条件明示項目	・現場説明書による　　(1.3.5)
	⑤ 発生材の処理等	※別紙解体工事仕様書による　・構外搬出適正処理　　(1.3.11) また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。 ・引渡しを要するもの ⊙ 再生資源の利用を図るもの
	⑥ 環境への配慮	化学物質を放散させる建築材料等　　(1.4.1) （1）本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、 パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 規　制　対　象　外 （2）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20 条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20 条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20 条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20 条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 第　三　種 ①JIS及びJASの Ｆ☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品
	⑦ 材料の品質等	(1.4.2) （1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 （3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 （4）本工事に使用する材料のうち、（5）に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者名等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 無収縮グラウト材、乾式保護材、既製調合モルタル、既製調合目地材、錠前類、クローザ類、 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 （5）製造業者等に関する資料の提出を求める材料 自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、エポキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル、 床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、ルーフドレン、吸水調整材、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、可動間仕切、トップライト、鋳鉄製ふた
	⑧ 特別な材料の工法	木造標仕、標仕及び、改修標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	⑨ 他工事又は他工種との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑩ 技 能 士	※ 適用する（一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。）　(1.5.2) ・ 適用しない 適用工事種別 ／ 技能検定作業 仮設工事 ／ ・ とび作業 鉄筋工事 ／ ⊙ 鉄筋組立作業 ｺﾝｸﾘｰﾄ工事 ／ ⊙ 型枠施工　⊙ ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業 鉄骨工事 ／ ・ 構造物鉄工作業　・ とび作業 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事 ／ ・ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業　・ ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ工事作業 防水工事 ／ ・ ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・ ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・ 合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ 塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業　⊙ ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁ防水工事作業　・ FRP防水工事作業 石工事 ／ ・ 石張り作業 タイル工事 ／ ⊙ ﾀｲﾙ張り作業 木工事 ／ ⊙ 大工工事作業 屋根及びとい工事 ／ ⊙ 内外装板金作業　・ かわらぶき　・ ｽﾚｰﾄ工事作業 金属工事 ／ ・ 鋼製下地工事作業　⊙ 内外装板金作業 左官工事 ／ ⊙ 左官作業 建具工事 ／ ・ 建具製作　・ ｻｯｼ施工作業　・ ｶﾞﾗｽ工事作業　・ 自動ﾄﾞｱ施工作業 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事 ／ ・ 金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業　・ ｻｯｼ施工作業　・ ｶﾞﾗｽ工事作業 塗装工事 ／ ・ 建築塗装作業 内装工事 ／ ⊙ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・ ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ工事作業　・ ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業　・ 壁装作業 排水工事 ／ ⊙ 建築配管作業 舗装工事 ／ ・ 溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾏｰｶｰ工事作業　・ 加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｰｶｰ工事作業 植栽工事 ／ ・ 造園 その他 ／ ・ 景製作　・ 家具製作　・ 樹脂接着剤注入施工
	⑪ 室内空気中の化学物質の濃度測定	(1.5.10) 測定方法　・ﾊﾟｯｼﾌﾞ法（拡散法）　※ｱｸﾃｨﾌﾞ法（吸引法） 検査機関　※環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者 測定物質 ※ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ　※ﾄﾙｴﾝ　※ｷｼﾚﾝ　※ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ　※ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ　※ｽﾁﾚﾝ 測定個所(室)　計　2　個所 ※試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。 化学物質の室内汚染濃度指針値 ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ ／ ﾄﾙｴﾝ ／ ｷｼﾚﾝ ／ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ ／ ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ ／ ｽﾁﾚﾝ ／ 備　考 0.08ppm ／ 0.07ppm ／ 0.20ppm ／ 0.88ppm ／ 0.04ppm ／ 0.05ppm
2 仮設工事	12 埋設配管・配線および鉄筋調査	あと施工アンカー工事 ８章(あと施工アンカー)による コア抜き、はつり工事等 ※ 既存資料調査 ・ 探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査 配管・配線等の位置の墨出を行う 範囲　※　図示　・ ・ 放射線透過試験 労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。 (1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。 (2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。 (3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。 (4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。 (5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。
	⑬ 完成図等	※作成する　　(1.7.1～1.7.3)(表1.7.1) ※完成図（※設計図書で示したもの全て　・標仕表1.7.1による　・監督員の指示による） 作成方法　・原図　用紙（　　） 作図方法（　　） ※製本（原図の白焼き、見開きA3版（3部）） ※CADデータ（※CD-R（2部）　・　　） ※保全に関する資料（2部）
	⑭ 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。原版は撮影業者の保管とする。 分　類・規　格 ／ 撮　影　箇　所　数 ／ 部　数 ／ 写真のサイズ（mm） ⊙ カラー写真 ／ 外部（ 10）内部（ 16 ） ／ ※ 3 ・ ／ ※ ｷｬﾋﾞﾈ版 ・ｻｰﾋﾞｽ版 ・ パネル（木製枠） ／ 外部（ ・ ）内部（ ・ ） ／ ※ 2 ・ ／ ※ 半切　・ 全紙 ・ カラースライド ／ 外部（ ・ ）内部（ ・ ） ／ ※ 1 ・ ／ 24×36以上 ※ 電子データ ／ 外部（ ・ ）内部（ ・ ） ／ ※ 2 ・ ／ ※428万画素以上 ※350dpi以上 電子データは、ﾌｨﾙﾑｽｷｬﾝのうえRGB各8ﾋﾞｯﾄ（ﾌﾙｶﾗｰ）、JPEG形式最高画質（100%画質）とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者　※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者 撮影者：ロココプロデュース　林氏　連絡先 0263-31-8315
3-1 土工事	① 埋戻し及び盛土	標仕(3.2.3)(表3.2.1) 埋戻し及び盛土の種別 ・ Ａ 種　適用場所（　　） ⊙ Ｂ 種　適用場所（ 基礎工事関連部分 ） ・ Ｃ 種　適用場所（　　）土質（　　）受渡場所（　　） ・ Ｄ 種　適用場所（　　） 品質　細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。） 六価クロム溶出試験　・ 行う（現場説明書による）　・ 行わない ・
	② 建設発生土の処理	※ 構外搬出適切処理　　(3.2.5) ・ 構内の造成に利用　・ 構内の指定場所に堆積　⊙ 構内の指定範囲に敷きならし
	3 山留めの残置	存置範囲（※図示　・　　）　　(3.3.3)
3-2 地業工事 / 3-3 鉄筋工事 / 3-4 コンクリート工事		※木造特記仕様書（構造）（その１）による
4 木造工事 / 5 軸組構法（壁構造系）工事 / 6 軸組構法（軸構造系）工事 / 7 枠組壁工法工事 / 8 丸太組工法工事		※木造特記仕様書（構造）（その２）による
9 木工事	① 材料	木工事に使用する木材等は、使用材料表８による　　木造標仕 [10.2.1] ・ 信州木材製品認証を受けたもの又は同等品 木工事に使用する合板等は、使用材料表９による [10.2.2] ⊙ 釘 ・JISに規定されている釘以外の釘 材質（　　） 寸法、形状　※図示 ⊙ 造作材化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち　・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し ・木ねじ ・JIS B 1112 又は JIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質（　　） 寸法、形状　※図示
10 防水工事	② 表面仕上げ	[10.1.4] ・製材の表面仕上げ　[表10.2.2] 表面仕上げの種別 ／ 適用箇所 ・Ａ種 ⊙ Ｂ種 ・Ｃ種 ・造作用集成材の表面仕上げ　[表10.2.2] 表面仕上げの種別 ／ 適用箇所 ・Ａ種 ⊙ Ｂ種 ・Ｃ種
	③ 木材の耐候性処理	標仕(18.12.2) 屋外に使用する仕上げ木材 ・木材保護塗料塗り 施工箇所　※図示　・ 種別　・Ａ種　※Ｂ種
	④ 木材の防虫処理	[10.3.2] 施工箇所　※図示　・ 処理方法　※図示　・
	⑤ 外壁通気工法下地	[10.8.2] 外壁通気工法下地　※　設ける （大壁構造の場合） 工法の種別 ・縦通気胴縁工法 ※横通気胴縁工法 ・積雪地の場合の下地補強 工法種別 ／ 補強方法 ／ 補強高さ(mm) ・縦通気胴縁工法 ／ ※木造標準仕様書9.8.2 (3) (viii)による　・ ・横通気胴縁工法 ／ ※木造標準仕様書9.8.2 (3) (ix)による　・
	6 和室の造作	[10.10.1] 柱　・背割不要の処理
	1 ＦＲＰ系塗膜防水	木造標仕[11.2.2、4] ・ルーフドレン ・ＦＲＰ系塗膜防水用ルーフドレン　・鋳鉄製 ・下地合板の上の防火板 種類　※ケイ酸カルシウム板　・　　） 厚さ　※10mm　・　　） 防水層平場の勾配 ※1/100以上　・ 水張り試験~I・行う
	② シーリング	[11.3.2] [表11.3.1] 下表以外は、木造標準仕様書表11.3.1による。 ただし、外装タイル接着剤張りの場合のシーリングは標準仕様書11章による。 施工箇所 ／ シーリング材の種類（記号） シーリング材の目地寸法　※木造標準仕様書10.3.3(a) (1)～(3)による　・
	3 防水テープ	[11.4.2] 両面粘着防水テープの幅　※50mm以上　・75mm以上　・100mm以上
	4 バルコニー手すり	[11.4.3] バルコニー手すり ※10.4.3(9)①～⑤による 固定方法　※図示 手すりのアルミニウム製笠木 材料（　　） 仕上げ（　　） ・図示
	5 ケイ酸質系塗布防水	[11.5.1]　標仕(9.6.1、3)（表9.6.1） 防水層の種別 種別 ／ 施工箇所 ／ 種別 ／ 施工箇所 ※Ｃ－ＵＩ ／ ・Ｃ－ＵＰ
	⑥ 防水の保証	防水工事及びシーリング工事は専門工事業者による責任施工とし、完成後に保証に関する資料を請負業者、専門工事業者、メーカーの３社連名で監督員に提出すること。 保証期間 1）ＦＲＰ系塗膜防水　※10年 2）ケイ酸質系塗布防水　※ 5年 3）シーリング材　※ 5年
11 石工事	1 施工	木造標仕[12.1.1]　標仕(10.1.3、5) 石材の割付け　※標仕10.1.3(a)(1)、(2)による　・図示 粗面仕上げの場合ののみ込み部分の仕上げ　・図示　・ 屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ　・行う（適用場所　・すべて　・　　） ・行わない
	2 石材等	天然石　木造標仕[12.1.1]　標仕(10.2.1、3)（表 10.2.1、2） 施工箇所 ／ 品質 ／ 石材の種類 ／ 形状 ／ 寸法(mm) ／ 厚さ(mm) ／ 表面仕上げ ／ 備考 ・1等品 ・2等品 ／ ※正方形に近い矩形 ・ ・1等品 ・2等品 ／ ※正方形に近い矩形 ・ テラゾブロック 施工箇所 ／ 種石の種類 ／ 種石の大きさ(mm) ／ 形状 ／ 仕上げ面 ／ 寸法(mm) ／ 表面仕上げ ／ 備考 ※大理石 ・花こう岩 ／ ※1.5～12 ・ ／ ※平もの ・1等品 ・2等品

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

令和８年度　保育所管理事業　新保育園建設　建築工事
木造特記仕様書（その１）
A-02

11 石工事（続き）

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・300型 ・400型		
	・1等品 ・2等品		・300型 ・400型		

取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材
※石材施工業者の指定する製品

3 外壁湿式工法

標仕(10.2.2、3)(10.3.2、3)

受金物　材質　※SS400　・
形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　長さ 100mm
・L-75×75×6(mm)の加工　長さ 150mm
・
アンカーの材質及び径　※SS400　M12　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（　　）
ドレンパイプの材質　・樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ巻き　25～35φ
・

石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※ 流し筋工法　・あと施工アンカー工法

目地　一般目地 あと施工時幅(mm)、横筋流し工法　・
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地　位置　※ 標準仕様書11.1.1による　・図示
シーリング材の目地寸法　※ 標準仕様書9.7.3(a)(3)による　・図示

4 内壁空積工法

(10.2.2)(10.4.2、3)

受金物　材質　※SS400　・
形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　長さ 100mm
・L-75×75×6(mm)の加工　長さ 150mm
・
アンカーの材質及び径　※SS400　M12　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（　　）
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※ あと施工アンカー、横筋流し工法　・あと施工アンカー工法

目地　一般目地　目地幅(mm)　※ 6以上　・
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地　位置　※ 標準仕様書11.1.1による　・図示
シーリング材の目地寸法　※ 標準仕様書9.7.3(a)(3)による　・図示

5 乾式工法

(10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4)

取付け方式　・スライド方式　・ロッキング方式
アンカーの材質及び形状　※ ステンレス（SUS304）　M10　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（　　）
だぼ用の穴の位置　※ 標準仕様書10.5.2(b)(1)による　・図示
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
外壁の工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対に対応した工法
目地　目地幅(mm)　※ 8以上　・
シーリング材　・適用する（※ 標準仕様書9章7節による　・図示）　・適用しない

6 床及び階段の石張り

(10.6.2、3)

床石張りの裏面処理　・適用する　・適用しない
階段張りの裏面処理　・適用する　・適用しない
目地　一般目地　目地幅(mm)　・図示　・
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地　位置　※ 床面積 30㎡ 程度ごと、細長い通路の場合 6m 程度ごと
及び他の部材と取り合う箇所
・図示
シーリング材の目地寸法　※ 標準仕様書9.7.3(a)(3)による　・図示

7 アーチ、上げ裏等の石張り

(10.2.2)(10.7.1、2)

取付け金物　※ 標準仕様10.2.2(c)による　・
引金物、だぼ、かすがい及び受金物　※ 標準仕様10.2.2(a)による　・
ファスナー　※ 標準仕様10.2.2(b)のスライド式に準ずる　・
吊金物及び化粧吊りボルト
・設ける　吊金物　※ ステンレス(SUS304)径6mm長さ80mm（加工物）
・
吊りボルト　※ ステンレス(SUS304)M10化粧ナット付き
・
・設けない
アンカーの材質及び径　・SS400 M12　・ステンレス(SUS304) M10　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（　　）
取付け工法　・内壁空積工法　・乾式工法
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
目地　一般目地　目地幅(mm)　※ 6以上　・
伸縮調整目地　位置　※ 他の部位との取合い部　・図示
シーリング材の目地寸法　※ 標準仕様書9.7.3(a)(3)による　・図示

8 笠木、甲板等の石張り

取付け金物　※ 標準仕様書10.2.2(c)による　・　(10.2.2)(10.7.1、3)
引金物、だぼ、かすがい及び受金物　※ 標準仕様書10.2.2(a)による　・
アンカーの材質及び径　・ステンレス(SUS304) M10　・
ファスナー　※ 標準仕様書10.2.2(b)のスライド式に準ずる　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（　　）
取付け工法　・外壁湿式工法　・乾式工法
石裏面処理　・適用する　・適用しない
乾式工法の場合の取付け代　※ 標準仕様書10.5.3(b)による　・
石裏の補強用モルタル　・適用する　・適用しない

12 タイル工事

1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

標仕(11.1.3)(表11.1.1)

位置　※標準仕様書表11.1.1による　・図示

② セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り

タイルの形状、寸法等　(11.2.2、7)

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	豆類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	再生材料の適用区分	耐凍害性 有	無	耐滑リ性	備考
ポーチ 園庭アプローチ	300×300	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	・	⊙	・	⊙	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り　・行う　⊙行わない
見本焼き　・行う　⊙行わない
モルタル塗りのコンクリート素地面の処理　・MCR工法　・目荒し工法（高圧水洗処理）・
壁タイル張りの工法
外装タイル　・密着張り　・改良積上げ張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

・既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
（品質・性能）
建築材料等品質性能表による
（試験方法）
建築材料等品質性能表による

・既製調合目地材
（品質・性能）
建築材料等品質性能表による
（試験方法）
建築材料等品質性能表による

3 接着剤による陶磁器質タイル張り

(11.3.2～4、7)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	豆類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	再生材料の適用区分	耐凍害性 有	無	耐滑リ性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外　・
外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材
打継ぎ目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
伸縮調整目地　※変成シリコーン系シーリング材　・
その他の目地　※変成シリコーン系シーリング材　・
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理　・MCR工法　・目荒し工法（高圧水洗処理）・

4 陶磁器質タイル型枠先付け

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	豆類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	再生材料の適用区分	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない

タイル型枠先付けの種類

種　類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板の種別
・タイルシート法	・小口タイル	※ 標準仕様書6.8.3(b)(2)
・目地樹法	・二丁掛けタイル	・金属製タイル先付け用パネル
・桟木法	大形タイル	・

5 壁タイル張り保証

※ 専門工事業総合保障制度による壁タイル張り長期性能保証制度に加入した施工業者により施工し、施工業者及び工事受注者連名の保証書（10年）を提出すること。また、当該施工業者以外の施工業者により施工したものはメーカー、壁タイル施工業者及び工事受注者連名の保証書（10年）を提出すること。

13 屋根及びとい工事

① 施工

木造標仕[14.2.2]

下葺材
※改質アスファルトルーフィング下葺材（一般タイプ）
・アスファルトルーフィング940　・透湿防水シート　⊙ゴムアスシート
改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策　・行う

② 金属板葺

[14.3.2～8]

板及びｺｲﾙの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	固定釘等の材質
※JIS G 3322 の屋根用ｺｲﾙ ・	ＡＺ１５０	0.5	・平葺（一文字葺） ・心木あり瓦棒葺 ・心木なし瓦棒葺 ・横葺 ⊙立平葺	⊙亜鉛めっき鉄釘

心木の防腐・防蟻処理方法（　　）
・平葺（一文字葺）の工法
・はぜの作り方　※図示
・心木あり瓦棒葺の工法
・銅板以外の板による屋根一般部分の工法
溝板及びキャップの留付け方法　※木造標準仕様書14.3.5(c)(1)(ⅲ)による
瓦棒の間隔　※図示
・銅板による屋根一般部分の工法
瓦棒の間隔　※図示
・心木なし瓦棒葺の工法
屋根の流れ方向に並行な壁との取合い部
・雨押さえを付ける場合　※木造標準仕様書13.3.6(d)(5)①による
・雨押さえを用いない場合　※木造標準仕様書13.3.6(d)(5)②による
工法
吊子、各部の釘の留付け間隔　※図示　・
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対に対応した工法

雪止め　⊙設置する（図示）

3 折板葺

[14.4.2、3][表14.3.1]

施工箇所	形式	山高、山ﾋﾟｯﾁによる区分 山高	山ﾋﾟｯﾁ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形			（　）種	※鋼板製 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し
	・							

材料　板及びコイルの種類（　　）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（　　）
断熱材　・有り（種別：　　厚さ(mm)：　　防火性能：　時間）
・無し
タイトフレームを留め付ける下地材

材質	形状	寸法

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対に対応した工法

4 粘土瓦葺

[14.5.2.3]

種類 形状による区分	製法による区分	寸法による区分	役物 軒瓦	そで瓦	のし瓦	冠瓦	半瓦	雪止め瓦	鬼瓦	巴瓦	大きさ	産地等
・Ｊ形瓦			・	・	・	・	・	・	・	・		
・Ｓ形瓦			・	・	・	・	・	・	・	・		
・Ｆ形瓦			・	・	・	・	・	・	・	・		

補強用心木の防腐・防蟻処理方法（　　）
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対に対応した工法
瓦桟木の留付け工法　※図示　・
棟の工法　※木造標準仕様書13.5.3(e)(1)～(5)による　・

5 スレート葺

[14.6.2]

種類	寸法(mm)（全長さ×全幅）	役物 棟	けらば	着色(色調)	備考
・平形		・	・	・無　・有（　　）	
・波形		・	・	・無　・有（　　）	

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対に対応した工法
雪止め　・設置する（図示）

6 アスファルトシングル葺

[14.7.2]

品質	形状	色調	寸法(mm)	備考

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対に対応した工法
軒先、けらば等に曲面を設ける場合　※半径500mm以上　・
雪止め　・設置する（図示）

⑦ とい

[14.8.2.3][表14.8.1]

といの材料
⊙金属板（表面処理鋼板）
種類　※木造標準仕様書表14.8.1（ポリ塩化ビニル被覆金属板及び金属帯　）
板厚　・
谷どい
種類　※木造標準仕様書表14.8.1（　　）
板厚　・
・銅板
板厚　※一般部0.35mm、谷どい部0.4mm　・
・硬質塩化ビニル樹脂
種類　（　　）
外径　（　　）
厚さ　（　　）
長さ　（　　）
硬質塩化ビニル製集水器の形状　※図示
硬質塩化ビニル製あんこうの形状　※図示

⑧ 小屋裏換気・屋根面の通気層

・ 小屋裏の壁のうち屋外に面するものに通気上有効な位置に２以上の換気口が設けられ、かつ、換気口の有効面積の天井面積に対する割合が300分の１以上であること。
・ 軒裏又は小屋裏の壁のうち屋外に面するものに２以上の換気口が設けられ、かつ、換気口の有効面積の天井面積に対する割合が250分の１以上であること。
・ 軒裏又は小屋裏の壁のうち屋外に面するものに給気口が設けられ、小屋裏の壁で屋外に面するものに換気上有効な位置に排気口が給気口と垂直距離で90cm以上離して設けられ、かつ、給気口及び排気口の有効面積の天井面積に対する割合がそれぞれ900分の１以上であること。
・ 軒裏又は小屋裏の壁のうち屋外に面するものに給気口が設けられ、小屋裏の頂部に排気塔その他の器具を用いて排気口が設けられ、かつ、給気口の有効面積の天井面積に対する割合が900分の１以上であり、排気口の有効面積の天井面積に対する割合が、1600分の１以上であること。
※ 屋根断熱構法等により小屋裏が室内と同等の温熱環境にある場合は、屋根に通気層を設ける。

⑨ 屋根及びとい工事の保証

※ 長野県板金工業組合認定の施工図により施工したものは同組合及び工事受注者連名の保証書（※ 10年 ・ 15年）を提出すること。また、当該組合認定以外の施工図により施工したものはメーカー、屋根施工業者及び工事受注者連名の保証書（※ 10年 ・ 15年）を提出すること。

14 金属工事

1 ステンレスの表面仕上げ

標仕(14.2.1)

種類	施工箇所（手すり、タラップ、建具以外）
※ ＨＬ程度	床見切り、独立柱 柱脚金物
・ 鏡面仕上げ程度	
・ №2B 程度	

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表 14.2.1)

種別	皮膜又は複合皮膜の種類	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
・A-1種	※AA15　・	
・A-2種（・ｱﾝﾊﾞｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・ﾌﾞﾗｯｸ系　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）	※AA15　・	
・B-1種	※B　・	
・B-2種（・ｱﾝﾊﾞｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・ﾌﾞﾗｯｸ系　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）	※B　・	
・C-1種	※AA6　・	
・C-2種（・ｱﾝﾊﾞｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・ﾌﾞﾗｯｸ系　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）	※AA6　・	
・D種		
・		

陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色

3 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)(表14.2.2)

表面処理方法	種　別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

4 軽量鉄骨天井下地

(14.4.2～4)(表14.4.1)

野縁等の種類　屋外　※25型　・19型　屋内　※19型　・25型

・屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　・図示
周辺部の端からの間隔　・図示
野縁の間隔　・図示
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法　※図示
・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合
補強方法　※標準仕様書14.4.4(h)(1)～(2)による　・図示
・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法　※図示
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所　・図示
補強方法　※図示

5 軽量鉄骨壁下地

(14.5.3)(表14.5.1)

スタッド、ランナーの種類
※標準仕様書14.5.1によるスタッドの高さにより区分に応じた種類　・図示
スタッドの高さが5.0mを超える場合　※図示

6 金属成型板張り

(14.6.2)(表14.2.1)

種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理 種別	皮膜等の種類
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ	・押出し ・ロール	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ型			・B-1種	※B　・
	・プレス ・	パネル型			・B-2種（　・ｱﾝﾊﾞｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽ　・ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）	※B　・
					・C-1種	※AA6　・
					・C-2種（　・ｱﾝﾊﾞｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽ　・ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）	※AA6　・
					・D種	
					・	・
・						

取付け用下地　※標準仕様書14.4による　・図示
伸縮調整継手　・設ける（施工箇所　・図示　・　　）
・設けない

7 アルミニウム製笠木

(14.7.2、3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種類　・250形　・300形　・350形
表面処理　種別（　）種　皮膜等の種類（※標準仕様書表14.2.1による　・　　）
着色（・アンバー　・ブロンズ　・ブラック系　・ステンカラー）
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

8 手すり及びタラップ

(14.8.2、3)

手すり　・ステンレス製　SUS304（表面処理　※HL程度　・NO.2B程度　・　　）
・鋼製　SUS304（表面処理　・溶融亜鉛めっき3種　・　　）
タラップ　・ステンレス製　SUS304（表面処理　※研磨なし　・　　）
・鋼製　SUS304（表面処理　・溶融亜鉛めっき3種　・　　）

15 左官工事

1 材料

標仕(15.2.3、4)

・ラス
素材による区分　（　　）
種類　（　　）
単位面積当たりの質量　（　　）

・木質系セメント板
・木毛セメント板　Ｇ　（　・ＨＷ　・ＭＷ　・ＮＷ　）

2 下地

(15.2.4)

ラス系下地
・直張りラスモルタル下地
・直張りラスシート下地
・通気構法単層下地
換気口部の防水処理　※木造標準仕様書10.4.3(b)(10)による　・
・通気構法二層下地

③ モルタル塗り

(15.3.2～4)

既製目地材　・設ける　施工箇所（　　）　形状（※図示　・　　）
⊙設けない
床の目地　・設ける（工法※押し目地　・　　）　⊙設けない
外壁タイル張り下地の下地モルタルの接着力試験
・適用する　・適用しない
・防水剤
（品質・性能）
建築材料等品質性能表による
（試験方法）
建築材料等品質性能表による

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

令和８年度　保育所管理事業　新保育園建設　建築工事

木造特記仕様書（その２）

A-03

15 左官工事（続き）

4 せっこうプラスター塗り

上塗り　標仕(15.8.3)
・既調合プラスター(上塗り用)
・しっくい塗り

5 しっくい塗り

(15.10.2～4)

しっくい
・現場調合しっくい
・既調合しっくい
　製造所　（　　）
　種類　（　　）

下地
　※木ずり、小舞土壁、せっこうラスボード又はせっこうボード　・

調合及び塗厚
　木ずり下地の場合　※木造標準仕様書表15.6.1^I・図示
　小舞土壁下地の場合　※木造標準仕様書表15.6.2^I・図示
　上記以外の場合　・図示

6 小舞壁塗り

(15.11.2)

のり
・土壁用ののり　・ふのり　※つのまた　・ぎんなんそう
・砂壁用ののり　※ふのり　・つのまた　・こんにゃくのり
　・にかわ　・合成樹脂系混和剤

色土
・土物仕上げに用いる色土の種類　（　　）
・大津仕上げに用いる色土の種類　（　　）

色砂の種類　（　　）

塗厚　※木造標準仕様書　表15.7.8　(15.11.4)
　ただし、建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合は、指定仕様による。

工程　※Ａ種　・Ｂ種　(15.11.5)

・土物仕上げの工法　(15.11.6)
　種類　・土物仕上げ工法
　　・水ごね土物１工法　・水ごね土物２工法
　　・のりさし土物工法　・のりごね土物工法
　　・砂壁仕上げ工法
　　・切返し仕上げ工法

・大津仕上げの工法　(15.11.8)
　種類　・普通大津仕上げ工法
　　・大津みがき仕上げ工法

7 仕上塗材仕上げ

(15.6.2)

仕上塗材の種類

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状（・吹付け　・ローラー塗り）
	・外装薄塗材E	・	・さざ波状
	・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状
	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状　（・吹付け　・こて塗り）
	・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け　・こて塗り）
	・内装薄塗材C	・	・砂壁状じゅらく
	・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく
	・内装薄塗材Si^I	・	
	・内装薄塗材E	・	吸放湿性　・適用する　・適用しない
	・内装薄塗材W	・	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし
	・外装厚塗材E	・	
	・内装厚塗材C^I	・	吸放湿性　・適用する　・適用しない
	・内装厚塗材L^I	・	上塗材　・適用する　・適用しない
	・内装厚塗材G	・	
	・内装厚塗材Si	・	
	・内装厚塗材E	・	
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
	・可とう形複層塗材CE	・	耐候性　※耐候形３種　・
	・複層塗材Si	・	
	・複層塗材E	・	
	・複層塗材RE	・	上塗材
	・防水形複層塗材CE^I	・	溶　媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系
	・防水形複層塗材E	・	樹　脂　※アクリル系　・
	・防水形複層塗材RE	・	外　観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材RS	・	・メタリック
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	・	増粘材　・適用する　・適用しない
	・こて塗用軽量塗材	・ ・	

所要量等の確認　※公共建築工事標準仕様書　表15.6.4　(15.6.7)
　・単位面積当たりの使用量による

8 床コンクリート直均し仕上げ

(6.2.5)（15.4.2）

下表以外は標準仕様書15.4.2による

施工箇所	平たんさ(mm)	備考
ポーチ（スロープ）	⊙1mにつき10以下 ・	金コテ仕上

9 セルフレベリング材塗り

(15.5.2)（表15.5.1）

・せっこう系　・セメント系

16 建具工事

1 防火戸

※建具表による　・　標仕(16.1.3)

2 見本の製作等

(16.1.4)

建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）
　・行わない
建具見本の程度　・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
　・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　）
　・行わない

3 防犯建物部品

(16.1.6)

⊙適用する（※建具表による　・　　）
・適用しない

4 アルミニウム製建具

(16.2.2～5)(表16.2.1)

性能等級
外部に面する建具　・Ａ種（建具符号：※建具表による　・　　）
　・Ｂ種（建具符号：※建具表による　・　　）
　・Ｃ種（建具符号：※建具表による　・　　）
防音ドアセット,防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（・Ｔ－１　・Ｔ－２）
　（建具符号：・建具表による　・　　）
　・適用しない
断熱ドアセット,断熱サッシ　G　・適用する　断熱性の等級（・Ｈ－３　・Ｈ－５）
　（建具符号：⊙建具表による　・　　）
　・適用しない
枠の見込み寸法　⊙建具表による　・
・シャッター
　・建具一体型　・後付け
　スラット　・アルミニウム製　・塗装鋼板
・雨戸
　鏡板　・アルミニウム製　・塗装鋼板
　断熱性の等級（　　）
表面処理
外部に面する建具　・B-1種　・B-2種　・
　皮膜等の種類（※標準仕様書表16.2.1による　・　）
　着色（・アンバー　・ブロンズ　・ブラック系　・ステンカラー　・　　）
屋内の建具　・C-1種　・C-2種　・
　皮膜等の種類（※標準仕様書表16.2.2による　・　）
　着色（・アンバー　・ブロンズ　・ブラック系　・ステンカラー　・　　）
結露水の処理方法　※図示　・
水切り板、ぜん板　※図示　・

5 網戸等

(16.2.3)

種類	材種	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

6 樹脂製建具

(16.3.2～5)

性能等級
外部に面する建具　・Ａ種（建具符号：・建具表による　・　　）
　・Ｂ種（建具符号：・建具表による　・　　）
　・Ｃ種（建具符号：・建具表による　・　　）
防音ドアセット,防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（・Ｔ－１　・Ｔ－２）
　（建具符号：・建具表による　・　　）
　・適用しない
断熱ドアセット,断熱サッシ　G　⊙適用する　断熱性の等級（・H-4　・H-5　⊙H-6 0.9w/m²k以下）
　（建具符号：⊙建具表による　・　　）
　・適用しない
枠の見込み寸法　・建具表による　・
・シャッター
　・後付け　・
　スラット　・アルミニウム製　・塗装鋼板
表面色　・標準色　・特注色
水切り板、ぜん板　※図示　・
ガラス　・複層ガラス　⊙トリプルガラス

7 鋼製建具

(16.2.2)(16.4.2～4)(表16.4.2)

性能等級
簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：・建具表による　・　　）
　・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　⊙Ｄ種（建具符号：・建具表による　・　　）
　・Ｅ種（建具符号：・建具表による　・　　）
　・
防音ドアセット,防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）
　（建具符号：・建具表による　・　　）
　・適用しない
断熱ドアセット,断熱サッシ　G　・適用する　断熱性の等級（　）
　（建具符号：・建具表による　・　　）
　・適用しない

鋼板

材料	めっき付着量	厚さ
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）	※Z12又はF12　・	・標準仕様書表16.4.2による
・JIS G 3317（溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板）	※Y08　・	・

8 鋼製軽量建具

(16.2.2)(16.5.2～4)(16.6.3)

性能等級
簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：・建具表による　・　　）
　・適用しない
防音ドアセット,防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）
　（建具符号：・建具表による　・　　）
　・適用しない
断熱ドアセット,断熱サッシ　G　・適用する　断熱性の等級（　）
　（建具符号：・建具表による　・　　）
　・適用しない
鋼板　※亜鉛めっき鋼板　・ビニル被膜鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
鋼板の厚さ　・標準仕様書表16.5.1による　・
召合せ、縦小口包み板の材質　※鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニウム合金

9 ステンレス製建具

(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)

性能等級
簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：・建具表による　・　　）
　・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　・Ａ種（建具符号：・建具表による　・　　）
　・Ｂ種（建具符号：・建具表による　・　　）
　・
防音ドアセット,防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　）
　（建具符号：・建具表による　・　　）
　・適用しない
断熱ドアセット,断熱サッシ　G　・適用する　断熱性の等級（　）
　（建具符号：・建具表による　・　　）
　・適用しない
鋼板（屋外）　※SUS430JIL、SUS443J1、SUS304　・
鋼板（屋内）　※SUS430、SUS430JIL、SUS443J1、SUS304　・
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ　・
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

10 木製建具

(16.7.2～4)(表 16.7.1、6)

建具材の加工、組立時の含水率　※Ｂ種　・Ａ種　・Ｃ種
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
⊙フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板　G	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※ﾗﾜﾝ程度　・　　） 不透明塗料塗り （※しな程度　・　　） 板面の品質（　　） 接着の程度（・1類　・2類 ） 防虫処理　・行う	
・天然木 化粧合板　G	樹種名（　　） 接着の程度（・1類　・2類 ） 防虫処理　・行う	
⊙特殊加工 化粧合板　G	化粧加工の方法 ⊙ｴﾝﾎﾞｰﾚｲ ⊙ﾌﾞﾘｯﾄ ・塗装） 表面性能（　　）タイプ 接着の程度（・1類　・2類 ） 防虫処理　・行う	建具表による

表面板の厚さ　※表16.7.6による　・

⊙かまち戸
　かまち樹種（ 唐松 ）　鏡板樹種（ 唐松 ）
　見込み寸法　※36mm　⊙建具表による　・
・ふすま
　張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
　上張り（押入等の裏側以外）　・鳥の子　・新鳥の子又はビニル紙程度
　縁仕上　・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
　見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・
・戸ぶすま
　見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子
　見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

枠及びくつずりの材料　・建具表による　・

11 建具用金物

(16.8.2、3)(表 16.8.1、3)

金物の種類及び見え掛り部の材質等
　※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による　・
木製建具に使用する丁番　※標準仕様書表16.8.3による　・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置　⊙建具表による　・

⊙錠前類　【シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠】
（品質）
　デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。
（性能）
　建築材料等品質性能表による

⊙錠前類　【レバーハンドル】
（性能）
　建築材料等品質性能表による

⊙クローザ類
（品質・性能）
　建築材料等品質性能表による
（試験方法）
　建築材料等品質性能表による

12 鍵

(16.8.4)

マスターキー　⊙製作する　・製作しない
その他の鍵　※各室３本１組　・
鍵箱　※有り　・無し

13 自動ドア開閉機構

(16.9.2、3)(表 16.9.1、2)

自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止
・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	※標準仕様書表16.9.1による	・適用する ・適用しない	・マットスイッチ ・光線（反射）スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う （適用箇所は建具表による） ・行わない
・SWD-1 ・SWD-2	※標準仕様書表16.9.2による			
・図示	・ ・			

（品質・性能）
　建築材料等品質性能表による
（試験方法）
　建築材料等品質性能表による

14 自閉式上吊り引戸装置

(16.10.3)

性能　※ 標準仕様書表 16.10.1 による　・
（試験）
　建築材料等品質性能表による

15 重量シャッター

(16.11.2、3)

シャッターの種類	耐風圧強度
・ 管理用シャッター	耐風圧強度（　　）N/m²
・ 外壁用防火シャッター	耐風圧強度（　　）N/m²
・ 屋内用防火シャッター	
・ 屋内用防煙シャッター	

開閉機能による種類　※ 上部電動式（手動併用）　・ 上部手動式
管理用シャッターのシャッターケース　・ 設ける　・ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
　鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
　　・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
　めっきの付着量　※Z12又はF12　・

16 軽量シャッター

(16.12.2～4)

開閉形式　・手動式　⊙上部電動式（手動併用）
耐風圧強度（ 40 ）N/m²
スラットの材質
　・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
　　めっき付着量（※Z06又はF06　・　　）
　⊙JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板）
　　めっき付着量（※AZ90　・　　）
スラットの形状　⊙インターロッキング形　・オーバーラッピング形

17 オーバーヘッドドア

(16.13.2、3)

セクション材料による区分	耐風圧区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

18 ガラス

(16.14.2～4)(図16.14.1)

適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。

・合わせガラス

品種	構成種類	性能
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類

⊙強化ガラス

材料板ガラスによる種類	種類	性能
⊙フロートガラス	⊙フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	⊙Ⅰ類　・Ⅲ類
・型板ガラス	・型板強化ガラス	

・熱線吸収板ガラス

品種	性能	色調
・熱線吸収フロート板ガラス	・１種　・２種	・ブルー　・グレー　・ブロンズ
・熱線吸収網入磨き板ガラス		

・トリプルガラス

品種	断熱性	日射熱遮へい性
・断熱トリプルガラス	・１種 ・２種 ・３種	U1　・日射取得Low-Eガラス U2 U-3-1　・U-3-2
・日射熱遮へい複層ガラス	・４種 ・５種	E4 E5

⊙熱線反射ガラス

品種	日射熱遮へい性	耐久性
⊙熱線反射ガラス 色調（・ブルー　・グレー） ・高性能熱線反射ガラス 色調（・ブロンズ　・シルバー）	・１種 ・２種 ・３種	A種 ・A種　・B種 B種

反射被膜面　・内面　・外面
映像調整　・行わない　・行う

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色調
・フロート倍強度ガラス	-
・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー　・グレー　・ブロンズ

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	※標準仕様書表16.14.1による ・図示　・
ステンレス製	・シーリング材 ・	※標準仕様書表16.14.1による ・図示　・

19 ガラスブロック

(16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリア	色調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
・正方形	・125×125	80	・	・	※8～15	外側 ※15以下	※6m以下ごとに幅10～25	※無し ・有り
	・160×160	・95	・	・	・15～25	・	・図示	
		・125	・	・	・		・	
	・200×200	・95	・	・		内側 ※6以上		
		・125	・	・		・		
	・320×320	95	・	・				
・長方形	・250×125	80	・	・				
	・320×160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材　・設ける（形状　※図示　・　　）
　・設けない
力骨　材質　※ステンレス鋼(SUS304)　・
　寸法　※径5.5mm　・
　形状　※はしご形状複筋及び単筋　・
化粧目地モルタルの色（　　）
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
　寸法　※図示　・
　形状　※図示　・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対に対応した工法

目地部の力骨の補強方法　※ガラスブロック製造所の仕様による　・図示　・

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

17 塗装工事

① 材料

標仕(18.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
・防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
　・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　）

② 素地ごしらえ

(18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面		※C種　・A種　・B種
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面及びプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（ＤＰ以外）、及びＡＬＣパネル面		※B種　・A種
押出成形セメント板面		・A種　・B種
せっこうボード面及びその他	目地：継目処理工法	※A種　・B種
ボード面	目地：継目処理工法以外	※B種　・A種

3 錆止め塗料塗り

(18.3.2、3)

下地面等		工程の種別	塗料の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	※A種　・B種	
	見え隠れ部分	※B種　・A種	
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	※A種　・B種	・A種　・B種
	鋼製建具以外	※B種　・A種	・C種

④ 塗装

(18.4.1～18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種　・B種	※1種　・2種
	木部屋内	※B種　・A種	※1種　・2種
	鉄鋼面	※B種　・A種	※1種　・2種
	亜鉛めっき鋼面	―	※1種　・2種
⊙クリヤラッカー塗り(CL)		※B種　・A種	―
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	―
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	―	上塗り等級（ ）級
	亜鉛めっき鋼面	―	上塗り等級（ ）級
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種　・B種　・C種	―
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾗﾐﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等	※B種　・A種	―
	屋内の鉄鋼面	※B種　・A種	―
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種　・A種	―
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種　・A種	―
⊙ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種　・A種	―
・ラッカーエナメル塗り(LE)		※B種　・A種	―
⊙オイルステイン塗り(OS)		―	―
⊙木材保護塗料塗り(WP)		※B種　・A種	―
⊙オイル拭取り仕上(OF)		OSに準ずる	

高日射反射率塗料 G の適用　・適用する　・適用しない
　適用箇所　※ 屋上、屋根面の金属面　・

⑤ 塗装の保証

塗装業者
　・ 日本塗装工業会の会員　⊙ 監督職員の承諾する業者
保証
　※ 塗装業者、工事受注者連名の保証書（３年）を提出すること。

18 内装工事

① 接着剤

標仕(19.2.2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外　・
接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・ 図示　・

② ビニル床シート G

(19.2.2、3)

種類	JIS 記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ(mm)	備考
⊙発泡層のないもの	※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ)・	仕上表参照	・無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ柄	・帯電防止 ・耐動荷重性 ⊙防滑性	⊙2.0 ・2.5	消臭機能
・発泡層のあるもの	・		・柄物	⊙耐薬品性		

工法　※ 熱溶接工法　・ 突付け（施工箇所：　　）
特殊機能
　帯電防止　・帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満
　　又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10^{7}～$1\times10^{10}\Omega$程度
　　・

3 ビニル床タイル G

(19.2.2)

JIS記号	施工箇所	色柄	寸法(mm)	特殊機能	厚さ(mm)	備考
・ＦＴ（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）		・ 無地 ・ 柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0	
・ＫＴ（ｺﾝﾎﾞｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）		・ 無地 ・ 柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	・ 2.0 ・ 3.0	
・ＦＯＡ（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）		・ 無地 ・ 柄物	・500×500	・帯電防止 ・防滑性	・	

特殊機能
　帯電防止　・帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満
　　又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10^{7}～$1\times10^{10}\Omega$程度
　　・

④ ビニル幅木

(19.2.2)

材質　・軟質　・硬質
高さ(mm)　※60　・75　・100
厚さ(mm)　※1.5以上　・

5 ゴム床タイル

(19.2.2)

色柄　（　　）
厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)（　　）

⑥ カーペット敷き G

・ 織じゅうたん　(19.3.2、3)(表 19.3.1)

種別	パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・ｳｨﾙﾄﾝ ｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰ ｶｰﾍﾟｯﾄ	・無地 ・柄物 (標準品)	・適用する (性能：※人体帯電圧3kv以下　・　) ・適用しない	

下敷き材
　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・

・ タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	・5～7　・	※全面接着工法	・適用する	
・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	・4～6　・	・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ 工法	(性能：※人体帯電圧3kv以下　・　)	
・ﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	・4　・		・適用しない	
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・

・ニードルパンチカーペット
　厚さ（mm）（　）　帯電性　・適用する（性能：※人体帯電圧3kv 以下　・　）
　　・適用しない
　備考（　　）

⊙タイルカーペット

パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備　考
※ ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種	仕上表参照	※ 500×500 ・	※ 7.5 ・	
・ カットパイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ カット・ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方　平　場　※市松敷き　・模様流し　・
　　階段部分　※模様流し　・市松敷き　・
見切り、押え金物　・適用する（材質、形状等　※図示　・　）
　　・適用しない

7 合成樹脂塗床

(19.4.2、3)(表 19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ 工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			
・ｱｸﾘﾙ樹脂塗床 （JIS K 5970）			工程 塗布量（kg/㎡） ・ 表面仕上げ ・平滑　・防滑 溶剤 ・水性色　・溶剤系　・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色　・

塗料のホルムルデヒド放散量　※規制対象外　・

⑧ フローリング張り

単層フローリング G　(19.5.2～6)(表 19.5.1～6)

種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用
・ フローリングボード１等	・釘留め工法（根太張り）	※ なら ・	15	板幅75 板長さ500以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品 ・ 自然塗装品	・
	・釘留め工法（直張り）	・ なら ・ 唐松	・12以上 ・ 15	板幅75 板長さ500以上		・
	・接着工法	※ なら ・	・12以上 ・	板幅75 板長さ500以上		
・ フローリングブロック１等	・接着工法	※ なら ・	15	303×303	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・
・ モザイクパーケット１等	接着工法	・	・	・	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・

複合フローリング G

種類	工法	樹種	厚さ/大きさ(mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用
⊙天然木化粧複合フローリング	⊙釘留め工法（根太張り） ⊙釘留め工法（直張り）	※カバ ・	厚さ12mm	⊙A種 ・B種 ・C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	・接着工法	※なら ・	板厚 ・8以上　・ 板幅 ・75以上 板長さ 900以上				・

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※ 規制対象外
接着工法の場合の裏面緩衝材　※合成樹脂発泡シート　・
現場塗装仕上げ　⊙行う（施工箇所　　）
　　※オイルフニッシュ
　　・オイルステインの上、ﾜｯｸｽ塗り
　　・生地のままﾜｯｸｽ塗り
　・行わない

⑨ 畳敷き

(19.6.2)(表 19.6.1)

種別　・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ⊙KT-Ⅲ・KT-K・KT-N）
下地の種類　・標準仕様書　表12.6.1による床組
　　・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G ）
　　⊙図示
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

⑩ せっこうボードその他のボード張り

(19.7.2、3)(表 19.7.1)

種　類	JIS記号	厚さ(mm)、規格等
⊙硬質木毛セメント板 G	HM	⊙15　・20　・25　・
・中質木毛セメント板 G	MM	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	NM	・15　・20　・25　・
・硬質木片セメント板 G	HF	・12　・15　・18　・21　・
・普通木片セメント板 G	NF	・30　・
⊙けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ 2（無石綿）　⊙6　・8　・12
・ ロックウール化粧吸音板	DR	・ フラットタイプ （・9(不燃)・12(不燃)　・　　） ・ 凹凸タイプ （・12(不燃)・15(不燃)・19(不燃)　・　）
・ ロックウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	RW-B	・ 25
・ グラスウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ号32K	GW-B	・ 25(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包)　・
⊙せっこうボード	GB-R	※ 9.5（不燃）　※ 12.5（不燃）　・ 15（不燃）
・ 不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）　・ 化粧無（下地張り用） ・ 化粧有（トラバーチン模様）
・ シージングせっこうボード	GB-S	12.5　(※ 不燃　・ 準不燃)
⊙強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5（不燃）　⊙ 15（不燃）
・ せっこうラスボード	GB-L	9.5
・ 化粧せっこうボード(木目)	GB-D	12.5（不燃）幅 440mm 程度 模様（・ 柾目　・ 板目）専用下地材有り
・ 化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	GB-D	9.5（準不燃）
・ 普通合板 G		表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ｳﾚﾝ程度　・　　) 不透明塗料塗り (※しな程度　・　　) 板面の品質（　　） 厚さ(mm)（　　） 接着の程度（・1類　・2類） ・防虫処理
・ 天然木化粧合板 G		化粧板の樹種名（ シナ ） 接着の程度（・1類　・2類） 厚さ(mm)（ 5.5 ） ・防虫処理
・ 特殊加工化粧合板 G		化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装） 表面性能（　　）タイプ 接着の程度（・1類　・2類） 厚さ(mm)（　　） ・防虫処理
⊙ メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による　(※ 1.2　・　　)
⊙ ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂化粧板		
・ ミディアムデンシティファイバーボード G	MDF	・ 3　・ 7　・ 9　・ 12　・
・ 単板張りパーティクルボード G		・ 無研磨板ＶＮ　・ 研磨板ＶＳ ・ 10　・ 12　・ 15　・ 18　・
・ 化粧パーティクルボード G		・ 単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲＤＶ ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ ＤＯ ・ 塗装 ＤＣ ・ 10（難燃）・ 12（難燃）・
・ ハードボード（素地） G	HB	・未研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）ＲＮ ・研磨板　（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）ＲＳ
・ ハードボード（化粧） G		・内装用ＤＩ　・外装用 ＤＥ ・ 2.5　・ 3.5　・ 5　・ 7
・ インシュレーションボード G	IB	A級（　・ 天井仕上げ　・ 内装仕上げ　・　） ・ 9　・ 12　・ 15　・ 18

せっこうボード等の下地は図示による。

遮音シール材　・適用する（・シーリング材　・ジョイントコンパウンド）
　　・適用しない
合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外　・
合板類の張付け　※B種　・A種
せっこうボードの目地工法　・仕上表による　・

⑪ 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・　(19.8.2、3)

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他	防火性能	備考
図示						※ 不燃・ 準不燃	
						※ 不燃・ 準不燃	
						※ 不燃・ 準不燃	
						※ 不燃・ 準不燃	

モルタル・プラスター面の素地ごしらえ　※B種　・A種
コンクリート・ＡＬＣ面の素地ごしらえ　※B種　・A種
せっこうボード面の素地ごしらえ　※B種　・A種

19 断熱・防露、ユニット及びその他の工事

① 断熱材等材料

標仕(19.9.2～4)

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外　・

・断熱材 G
　施工箇所　※図示　・

断熱材の種類 分類	材料名	規格番号	厚さ又は使用量
・フェルト状断熱材	・グラスウール	・JIS A 9521	
	・ロックウール	・JIS A 9504	
	・木質断熱材	・JIS A 9521	
⊙ボード状断熱材	⊙グラスウール	・JIS A 9521	
	・ロックウール	・JIS A 9504	
	・木質断熱材	・JIS A 9521	
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム		
	⊙押出法ポリスチレンフォーム		図示
	・硬質ウレタンフォームＡ種	・JIS A 9511	
	・ポリエチレンフォーム	⊙JIS A 9521	
	・フェノールフォーム		
	・インシュレーションファイバー		
・ばら状断熱材	・グラスウール		
	・ロックウール	・JIS A 9523	
	・セルローズファイバー		
・現場発泡断熱材 G	・吹付硬質ウレタンフォームＡ種１（難燃性を有するもの）	・JIS A 9526	

・現場発泡断熱材
（品質・性能）
　建築材料等品質性能表による
（試験方法）
　建築材料等品質性能表による

・防湿材
　種類　※木造標準仕様書　19.1.2(b)(ⅰ)　・木造標準仕様書　19.1.2(b)(ⅱ)
　　・木造標準仕様書　19.1.2(b)(ⅲ)
　厚さ　・
　施工箇所　・図示　・

⊙気密材
　種類　・木造標準仕様書　19.1.2(c)(ⅰ)　・木造標準仕様書　19.1.2(c)(ⅱ)
　　・木造標準仕様書　19.1.2(c)(ⅲ)　・木造標準仕様書　19.1.2(c)(ⅳ)
　　・木造標準仕様書　19.1.2(c)(ⅴ)　・木造標準仕様書　19.1.2(c)(ⅵ)
　　・木造標準仕様書　19.1.2(c)(ⅶ)
　厚さ　・
　施工箇所　・図示　・

・防風材
　種類　※木造標準仕様書　19.1.2(d)(ⅰ)　・木造標準仕様書　19.1.2(d)(ⅱ)
　　・木造標準仕様書　19.1.2(d)(ⅲ)　・木造標準仕様書　19.1.2(d)(ⅳ)
　　・木造標準仕様書　19.1.2(d)(ⅴ)
　厚さ　・
　施工箇所　・図示　・

断熱材の施工
　⊙充填断熱工法
　・外張断熱工法
　　防蟻処理　・行う
　⊙図示

防湿層の施工　・省略する
　床下及び小屋裏等の点検口まわり（　　）
　コンセント及びスイッチボックスまわり　・木造標準仕様書　19.1.4(d)(10)(ⅱ)①
　　・木造標準仕様書　19.1.4(d)(10)(ⅱ)②

気流止めの施工　・　行う
　施工部位　①屋根又は天井と壁及び壁と床との取り合い部においては、外気の壁内流入の防止を要する部位
　　②間仕切壁と天井又は床との取り合い部で、間仕切壁の内部の空間が天井裏又は床裏に対し開放されている部位
　材料　・ 乾燥木材　・
　工法　・　・

気密測定　・　行う
　（目標値　・ 5.0㎤/㎡　・ 2.0㎤/㎡）

2 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構　法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考
	・ 置敷式 ・ 支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000 ・5000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	
	・ 置敷式 ・ 支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000 ・5000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	
	・ 置敷式 ・ 支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000 ・5000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

寸法精度
　※標準仕様書20.2.2(b)(5)(ⅰ)～(ⅲ)による　・
　厚さ　±0.5mm
　平坦度　パネル周辺部　1.0mm以下
　　図心と各頂点を結ぶ線上部　2.0mm以下

表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による。
構成材の材質　・アルミニウム製　・鋼製（仕上げ：　　）　・
スロープ及びボーダー　・製造所の仕様による　・図示
配線用取り出しパネル
　フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　・20～30パーセント　・
　配線取り出し開口　・パネル1枚につき、40mm×80mm　程度の開口1箇所以上
　　・図示
空調用吹き出し（吸い込み）パネル　・なし　・あり（形式、施工箇所：図示）

（性能）
　建築材料等品質性能表による
（試験方法）
　建築材料等品質性能表による

3 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	構成基材の種類 スタッド	パネル	総厚さ(mm)	表面仕上材 材質	厚さ(mm)	パネル表面仕上げ	遮音性(db/500HZ)	防火性能
・ スタッド式(内蔵) ・ スタッド式(露出) ・ パネル式 ・ スタッドパネル式				・鋼板 ・	・0.6 ・0.8	・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・ 壁紙張り	・ 0 ・ 12 ・ 20 ・ 28 ・ 36	・不燃

パネル内に取付ける建具　・あり（※図示　・　　）　・なし
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
パネル材のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

4 移動間仕切

標仕(20.2.4)

構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	表面仕上げ 材質	表面仕上げ パネル表面仕上げ	遮音性(db/500HZ)
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能　標準仕様書19章による
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の５倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・図示

（品質・性能及び試験方法）
建築材料等品質性能表による

⑤ トイレブース

(20.2.5)

表面材の種類	脚部 形状	ドアエッジ 形状	ドアエッジ 材質
⊙メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	・ 標準 ・ R	・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材

（品質・性能）
建築材料等品質性能表による
（試験方法）
建築材料等品質性能表による
パネル材のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外

6 視覚障害者用床タイル

(11.2.2)(19.2.2)

施工箇所		種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
屋内		・塩化ビニル製	・300×300・	・7.0 ・	
屋内		・セラミックタイル G （・Ⅰ類（磁器質）　・Ⅱ類（せっ器質））	・300×300・	・	※ 無ゆう ・
屋内	風除室	⊙磁器質タイル ・せっ器質タイル ・レジンコンクリート製・コンクリート製	⊙300×300・	⊙3.0	
屋外		・セラミックタイル G （・Ⅰ類（磁器質）　・Ⅱ類（せっ器質））	・300×300・	・	※ 無ゆう ・
屋外	ポーチ1	⊙磁器質タイル ・せっ器質タイル ・レジンコンクリート製・コンクリート製	⊙300×300・	⊙3.0	

ブロックパターンは JIS T 9251 による

7 階段滑り止め

(20.2.7)

材種	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド	
・ステンレス製(SUS304)ピニルタイヤ入り	・約35 ・	※接着工法 ・埋込み工法	・あり ・なし	・ビニル製 ・ステンレス製 ー

8 手すり

(20.2.6)

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材	・クリアラッカー ・	・35 ・45 ・		
・ステンレスパイプ	・ＨＬ　・			
・鋼製パイプ	・ＥＰ－Ｇ ・ＳＯＰ ・			
・ビニル製ハンドレール	・			

9 黒板及び
ホワイトボード G

(20.2.9)

種　類		寸法(mm)	色　彩	形　式	
・ 黒板	※ 焼付け ・		※ 緑 ・ 黒	・ 平面 ・ 曲面	・ ｽｸﾘｰﾝ付引分 ・
⊙ホワイトボード	ほうろう	展開図に図示	白	⊙ 平面 ・ 曲面	・ ｽｸﾘｰﾝ付引分 ・

⑩ 鏡

(20.2.10)

取付箇所　（　展開図に図示　）
寸法（mm）　⊙ 図示　・
厚さ（mm）　※ 5　・

⑪ 表示

(20.2.11)

区分	材質	寸法・形状(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備考
⊙断突防止表示 （・両面　・片面）	・ステンレス製 ・図示	・30φ ・	・市販品 ・	・図示 ・	
⊙室名札	・アクリル板 ・	⊙図示 ・	・5 ・	・図示 ・	
⊙ピクトグラフ	・アクリル板 ・	⊙図示 ・	・5 ・	・図示 ・	
・とびら番号	・アクリル板 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・	
・庁舎案内板	・アクリル板 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・	
・各階案内板	・アクリル板 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・	
・					

案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口等の表示　※消防法に適合する市販品
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。

12 煙突ライニング

(20.2.13)

・ 煙突用成形ライニング材
（品質・性能）
建築材料等品質性能表による
（試験方法）
建築材料等品質性能表による

⑬ ブラインド

(20.2.14)

形　式	操作方法	種　類	スラット材種	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材種	寸法・取付箇所
⊙横型	⊙手動	・ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	・ アルミニウム合金製　G ・	※ 25 ・	・鋼製 ・	・図示 ・
	・電動	ー				
・縦型	・手動	※２本操作ｺｰﾄﾞ式 ・１本操作ｺｰﾄﾞ式	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	・図示 ・
	・電動	ー	・			

アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G　とする。

⑭ ロールスクリーン

(20.2.15)

材種	操作方式	遮光性	寸法(mm)	取付箇所	備考
⊙ポリエステル ・	・電動式 ・スプリング式 ⊙チェーン式	・１級 ・２級 ・３級	・図示 ・	・図示 ・	

巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による。

⑮ カーテン

(20.2.16)

形式		開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・シングル ⊙ダブル	・片引き ・引分け	⊙手引き ・ひも引き	・フランスひだ ⊙箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		⊙図示 ・	
・シングル ⊙ダブル	・片引き ・引分け	・電動 ・手引き ⊙ひも引き	・フランスひだ ⊙箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		⊙図示 ・	高所用カーテンオペレーター

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は　G　とする。
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

⑯ カーテンレール

(20.2.16)

材　種　※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ ステンレス製
形式　⊙シングル　⊙ダブル
・片引き　・引分け
強さによる区分　※10-90　・
仕上げ　※アルマイト　・
形状　※角形　・

⑰ ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝型×深さ（mm）　・90×150　・120×80　・120×150　・150×80　⊙図示
材質　⊙集成材（仕上げ：　　）
・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
表面処理・C-1
・C-2（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）
・
皮膜等の種類　※標準仕様書表14.2.1による　・
・鋼製（仕上げ：　　）

⑱ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	⊙450×450 ・600×600 ・	⊙一般形 ・気密形	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ⊙目地タイプ

（品質・性能）
建築材料等品質性能表による
（試験方法）
建築材料等品質性能表による

⑲ 床点検口

材種	寸法	形式		備考
⊙アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ⊙600×600 ・	⊙一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ⊙屋内用	・鍵付き

（品質・性能）
建築材料等品質性能表による
（試験方法）
建築材料等品質性能表による

20 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・ 垂直方向 ・ 水平方向	※ 完全（全貫通型）	・ 耐火型 ・ 非耐火型	・ 有り ・ 無し	

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・シーリング材(見え掛かりのみ) ・	・シーリング材(見え掛かりのみ) ・シーリング材（内外とも）
目地寸法（幅m×深さm）	・ 20×10　・	・ 20×10　・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.2による

㉑ 止水板

形　式　・ 差込式　・ 据置式　・ 壁張り式
施工箇所　⊙基礎底板打継ぎ部分

22 エキスパンション・ジョイント金物

材種	躯体間クリアランス(mm)	仕上材クリアランス(mm)	変異追従性能(mm)	耐火性能	備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・ 50 ・ 100 ・ 150		X ： ± Y ： ± Z ： ±	・有り （　　） ・無し	

外部は防水型とする

23 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

㉔ 流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
⊙ｴﾝﾊﾟｸﾄｷｯﾁﾝ	⊙200 ・1500 ⊙650	・550 ⊙600 ・650	・800 ⊙850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
⊙つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	－	－	市販品 ステンレス製 ・1段式　・

品質・性能　JIS A 4420による
形状　※図示　・

㉕ オーニング

材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考
⊙高耐久ｱﾙﾐﾆｳﾑ形材 ・	・ ・	・図示	・簡易型 ⊙滑車型	・ ・ ・	

㉖ 既製品物置

材　種　⊙カラー鋼板製　⊙ 図示

27 車止め支柱

形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・
・			

㉘ フェンス

フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
⊙アルミフェンス
高さ　⊙図示　・

29 プレキャストコンクリート

(20.3.3～4)

コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/㎥を満足する調合強度
・図示　・図示
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。
・図示
取付け方法
※図示

30 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

(20.4.2、3)

材種		種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	－	－	
・コンクリート間知ブロック			・Ａ　・Ｂ	

積み方　※谷積み　・布積み
目塗り　・図示　・
伸縮調整目地　材種　・図示　・
厚さ　・図示　・

31 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	JISによる種類
・ 鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・ １種　・ ２種　・ ３種
・ 鋼製物品棚		・ ４種　・ ５種　・ ６種　・

32 屋内掲示板

枠の材質　※ アルミニウム製
表面の材質　※ 塩ビ発泡シート張り　・

33 洗面カウンター

材　種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・ 人工大理石
奥行き(mm)　・ 約 450　・ 約 600

㉞ 防煙垂れ壁

⊙固定式

材　質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備　考
※ 強化ガラス ・ 線入り磨板ガラス	※ 5.0 ・	※ 500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ(mm)	備　考
・垂直降下式 （巻取り型）	※ 不燃布 （不燃認定品）	※ 500 ・ 800 ・	ガイドレール ※ 固定式（壁埋込型） ・ 可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ・ 800 ・	表面仕上げ ※ 天井張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

㉟ 屋外掲示板

照明器具　※ 有り　・　無し
施　錠　※ 有り　・　無し
製造所

㊱ 収納家具

材質、形状、寸法　※ 図示　・
合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・

㊲ 窯業系サイディング工事

・サイディング材

種類	形状	働き長さ 働き幅	厚さ(mm)	表面仕上げ	耐凍害性能	防火・耐火性能
・	・	⊙455 ・	⊙16 ・	⊙アクリルクリヤー塗装 ・	・	・

張り方　・ 縦張り　⊙横張り
換気口部の防水処置　※ 木造標準仕様書19.3.2(c)(3)(iii)による・
現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ　・
通気胴縁　樹種　※ 杉
寸法　⊙図示
通気胴縁の防腐処理方法（　　）

㊳ 複合金属サイディング工事

・サイディング材

種類	形状	有効幅(mm)	長さ(mm)	厚さ(mm)	表面材 しん材の種別	防火・耐火性能
・	・	・	・	・	・	・

張り方　・ 縦張り　・ 横張り
換気口部の防水処置　※ 木造標準仕様書19.3.2(c)(3)(iii)による　・
現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ　・
通気胴縁　樹種　※ 杉
寸法　・ 図示
通気胴縁の防腐処理方法（　　）

⑳ 排水工事

① 屋外雨水排水

材料　標仕(21.2.1、2)(表 21.2.1、2)

材種	管の種類	形状	呼び径	備考
・ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管（１種） ・	・Ｂ形管 ・	※図示 ・	
⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管	⊙ VP		※図示　・	
	・ VU		※図示　・	
	・ RS-VU G		※図示　・	

基床の厚さ及び種類　・ 図示　・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※ 接着剤　・

側塊の形状及び寸法　・ 図示　・
排水桝の種類　・ 図示　・

砂地業に用いる材料　※ 標準仕様書（21.2.1）(g)(1) による　・ 図示
砂利地業に用いる材料　※ 標準仕様書（21.2.1）(g)(2) による　・ 図示

コンクリート基礎等に用いる材料
※ 標準仕様書 6章14節により、設計基準強度 18N/mm^2 とする。
ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比）は、セメント１：砂２：砂利４程度とする。
・ 図示

凍上抑制層の厚さ　・ 図示　・　(21.2.1)(表21.2.2)
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・ 行う　・ 行わない

② 鋳鉄製ふた

(21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 （パッキン式） ・密閉形 （テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形 （テーパ・パッキン式） ・ RS-VU G	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用 ・	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209による

③ グレーチング

(21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛 めっき(付着量)	上面形状
⊙鋼製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ⊙桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ⊙T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用 ・	・細目 ・ ⊙磨通目 ・細目	・（　　） ・ ・（　　）	・凹凸形 ・ ⊙平形 ・
・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用 ・	－ －	－ －	・凹凸形 ・ ・平形 ・

（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による
（荷重試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

④ 街きょ、縁石、側溝

(21.3.1、2)(表21.3.1)

街きょ、縁石、側溝

種類	形状、寸法
⊙縁石	⊙ 図示　・
・Ｌ形側溝	・ 図示　・
・Ｕ形側溝	・ 図示　・
・Ｕ形側溝ふた	・ 図示　・
・	・ 図示　・

地業の材料　※標準仕様書（4.6.2）(a)による　・図示
砂利地業の厚さ　※100（mm）　・図示
コンクリート基礎等に用いる材料
※ 標準仕様書 6章14節により、設計基準強度 18N/mm　とする。
ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比）は、セメント１：砂２：砂利４程度とする。
・ 図示

凍上抑制層の厚さ　・ 図示　・　(21.2.1)(表21.2.2)
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・ 行う　・ 行わない

⑤ 埋戻し土

(21.2.1)(表3.2.1)

※ Ｂ種　・

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

21 舗装工事

① 路床

標仕(22.2.2、3、5)(表22.2.1)

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
⊙盛土	・A種 ⊙B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下） ・	・図示 ・
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下） ・	・図示 ・

・ 路床安定処理（添加材料による安定処理）
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 G
・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰（ ・ 特号 ・ 1号 ） ・ 消石灰（ ・ 特号 ・ 1号）
・ 固化材（ ・ セメント系 ・ 石灰系 ）
添加量 ・ kg/m³(目標CBR ・3以上 ・)
・ 路床置換処理
置換厚さ ※ 図示 ・
置換材料の種類、品質 ※ 図示 ・

・ 不織布（ジオテキスタイル）
単位面積質量 ・60g/㎡以上 ・
厚さ(mm) ・0.5～1.0 ・
引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・
透水係数 ・1.5×10-1cm/sec以上 ・

試験
砂の粒度試験 ・ 行う ⊙ 行わない
路床土の支持力比（CBR）試験 ・ 行う（ 箇所） ⊙ 行わない
現場CBR試験 ・ 行う（ 箇所） ⊙ 行わない
安定処理土のCBR試験 ・ 行う ⊙ 行わない
路床締固め度の試験 ・ 行う（ 箇所） ⊙ 行わない
六価クロム溶出試験 ・ 行う（現場説明書による） ⊙ 行わない

② 路盤

(22.3.2、3、5)(表22.3.1)

路盤の構成及び厚さ ※ 図示 ・
路盤材料

種別	
砕石	・クラッシャラン
	・粒度調整砕石
再生材	⊙クラッシャラン G
	・粒度調整砕石 G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G	
・粒度調整鉄鋼スラグ G	
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G	

試験
路盤締固め度の試験 ※行う ・行わない

③ アスファルト舗装

(22.4.2～6)（表22.4.4、5）

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・

材料
アスファルト ⊙再生アスファルト G ・ ストレートアスファルト
骨材 ・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G
アスファルト乳剤
⊙プライムコート（1.51/m²） タックコート（0.41/m²）

加熱アスファルト混合物等の種類

区分	地域	種類
⊙表層	⊙一般地域	⊙密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)
	・寒冷地域	密粒度アスファルト混合物(13F)
・基層	一般及び寒冷地域	粗粒度アスファルト混合物(20)

配合

ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率（%） 粗粒度アスファルト混合物（20）
26.5 mm	100
19.0 mm	95 ～ 100
13.2 mm	70 ～ 90
4.75 mm	35 ～ 55
2.36 mm	20 ～ 35
600 μm	11 ～ 23
300 μm	5 ～ 16
150 μm	4 ～ 12
75 μm	2 ～ 7
アスファルト量（%）	4.5 ～ 6.0

シールコートの施工 ・行う ⊙行わない

試験
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ⊙行わない

舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

4 コンクリート舗装

(22.5.2～4、6)（表22.5.1、3）（図22.5.1）

・コンクリート舗装の構成及び厚さ

区分	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート版	・車路、駐車場	※ 図示	・150 ・ 200
	・歩行者用通路	※ 図示	※ 70 ・

縁部立下り寸法等 ・図示

材料
コンクリート ・標準仕様書 表22.5.1 による ・
早強セメント ・使用する ・使用しない
注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ
アスファルト乳剤
・プライムコート（1.51/m²）

溶接金網
敷設位置 ※コンクリート版厚150mmの場合は、1/2程度の位置とする
※コンクリート版厚200mmの場合は、表面から1/3程度の位置とする
・図示

目地
種類、間隔、構造 ※ 標準仕様書 表 22.5.3 及び 図 22.5.1 による ・ 図示

舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

⑤ カラー舗装

(22.6.2～6)（表22.6.2）

・カラー舗装（加熱系）の構成及び厚さ ※図示

区分	種類		部位	厚さ(mm)
表層	・加熱アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・カラー骨材舗装 ・ベンガラ混入アスファルト舗装 ・樹脂系混合式舗装	・車路、駐車場 ・歩行者用通路	50 30

加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による

材料
添加する材料 ・着色骨材（ ） ・自然石（ ）
配合
結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 ・

・カラー舗装（常温系）の構成及び厚さ ※図示

カラー舗装材	区分	種類	部位	厚さ(mm)
・塗布式樹脂舗装 ・ニート式舗装	表層	・加熱アスファルト混合物	・車路、駐車場	50
			・歩行者用通路	30
		・コンクリート版	・車路、駐車場	・150 ・200
			・歩行者用通路	70

加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による
コンクリート版は、コンクリート舗装による

配合
ニート式舗装及び塗布式樹脂舗装の配合等 ・

6 透水性舗装

透水性舗装の構成及び厚さ ※図示

区分	種類	部位	厚さ(mm)
・表層	・改質アスファルトⅠ型	車路、駐車場	50
	・透水性用開粒度アスファルト	歩行者用通路	30
	・透水性コンクリート		70
	・透水性インターロッキングブロック	・車路、駐車場	80
		・歩行者用通路	60
・敷砂層	・砂	・車路、駐車場	20
		・歩行者用通路	30
・フィルター層	川砂、海砂又は良質な山砂 （75μmふるい通過量6%以下）		100

アスファルト乳剤（プライムコート）の施工は行わない。

・ 透水性アスファルト舗装
・ ポーラスアスファルト混合物(13) ・ 開粒度アスファルト混合物(13)
配合 (表22.7.1)

ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率（%）	
	車路・駐車場	歩行者用通路
19mm	100	100
13.2mm	90 ～ 100	95 ～ 100
4.75mm	11 ～ 35	20 ～ 36
2.36mm	10 ～ 20	12 ～ 25
300μm	－	5 ～ 13
75μm	3 ～ 7	3 ～ 6
アスファルト量（%）	4 ～ 6	3.5 ～ 5.5

基準値 (表22.7.2)

項目	基準値	
	・車路、駐車場	・歩行者用通路
最大粒径 (mm)	13	
安定度 (kN)	3.43 以上	3.0 以上
フロー値 (1/100cm)	―	20～40
空隙率 (%)	20程度	12以上
動的安定度（回/mm）	3.000以上	―
透水係数 (cm/s)	1×10^{-2}以上	

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない

・ 不織布（ジオテキスタイル）
敷設位置 ※フィルター層と路床の間に敷設 ・図示

舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの

・ 透水性コンクリート舗装 (22.5.2～4、6)
コンクリート舗装に対する基準値

項目	基準値
最大粒径 (mm)	13
空隙率 (%)	20以上
透水係数 (cm/s)	1×10^{-2}以上
目地の間隔	版厚の20倍程度

構成、厚さはコンクリート舗装による

・ 不織布（ジオテキスタイル）
敷設位置 ※フィルター層と路床の間に敷設 ・図示

・ 透水性コンクリート平板舗装 (22.8.2、3)
透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による。

・ 透水性インターロッキングブロック舗装 (22.8.2、3)
透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による。

7 半たわみ性舗装

(22.3.2、3、5)(表22.3.1)

半たわみ舗装（車路、駐車場）の構成及び厚さ ※図示

区分	種類	厚さ(mm)
表層	半たわみ性舗装用アスファルト混合物Ⅰ型(13)	40
基層	再生粗粒度アスファルト混合物（20）	40

試験
半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
材料
浸透用セメントミルクの標準的な性状

項目	性状	試験方法
フロー値（Pロート） 砂	10～14	舗装調査・試験法便覧（C041）
圧縮強度（7日養生） MPa	9.8～29.4	JIS R 5201
曲げ強度（7日養生） MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧（C042）

配合
半たわみ性舗装用アスファルト混合物の標準配合

ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率（%）
19mm	100
13.2mm	95～100
4.75mm	10～35
2.36mm	5～22
600μm	4～15
300μm	3～12
75μm	1～6
アスファルト量（%）	3.0～4.5

半たわみ性舗装用アスファルト混合物のマーシャル安定度試験に対する基準値

項目	基準値
密度 (g/cm3)	1.90以上
安定度 (kN)	2.94以上
フロー値 (1/100cm)	20～40
空隙率 (%)	20～28
突固め回数 (回)	50

施工
アスファルト混合物等の施工は、標準仕様書22.4.5による。
浸透用セメントミルクの施工は、(1)から(5)による
(1) 浸透用セメントミルクの製造は、一般に移動式ミキサによって行うが、工事規模が大きい場合には専用の移動式や固定式の混合プラントを用いることもある。
(2) 浸透用セメントミルクの施工は、一般に舗装体表面の温度が50℃程度以下になってから行う。その場合、舗装体にごみ、泥、水などが残っていないことを確認する。浸透作業は、一般に振動ローラ等により行う。
(3) セメントミルクが舗装表面に残っていると、路面のすべり抵抗値を低下させることがあるので、舗装表面の骨材の凹凸が現れる程度にセメントミルクをゴムレーキ等で除去する。特にすべり止め対策を必要とするところは、硅砂の使用及び余剰セメントミルクのよりいっそうの除去等、材料や施工法等で対処するか、場合によっては施工後ショットブラスト等で表面を粗くすることが必要である。
(4) 交通開放までの一般的な養生期間は、下表に示すとおりである。

セメントミルクの種類	養生期間
普通タイプ	約 3 日
早強タイプ	約 1 日
超速硬タイプ	約 3 時間

(5) 浸透用セメントミルクを注入する前に交通開放すると、骨材の剥奪や飛散、またはごみ、泥等による汚れが生じることがあるので、基本的には注入前に交通開放を行わないようにする。
試験
締固め度 標準仕様書22.4.2(b)による

舗装厚さの許容差 ※標準仕様書 22.4.2(c) による
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

8 弾性舗装

(22.4.2～6)（表22.4.2～6）

弾性舗装（歩行者用通路）の構成及び厚さ ※図示

区分	種類	厚さ(mm)
表層	弾性舗装材	15～20
基層	再生密粒度アスファルト混合物（13）	30

加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による

9 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装（歩行者用通路）の構成及び厚さ ※図示 (22.8.2、3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
※ 普通平板(N) ・ 透水平板(P)	※ 300角 ・	※ 60 ・	※ 砂 ・ モルタル	表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し
敷砂層	・ 砂 ・ 空練りモルタル	30		

歩行者用通路に使用する普通平板は G（再生材料を用いた舗装用ブロック）、透水平板は G（透水性コンクリート）とする。

仕上り面の平たん性 ※ 歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は 3mm 以内とする。
・

⊙インターロッキングブロック舗装の構成及び厚さ ※図示

種類	部位	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm²)	横断面勾配	目地材	備考
・ 普通ブロック（N） ⊙ 透水性ブロック（P）	・車路、駐車場	80	5.0以上	2%	砂	色彩、表面加工 ⊙ 標準品 ・
	⊙歩行者用通路	60	3.0以上	1.5～2%		

区分	部位	厚さ(mm)	種類
敷砂層	・車路、駐車場	20	砂
	・歩行者用通路	30	
フィルター層		100	川砂、海砂又は良質な山砂 （75μmふるい通過量6%以下）

歩行者用通路に使用するブロックは G（再生材料を用いた舗装用ブロック）、透水性ブロックは G （透水性コンクリート）とする。

・ 不織布（ジオテキスタイル）
敷設位置 ※図示
・敷砂層と路盤の間に敷設
・フィルター層と路床の間に敷設

舗装の割付（車路、駐車場） ・ヘリンボンボンド（45°） ・ヘリンボンボンド（90°）
仕上り面の平たん性 ※ 走行、歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は 3mm 以内とする。
・

・ 舗石（歩行者用通路）舗装の構成及び厚さ ※図示

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
※ 小舗石（花こう岩） ・	・	・	モルタル	・ うろこ張り ・

区分	種類	厚さ(mm)	備考
敷砂層	※砂 ・空練りモルタル	30	
基層	・コンクリート版	70	
	・再生粗粒度アスファルト混合物（20）	50	

コンクリート版は、コンクリート舗装による
加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による

仕上り面の平たん性 ※ 歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は 3mm 以内とする。
・

10 砂利敷き

(22.9.2)

種別
・ A種（施工範囲：・図示 ・通路 ・ ）
・ B種（施工範囲：・図示 ・建物周囲他 ・ ）

⑪ 路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
・ 1種 G	常温	液状	・ 白	・ 150	・ 1.0
・ 2種 G	加熱		・	・ 100	・
※ 3種1号	溶融	粉体状			

G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

22 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認等

標仕(23.1.3)

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験 ・行う ・行わない
電気伝導度（EC）の試験 ・行う ・行わない

② 植栽基盤の整備

(23.2.2、4)

植栽	工法	有効土層の厚さ（cm）	整備範囲	土壌改良材
⊙樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 （※100 ・120 ・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80 ・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60 ・80） 樹高3m未満 （※50 ・60）	・業張り部分 ・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備 ・設ける（※図示 ・ ） ・設けない

③ 植込み用土

・ 現場発生土の良質土 ⊙ 客土 (23.2.3)

4 土壌改良材

・ バーク堆肥 G (23.2.3)
施工箇所 ※植栽範囲 ・図示
使用量 植栽基盤面積1㎡あたり （ ・50L ・ ）

・ 汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）G
施工箇所 ※植栽範囲 ・図示
使用量 植栽基盤面積1㎡あたり （ ・10L ・ ）
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする

⑤ 樹木

(23.3.2)

樹種、寸法、株立数等 ※図示 ・

6 支柱

(23.3.2、3)

支柱材 ※ 丸太（間伐材）G ・ 真竹
防腐処理方法 ※ 加圧式防腐処理丸太材 ・
形式 ・図示 ・

7 幹巻き用材料

材料 (23.3.2)
※ 幹巻き用テープ ・ わら及びこも

⑧ 芝

(23.4.2、3)

種類 ・ コウライシバ ・ノシバ ⊙人工芝
芝張りの工法
平地 ・目地張り ・べた張り
法面 ・目地張り ・べた張り

9 吹付けは種

(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量（g/㎡）	備考
※洋芝類（採取後2年以内）	※発芽率80%以上		
・			

10 地被類

(23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・			
・			

⑪ 新植、移植樹木、芝等の枯補償

(23.3.4、6)(23.4.7)

新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間
※引渡しの日から１年 ・無し ・
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡しの日から１年 ・無し ・

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号 一級建築士大臣登録第225810号 小宮山吉登

工事区分表

●印の付いたものを適用する

A:建築主体工事　E：電気設備工事　M:機械設備工事　L：別途工事

■ 各種調査・諸申請関係

項目	有	無	備考
現況測量（高低差共）	●		
地籍測量		●	
地盤調査	●		標準貫入試験、SWS試験
アスベスト等含有調査		●	ｱｽﾍﾞｽﾄ、ｼｰﾘﾝｸﾞ材PCB、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類
分筆登記		●	
民民査定		●	
官民査定		●	
確認申請	●		
構造適合性判定		●	
消防同意	●		
工作物申請		●	看板（高さ4m超えの場合）
バリアフリー法		●	努力義務
長野県福祉のまちづくり条例	●		
省エネ法	●		
長野県地球温暖化対策条例	●		
景観条例	●		
屋外広告物条例	●		但し申請不要規模

■ 建築工事概要

●印の付いたものを適用する

	項目	含む	含まず	備考
	共通仮設工事	●		
建築工事	直接仮設工事	●		
	土工事	●		
	地業工事	●		
	鉄筋工事	●		
	コンクリート工事	●		
	鉄骨工事			
	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形セメント板工事			
	防水工事	●		
	石工事			
	タイル工事	●		
	木工事	●		
	屋根及びとい工事	●		
	金属工事	●		
	左官工事	●		
	鋼製建具工事	●		
	木製建具工事	●		
	カーテンウォール工事			
	塗装工事	●		
	内装工事	●		
	ユニット及びその他の工事	●		
	家具工事	●		
	排水工事	●		
	舗装工事	●		
	植栽工事	●		

■ 備品・雑工事
＜ 建築工事 ＞

項目	含む	含まず	備考
家具	●		家具図参照
什器・机・椅子・備品		●	可動品
コンパクトキッチン	●		事務室、調乳室
消火器	●		
消火器ボックス	●		埋込式
トイレ（手摺り・紙巻器等）	●		
カーテンレール	●		
カーテン	●		
ブラインド・ロールスクリーン	●		
ピクチャーレール	●		
郵便受	●		
施設名板	●		
室名札	●		
掲示板	●		

■ 外構工事
＜ 建築工事 ＞

項目	含む	含まず	備考
舗装	●		外構図参照
フェンス	●		〃
植樹造園	●		〃
雨水宅内処理施設	●		〃
物置	●		〃
設備基礎	●		空調室外機、ｷｭｰﾋﾟｸﾙ、ｶﾞｽﾊﾞﾙｸﾀﾝｸ

■ 工作物・広告物・看板
＜ 建築工事 ＞

項目		含む	含まず	備考
壁面看板	仕上	●		
	下地	●		

■ 障害物撤去・移設
＜ 建築工事 ＞

項目		含む	含まず	備考
解体工事	既存建物			参考敷地現況図参照 / 主体工事前　敷地状況図参照
	既存ＣＢ・擁壁			〃
	既存樹木			剪定　　撤去・伐根
	フェンス			
	スロープ・手摺			
移設工事	電柱・支線			
	樹木			

■ 電気設備工事

項目			含む	含まず	備考
電力引込設備			●		
受変電設備			●		
分電盤本体			●		
自家発電設備					
幹線・動力設備			●		
電灯コンセント設備	屋内配管配線設備	照明器具	●		
	屋外配管配線設備	外灯	●		
弱電設備	電話設備（FAX共）	配管	●		端子盤までの配管工事
		配線	●		引込柱から端子盤までの配線工事
		配線	●		室内指定位置配線
	LAN		●		指定位置までの配線・配管工事　（PC等用のLAN配線）
	テレビ共聴設備		●		
	衛生放送設備				
	放送設備	スピーカー・アンプ機器	●		
	インターホン設備		●		
	トイレ呼出し設備		●		
	居室呼出し設備				
	時計設備		●		
自動火災報知設備			●		
非常警報設備			●		
消防機関へ通報する火災報知設備			●		
誘導灯			●		
誘導標識			●		
避難器具					
消火器				●	建築主体工事
自家発電設備					
機械排煙設備					
避雷針設備					
エレベーター					
小荷物専用昇降機					
床暖房設備				●	機械設備工事
防犯・監視カメラ設備			●		
機械警備用配管設備			●		

■ 機械設備工事

項目			含む	含まず	備考
給水設備	給水加入金・分担金			●	
	給水本管取出工事			●	
	屋外設備		●		
	屋内設備		●		
排水設備	放流分担金			●	
	排水本管への接続工事		●		
	屋外設備		●		
	屋内設備		●		
給水給湯設備			●		
衛生器具設備			●		
ガス設備	配管		●		
	ボンベ・バルクタンク		●		
	都市ガス				
浄化槽					
厨房設備	厨房器具		●		
	同上据付		●		
	配管接続		●		
冷暖房設備	パッケージエアコン	［冷暖房］	●		
	石油FF温風暖房機	［暖房］			
	床暖房設備	［暖房］	●		
	パネルヒーター	［暖房］	●		
	電気ヒーター	［暖房］			
換気設備	一般換気		●		
	24時間換気		●		
	厨房用換気		●		
機械排煙設備					
スプリンクラー設備					
連結送水管設備					
屋内消火栓			●		
屋外消火栓					
消火器				●	建築主体工事

		A	E	M	L	
A 一般事項						
工事用電力・上下水・ガス・電話等						
1	工事用仮設電力・上下水・ガス・電話等の確保、および基本料金、従量料金	●	●	●		
2	電力・上下水・ガス・電話・CATV等　引込負担金				●	
3	本設引込後　工事期間中の電力・上下水・ガス・電話等の基本料金	●	●	●		
4	本設引込後　工事期間中の電力・上下水・ガス・電話等の従量料金	●	●	●		
5	工事期間中の本設電力設備の管理および維持		●			
6	仮設足場	●				電気・機械設備工事共、無償で使用可
B 躯体						
躯体・基礎						
1	設備シャフト・スペース等の躯体および仕上げ	●				
2	大型設備（重荷重）機器のコンクリート基礎	●				ｷｭｰﾋﾟｸﾙ、空調室外機
3	同上　機器架台		●	●		
4	一般設備（軽荷重）機器のコンクリート基礎	●	●	●		
5	屋上・屋外における設備機器コンクリート基礎、鋼材基礎（一次側は損等）	●				
6	同上　機器架台		●	●		
7	同上　防水仕上げおよびその他防水部分との取合い	●				
8	設備機器設置に対する構造体補強	●				
9	設備機器設置用アンカーボルトの構造体緊結（箱入れ、モルタル埋房等）		●	●		
10	内部雨水排水および清掃	●				
地下ピット						
1	区画形成、勾配確保、断熱等	●				
2	点検口（マンホール、床下点検口）、タラップ取付	●				
3	人通口、連通管取付およびポンプ釜場	●				
その他						
1	床配管ピット、床配線ピット	●				
2	排水側溝	●				グレーチング蓋含む
C 開口・穴あけ						
構造体						
1	鉄筋コンクリート構造体（RC）スリーブ取付、箱入れ		●	●		
2	同上　構造体補強	●				
3	同上　開口部補修、穴埋め		●	●		※要打合せ
4	鉄骨構造体（S）スリーブおよび補強					
5	同上　スリーブ取付					
6	未使用鉄骨スリーブに対する開口閉鎖					
7	外壁等の構造体貫通スリーブ取付		●	●		
8	同上　構造体補強	●				
9	同上　防水処置および貫通配管等の防水処理		●	●		
10	壁・床等の構造体貫通スリーブ取付		●	●		
11	同上　構造体補強	●				
12	設備機器搬入用フックの構造体取付（打込み）および構造体補強	●				仮設設置のフックは除く
躯体						
1	壁・床面埋込設備に対する躯体開口（仮枠および補修）		●	●		
2	同上　開口部補強	●				
3	外部へ貫通する配管・ダクト用開口および貫通部の防水処置	●				
4	同上　開口における配管・ダクトとの隙間充填、シール処理		●	●		
外壁・屋根						
1	外壁取付設備器具（換気扇、ガラリ等）に伴う外壁穴あけおよび小口補修	●				
2	同上　位置出し（隅出し）、開口寸法等の指示		●	●		
3	同上　防水処理および貫通配管等の防水処理	●				外壁詳細図にて納まり参照のこと
4	同上　開口における隙間充填、シール処理	●				同上
その他						
1	天井取付設備器具（照明、冷暖房設備等）に伴う天井穴あけおよび開口補強、小口仕上	●	●	●		
2	同上　位置出し（隅出し）、開口寸法等の指示		●	●		
3	壁面取付設備器具（扇風機等）に伴う壁面補強下地および壁面穴あけ、開口補強、小口仕上	●	●	●		
4	同上　位置出し（隅出し）、補強寸法等の指示		●	●		
5	二重扉に対する配線器具取付用開口、配線通過用開口およびカバー					
6	同上　配線器具取付、結線					
7	二重床内の設備配線・配管用開口に対する防火区画貫通処理					
D 建築関係						
建具・仕上げ						
1	点検口（天井・壁・床）取付および開口補強	●				設備保守点検用
2	ドアガラリおよび外壁ガラリ（防虫網付き）	●				
3	設備機器、配管配線に伴う吊ボルトおよびインサート取付		●	●		
4	同上　設備用吊りラック		●	●		
5	同上　鉄骨補強下地	●				図示
防火・防煙						
1	固定防煙たれ壁	●				
2	自然排煙口	●				
3	同上　排煙オペレーターおよび制御ワイヤー	●				
4	防火区画床・壁、防煙区画床・壁貫通部分の区画処理	●	●	●		
5						
防音・遮音						
1	屋根下空調室外機に対する防音、遮音処置					
2	設備機器の騒音対策および騒音振動伝播抑制		●	●		
3	吊りボルト用防振金具　手配					
4	同上　取付					天井材及び天井材に接触するものが対象
5	-					
外部仕上げ						
1	外部換気扇取付枠、ウェザーカバー			●		
2	同上　ダンパおよびダクト接続			●		
3	外壁、軒天井部貫通用ベントキャップ			●		
4	同上　通気管取付			●		
5	化粧マンホール蓋、ハンドホール蓋		●	●		
6	同上　仕上げ					
その他						
1	保守用キャットウォーク、タラップ、手摺り、フェンス					
2	固定家具（建築工事内）	●				家具図参照のこと
3	備品				●	
4	オイルタンクの防油堤					
5	外構　植栽および客土	●				

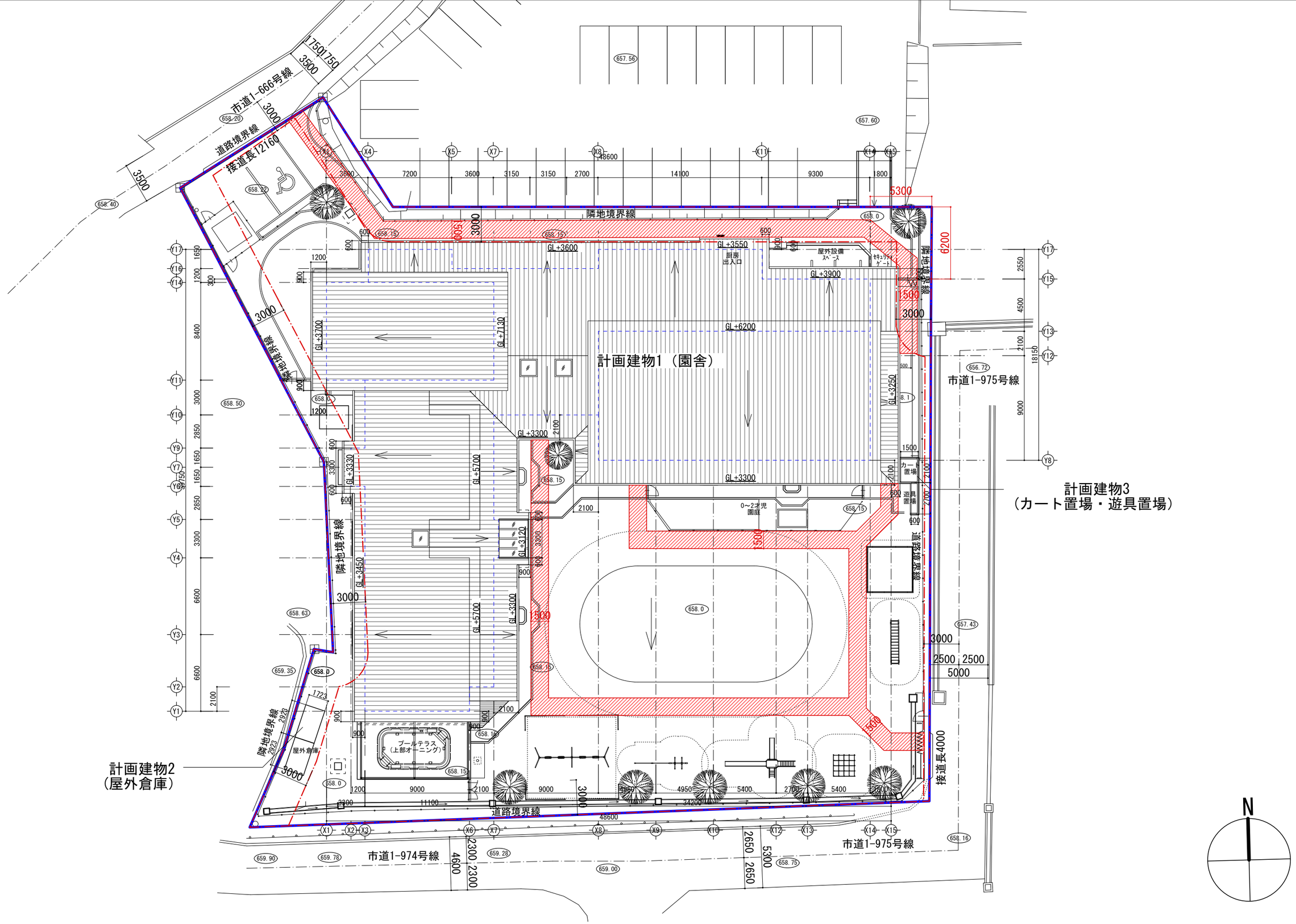
		A	E	M	L	
E 電気設備関連						
一般事項						
1	外灯および外灯ポール		●			
2	同上　配管配線接続		●			
3	電話交換機、電話機、MDF、IDF　取付および試験調整		●			
4	同上　配線布設		●			
5	同上　配管対応		●			
6	電話引込負担金（加入金）				●	
7	ケーブルTV引込、配線				●	
8	同上　配管対応		●			
9	情報通信設備　ネットワーク構成機器、LAN構築等		●			
10	同上　配線布設		●			
11	同上　配管対応		●			
12	防犯設備（警備セキュリティ）		●			
13	同上　警備保障関係の配線、試験調整				●	
14	同上　一次側電源及び配管対応		●			
その他						
1	太陽光発電設備　太陽電池モジュール架台取付					詳細区分は太陽光発電設備図面による
2	同上　屋根一次側金物（指定ボルト付き）					
3	同上　設置施工図および強度検討書の提出（屋根および太陽光発電設備）					
4	120型電動スクリーン	●	●			
5	-					
空調設備						
1	パッケージエアコン			●		
2	同上　一時側電源供給		●			
3	同上　操作スイッチ取付及び二次側配管配線			●		
4	同上　屋内機～屋外機間電源および制御線渡り配線			●		
5	-					
換気設備						
1	換気扇（有圧扇、天井扇等）			●		
2	同上　一時側電源供給		●			
3	同上　操作スイッチ取付及び二次側配管配線		●			
4	-					
5	-					
ガラリ・チャンバー						
1	外壁、軒天井部ガラリ					
2	同上　チャンバーおよび雨水排水					
3	同上　防火ダンパー					
4	サッシ一体型ガラリ、スリット					
5	ドアガラリ					
6	同上　防火ダンパー					
防火・防煙						
1	防火ダンパー（FD）		●	●		
2	-					
3	-					
融雪・凍結防止						
1	凍結防止ヒーター			●		
2	同上　一次側電源供給		●			
3	同上　操作スイッチ取付および二次側配管配線		●			
4						

		A	E	M	L	
F 衛生設備関連						
排水設備						
1	敷地内雨水排水設備	●				
2	床排水金物			●		
3	ルーフドレン金物					
4	屋外雨水竪樋	●				
5	同上　屋外第一桝・雨水貯留槽等への接続配管	●				
6	屋内雨水配管	●				
7	屋外雨水桝および配管			●		
8	雨水側溝および会所桝	●		●		
9	屋外汚水・雑排水排水桝及び配管			●		
10	空調設備熱源および空調機器等の機器周りドレン配管			●		
11	排水処理除害施設					
12	同上　コンクリート基礎					
衛生器具設備						
1	化粧鏡	●				
2	紙巻器			●		
3	衛生器具取付および配管接続			●		
4	同上　配線接続		●			
5	トイレ手摺り			●		
6	トイレブース、戸当たり、帽子掛け	●				
7	同上　手摺り等取付に伴う下地補強、設置	●		●		
8	手洗台	●				家具図参照のこと
9	同上　配管接続			●		
10	-					
消火設備・警報設備						
1	消火器（スタンドを含む）	●				消防設備設置届を含む
2	消火器埋込式BOX及び取付	●				
3	ガス漏れ警報設備（感知器および警報装置）		●	●		単独設置感知器は機械設備工事
4	ガス緊急遮断弁・遮断弁制御盤・感知器		●	●		
5	同上　遠隔操作盤および接続に伴う配管配線					
その他						
1	流し台・ミニキッチン・コンパクトキッチン	●				
2	同上　ガスコンロ、電気コンロ、電磁調理器	●				
3	同上　電気温水器			●		
4	同上　電源送り、配線接続		●			
5	同上　給排水配管接続			●		

■備考

工事名	図面名称	SCALE	DATE	図面番号
令和８年度　保育所管理事業　新保育園建設　建築工事	工事区分表	—	2026.09.14	A-08

株式会社倉橋建築計画事務所
長野県松本市野清木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号 (松本) H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吾登



設計GL = 680.00
FL = 設計GL + 300(680.30)

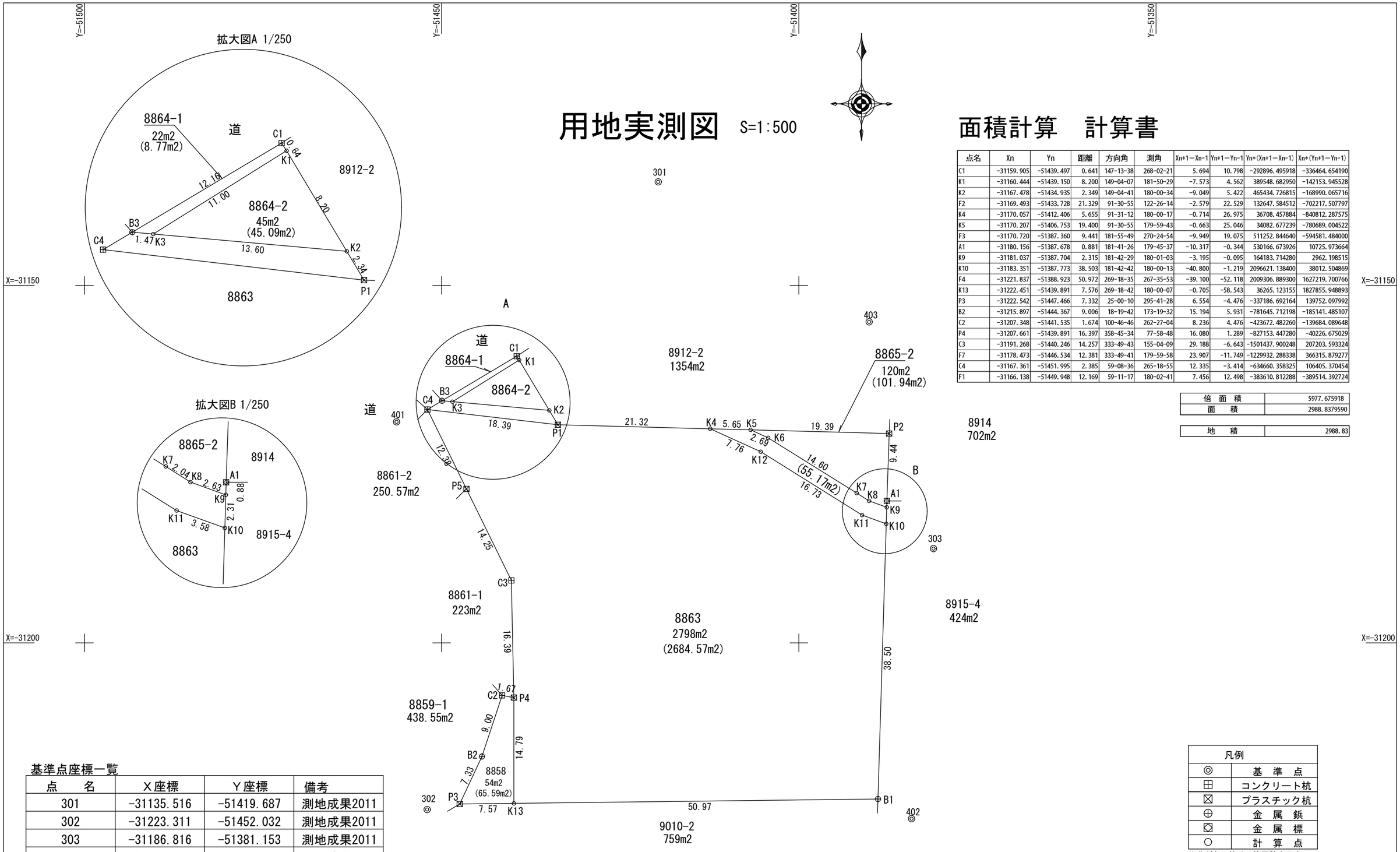
:延焼の恐れのある部分

:敷地内通路
（幅員1.5m避難口から道路まで）

令和８年度 保育所管理事業 新保育園建設　建築工事	配置図	SCALE A1:1/150 A3:1/300	DATE 2026.09.14	A-09

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

用地実測図 S=1:500



面積計算　計算書

点名	Xn	Yn	距離	方向角	測角	Xn+1−Xn−1	Yn+1−Yn−1	Yn*(Xn+1−Xn−1)	Xn*(Yn+1−Yn−1)
C1	-31159.905	-51439.497	0.641	147-13-38	268-02-21	5.694	10.798	-292896.495918	-336464.654190
K1	-31160.444	-51439.150	8.200	149-04-07	181-50-29	-7.573	4.562	389548.682950	-142153.945528
K2	-31167.478	-51434.935	2.349	149-04-41	180-00-34	-9.049	5.422	465434.726815	-168990.065716
F2	-31169.493	-51433.728	21.329	91-30-55	122-26-14	-2.579	22.529	132647.584512	-702217.507797
K4	-31170.057	-51412.406	5.655	91-31-12	180-00-17	-0.714	26.975	36708.457884	-840812.287575
K5	-31170.207	-51406.753	19.400	91-30-55	179-59-43	-0.663	25.046	34082.677239	-780689.004522
F3	-31170.720	-51387.360	9.441	181-55-49	270-24-54	-9.949	19.075	511252.844640	-594581.484000
A1	-31180.156	-51387.678	0.881	181-41-26	179-45-37	-10.317	-0.344	530166.673926	10725.973664
K9	-31181.037	-51387.704	2.315	181-42-29	180-01-03	-3.195	-0.095	164183.714280	2962.198515
K10	-31183.351	-51387.773	38.503	181-42-42	180-00-13	-40.800	-1.219	2096621.138400	38012.504869
F4	-31221.837	-51388.923	50.972	269-18-35	267-35-53	-39.100	-52.118	2009306.889300	1627219.700766
K13	-31222.451	-51439.891	7.576	269-18-42	180-00-07	-0.705	-58.543	36265.123155	1827855.948893
P3	-31222.542	-51447.466	7.332	25-00-10	295-41-28	6.554	-4.476	-337186.692164	139752.097992
B2	-31215.897	-51444.367	9.006	18-19-42	173-19-32	15.194	5.931	-781645.712198	-185141.485107
C2	-31207.348	-51441.535	1.674	100-46-46	262-27-04	8.236	4.476	-423672.482260	-139684.089648
P4	-31207.661	-51439.891	16.397	358-45-34	77-58-48	16.080	1.289	-827153.447280	-40226.675029
C3	-31191.268	-51440.246	14.257	333-49-43	155-04-09	29.188	-6.643	-1501437.900248	207203.593324
F7	-31178.473	-51446.534	12.381	333-49-41	179-59-58	23.907	-11.749	-1229932.288338	366315.879277
C4	-31167.361	-51451.995	2.385	59-08-36	265-18-55	12.335	-3.414	-634660.358325	106405.370454
F1	-31166.138	-51449.948	12.169	59-11-17	180-02-41	7.456	12.498	-383610.812288	-389514.392724

倍　面　積	5977.675918
面　　積	2988.8379590

地　　積	2988.83

基準点座標一覧

点　　名	X座標	Y座標	備考
301	-31135.516	-51419.687	測地成果2011
302	-31223.311	-51452.032	測地成果2011
303	-31186.816	-51381.153	測地成果2011
401	-31169.086	-51456.316	測地成果2011
402	-31224.595	-51384.227	測地成果2011
403	-31155.103	-51390.159	測地成果2011

凡例	
◎	基　準　点
⊞	コンクリート杭
⊠	プラスチック杭
⊕	金　属　鋲
⊠	金　属　標
○	計　算　点

※()がない値は公簿面積を示す。
()内の値は本業務で算出した実測地積を示す。

令和８年度　保育所管理事業 新保育園建設　建築工事	用地実測図 面積計算　計算書	SCALE A1:1/250 A3:1/500	DATE 2026.09.14

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

A-10

建物求積表

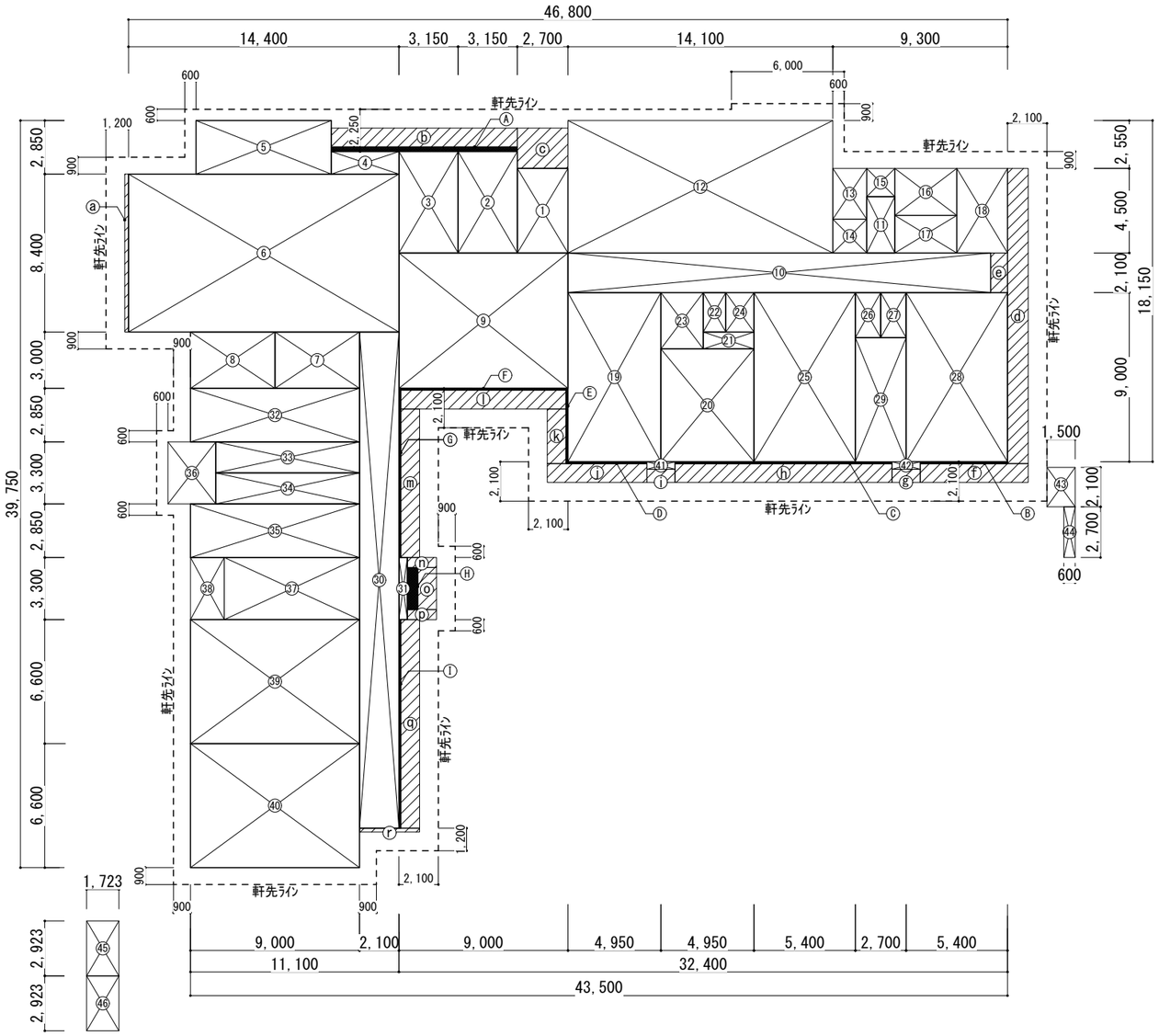
階	記号	計算式			面積	
1階	1	2.700	×	4.500	12.150	㎡
		風除室			12.150	㎡
	2	3.150	×	5.400	17.010	㎡
		相談室			17.010	㎡
	3	3.150	×	5.400	17.010	㎡
		多目的室			17.010	㎡
	4	3.600	×	1.200	4.320	㎡
		遊戯室前室			4.320	㎡
	5	7.200	×	2.850	20.520	㎡
		遊戯室ステージ			20.520	㎡
	6	14.400	×	8.400	120.960	㎡
		遊戯室			120.960	㎡
	7	4.500	×	3.000	13.500	㎡
		教材庫			13.500	㎡
	8	4.500	×	3.000	13.500	㎡
		器具庫			13.500	㎡
	9	9.000	×	7.200	64.800	㎡
		森の広場　図書コーナー			64.800	㎡
	10	22.500	×	2.100	47.250	㎡
	11	1.500	×	3.000	4.500	㎡
		廊下1			51.750	㎡
	12	14.100	×	7.050	99.405	㎡
		調理室			99.405	㎡
	13	1.800	×	2.700	4.860	㎡
		多目的・男子WC			4.860	㎡
	14	1.800	×	1.800	3.240	㎡
		女子WC			3.240	㎡
	15	1.500	×	1.500	2.250	㎡
		男子更衣室			2.250	㎡
	16	3.300	×	2.500	8.250	㎡
		女子更衣室			8.250	㎡
	17	3.300	×	2.000	6.600	㎡
		廊下1収納			6.600	㎡
	18	2.700	×	4.500	12.150	㎡
		休憩室			12.150	㎡
	19	4.950	×	9.000	44.550	㎡
		事務室			44.550	㎡
	20	4.950	×	6.000	29.700	㎡
	21	2.700	×	0.900	2.430	㎡
	22	1.200	×	2.100	2.520	㎡
		0歳児保育室			34.650	㎡
	23	2.250	×	3.000	6.750	㎡
		沐浴室			6.750	㎡
	24	1.500	×	2.100	3.150	㎡
		調乳室			3.150	㎡
	25	5.400	×	9.000	48.600	㎡
	26	1.350	×	2.400	3.240	㎡
		1歳児保育室			51.840	㎡
	27	1.350	×	2.400	3.240	㎡
	28	5.400	×	9.000	48.600	㎡
		2歳児保育室			51.840	㎡
	29	2.700	×	6.600	17.820	㎡
		1・2歳児WC			17.820	㎡
	30	2.100	×	26.400	55.440	㎡
	31	0.450	×	3.300	1.485	㎡
		廊下2			56.925	㎡

階	記号	計算式			面積	
1階	32	9.000	×	2.850	25.650	㎡
	33	7.650	×	1.650	12.623	㎡
		3歳児保育室①			38.273	㎡
	34	7.650	×	1.650	12.623	㎡
	35	9.000	×	2.850	25.650	㎡
		3歳児保育室②			38.273	㎡
	36	2.550	×	3.300	8.415	㎡
		3歳児WC			8.415	㎡
	37	7.200	×	3.300	23.760	㎡
		4・5歳児WC			23.760	㎡
	38	1.800	×	3.300	5.940	㎡
		洗濯室			5.940	㎡
	39	9.000	×	6.600	59.400	㎡
		4歳児保育室			59.400	㎡
	40	9.000	×	6.600	59.400	㎡
		5歳児保育室			59.400	㎡
	41	1.500	×	0.400	0.600	㎡
		給湯器置場1			0.600	㎡
	42	1.500	×	0.400	0.600	㎡
		給湯器置場2			0.600	㎡
	A	9.900	×	0.250	2.475	㎡
	B	4.650	×	0.100	0.465	㎡
	C	11.550	×	0.100	1.155	㎡
	D	4.300	×	0.100	0.430	㎡
	E	0.100	×	3.800	0.380	㎡
	F	9.000	×	0.100	0.900	㎡
	G	0.100	×	8.900	0.890	㎡
	H	0.550	×	2.240	1.232	㎡
	I	0.100	×	11.100	1.110	㎡
		軒下			9.037	㎡
	計	**固舎延床面積　・・・Ⅰ**			**983.497**	**㎡**

階	記号	計算式			面積	
外部	43	1.500	×	2.100	3.150	㎡
	44	0.600	×	2.700	1.620	㎡
		カート・遊具置場　・・・Ⅱ			**4.770**	**㎡**

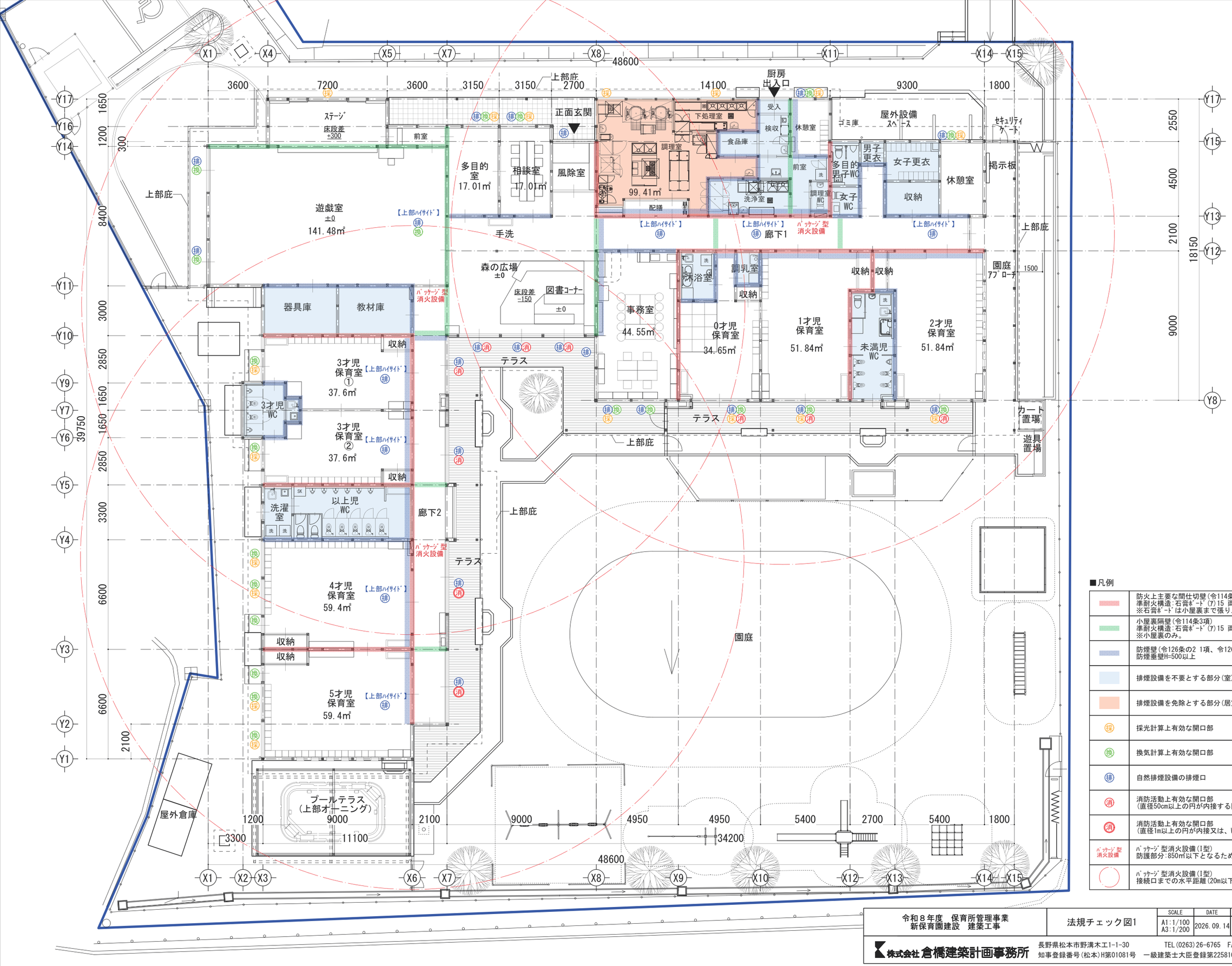
階	記号	計算式			面積	
外部	45	1.723	×	2.923	5.036	㎡
	46	1.723	×	2.923	5.036	㎡
		物置　・・・Ⅲ			**10.072**	**㎡**

階	記号	計算式			面積	
1階	a	0.200	×	8.400	1.680	㎡
	b	9.900	×	1.000	9.900	㎡
	c	2.700	×	2.150	5.805	㎡
	d	1.100	×	15.700	17.270	㎡
	e	0.900	×	2.100	1.890	㎡
	f	5.750	×	1.000	5.750	㎡
	g	1.500	×	0.700	1.050	㎡
	h	11.550	×	1.000	11.550	㎡
	i	1.500	×	0.700	1.050	㎡
	j	5.300	×	1.000	5.300	㎡
	k	1.000	×	2.900	2.900	㎡
	l	8.800	×	1.000	8.800	㎡
	m	1.000	×	7.900	7.900	㎡
	n	1.550	×	0.530	0.822	㎡
	o	1.000	×	2.240	2.240	㎡
	p	1.550	×	0.530	0.822	㎡
	q	1.000	×	11.100	11.100	㎡
	r	3.200	×	0.200	0.640	㎡
	計	**建築面積算入部分**			**96.468**	**㎡**
延床面積（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ）					**998.339**	**㎡**
建築面積					**1,094.807**	**㎡**



建物求積図 S=1/300

令和７年度　保育所管理事業 新保育園建設　建築工事	建物求積図･求積表	SCALE A3:1/300	DATE 2026.09.14	A-11
株式会社 倉橋建築計画事務所	長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登			



■凡例

	防火上主要な間仕切壁(令114条2項) 準耐火構造:石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)15 両面張り(平12年建告1358号 一項 ﾊ) ※石膏ﾎﾞｰﾄﾞは小屋裏まで張り上げる。
	小屋裏隔壁(令114条3項) 準耐火構造:石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)15 両面張り(平12年建告1358号 一項 ﾊ) ※小屋裏のみ。
	防煙壁(令126条の2 1項、令126条の3) 防煙垂壁H=500以上
	排煙設備を不要とする部分(室)(平12年建告1436号 四項 へ(2))
	排煙設備を免除とする部分(居室)(平12年建告1436号 四項 へ(5))
採	採光計算上有効な開口部
換	換気計算上有効な開口部
排	自然排煙設備の排煙口
消	消防活動上有効な開口部 (直径50cm以上の円が内接する開口部)
消	消防活動上有効な開口部 (直径1m以上の円が内接又は、W75cm×H1.2m以上の開口部)
ﾊﾟｯｹｰｼﾞ型消火設備	ﾊﾟｯｹｰｼﾞ型消火設備(I型) 防護部分:850㎡以下となるため、3台設置。
	ﾊﾟｯｹｰｼﾞ型消火設備(I型) 接続口までの水平距離(20m以下)

令和８年度　保育所管理事業
新保育園建設　建築工事

法規チェック図1

SCALE	DATE
A1:1/100 A3:1/200	2026.09.14

A-12

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

■居室の採光検討表(法28条)　■採光上の無窓居室検討表(法35条の3・令111条)

※用途地域無指定のため α=10、β=1.0

階	室名	床面積(m2)	係数	必要面積(m2)	開口形状	有効幅W(m)	有効高H(m)	有効開口面積(m2)	係数	ヶ所	有効開口面積計(m2) 小計	有効開口面積計(m2) 合計	判定	備考/採光補正係数A=d/h×α-β
1	事務室	44.5500	1/20	2.2275	AW-23　引違い窓	1.8500	1.4500	2.6825	3.0	1	8.0475	8.0475	OK	隣地境界線との距離が大きいため計算省略
	相談室	17.0100	1/20	0.8505	AW-1　引違い窓	2.0520	1.4500	2.9754	3.0	1	8.9262	8.9262	OK	A=2.85/1.6×10-1.0=16.81→3
	多目的室	17.0100	1/20	0.8505	AW-2　引違い窓	1.9000	1.4500	2.7550	3.0	1	8.2650	8.2650	OK	A=2.85/1.6×10-1.0=16.81→3
	遊戯室	141.4900	1/5	28.2980	AW-4　Fix窓	4.2000	2.4750	10.3950	3.0	1	31.1850	31.1850	OK	A=2.85/1.7×10-1.0=15.76→3
	調理室	48.4425	1/20	2.4221	AW-32　Fix窓	1.6000	0.9750	1.5600	3.0	1	4.6800	4.6800	OK	A=2.85/1.8×10-1.0=14.83→3
	下処理室	9.9450	1/20	0.4973	AW-31　Fix窓	1.9000	0.9750	1.8525	3.0	1	5.5575	5.5575	OK	A=2.85/1.8×10-1.0=14.83→3
	調理室休憩室	8.2800	1/20	0.4140	AW-29　引違い窓	1.3000	1.4500	1.8850	3.0	1	5.6550	5.6550	OK	A=2.55/1.6×10-1.0=14.93→3
	休憩室	12.1500	1/20	0.6075	AW-28　引違い窓	1.6000	1.4500	2.3200	3.0	1	6.9600	6.9600	OK	A=5.10/1.6×10-1.0=30.87→3
	0才児保育室	34.6500	1/5	6.9300	AW-24下　4枚引違い窓	3.2000	1.9500	6.2400	3.0	1	18.7200	18.7200	OK	隣地境界線との距離が大きいため計算省略
	1才児保育室	51.8400	1/5	10.3680	AW-25下　4枚引違い窓	3.6500	1.9500	7.1175	3.0	1	21.3525	21.3525	OK	隣地境界線との距離が大きいため計算省略
	2才児保育室	51.8400	1/5	10.3680	AW-25下　4枚引違い窓	3.6500	1.9500	7.1175	3.0	1	21.3525	21.3525	OK	隣地境界線との距離が大きいため計算省略
	3才児保育室①	37.5975	1/5	7.5195	AW-10　引違い窓	1.7000	2.3750	4.0375	3.0	1	12.1125	12.1125	OK	A=3.87/2.0×10-1.0=18.35→3
	3才児保育室②	37.5975	1/5	7.5195	AW-10　引違い窓	1.7000	2.3750	4.0375	3.0	1	12.1125	12.1125	OK	A=2.48/2.0×10-1.0=11.4→3
	4才児保育室	59.4000	1/5	11.8800	AW-13　片袖窓	2.1000	1.3500	2.8350	3.0	2	17.0100	17.0100	OK	A=2.07/1.45×10-1.0=13.28→3
	5才児保育室	59.4000	1/5	11.8800	AW-13　片袖窓	2.1000	1.3500	2.8350	3.0	2	17.0100	17.0100	OK	A=4.0/1.45×10-1.0=26.59→3

■換気上の無窓居室検討表(法28条)

階	室名	床面積(m2)	係数	必要面積(m2)	開口形状	有効幅W(m)	有効高H(m)	開口面積(m2)	係数	ヶ所	有効開口面積計(m2) 小計	有効開口面積計(m2) 合計	判定	備考
1	事務室	44.5500	1/20	2.2275	AW-23　引違い窓	1.8500	1.4500	2.6825	0.5	2	2.6825	2.6825	OK	
	相談室	17.0100	1/20	0.8505	AW-1　引違い窓	2.0520	1.4500	2.9754	0.5	1	1.4877	1.4877	OK	
	多目的室	17.0100	1/20	0.8505	AW-2　引違い窓	1.9000	1.4500	2.7550	0.5	1	1.3775	1.3775	OK	
	遊戯室	141.4900	1/20	7.0745	AW-6　引違い窓	2.6000	2.6750	6.9550	0.5	2	6.9550	9.7270	OK	
					AW-8　外倒し窓	0.8400	0.5500	0.4620	1.0	6	2.7720			
	調理室	48.4425	1/20	2.4221										機械換気設備を設ける
	下処理室	9.9450	1/20	0.4973										
	調理室休憩室	8.2800	1/20	0.4140	AW-29　引違い窓	1.3000	1.4500	1.8850	0.5	1	0.9425	0.9425	OK	
	休憩室	12.1500	1/20	0.6075	AW-28　引違い窓	1.6000	1.4500	2.3200	0.5	1	1.1600	1.1600	OK	
	0才児保育室	34.6500	1/20	1.7325	AW-24下　4枚引違い窓	3.2000	1.9500	6.2400	0.5	1	3.1200	3.1200	OK	
	1才児保育室	51.8400	1/20	2.5920	AW-25下　4枚引違い窓	3.6500	1.9500	7.1175	0.5	1	3.5588	3.5588	OK	
	2才児保育室	51.8400	1/20	2.5920	AW-25下　4枚引違い窓	3.6500	1.9500	7.1175	0.5	1	3.5588	3.5588	OK	
	3才児保育室①	37.5975	1/20	1.8799	AW-10　引違い窓	1.7000	2.3750	4.0375	0.5	1	2.0188	2.0188	OK	
	3才児保育室②	37.5975	1/20	1.8799	AW-10　引違い窓	1.7000	2.3750	4.0375	0.5	1	2.0188	2.0188	OK	
	4才児保育室	59.4000	1/20	2.9700	AW-13　片袖窓	0.7000	1.3500	0.9450	1.0	2	1.8900	3.9088	OK	
					AD-2　片開きドア	0.8500	2.3750	2.0188	1.0	1	2.0188			
	5才児保育室	59.4000	1/20	2.9700	AW-13　片袖窓	0.7000	1.3500	0.9450	1.0	2	1.8900	3.9088	OK	
					AD-2　片開きドア	0.8500	2.3750	2.0188	1.0	1	2.0188			

■排煙検討表(令126条の2)

階	室名	床面積(m2)	係数	必要面積(m2)	開口形状	有効幅W(m)	有効高H(m)	開口面積(m2)	係数	ヶ所	有効開口面積計(m2) 小計	有効開口面積計(m2) 合計	判定	備考
1	事務室	44.5500	1/50	0.8910	AW-21　外倒し窓	0.8270	0.4250	0.3515	1.0	2	0.7030	1.5817	OK	
					AW-23　引違い窓	1.8500	0.4750	0.8788	0.5	2	0.8788			
	相談室	17.0100	1/50	0.3402	AW-1　引違い窓	2.0520	0.3750	0.7695	0.5	1	0.3848	0.3848	OK	
	多目的室	17.0100	1/50	0.3402	AW-2　引違い窓	1.9000	0.3750	0.7125	0.5	1	0.3563	0.3563	OK	
	遊戯室	141.4900	1/50	2.8298	AW-6　引違い窓	2.6000	0.8750	2.2750	0.5	2	2.2750	5.0470	OK	
					AW-8　外倒し窓	0.8400	0.5500	0.4620	1.0	6	2.7720			
	調理室	48.4425	1/50	0.9689										下地：強化石膏ボード21（不燃） 仕上：化粧ケイ酸カルシウム板t6（不燃） 告1436-4-へ(5)、告989号により排煙免除
	下処理室	9.9450	1/50	0.1989										
	調理室休憩室	8.2800	1/50	0.1656	AW-29　引違い窓	1.3000	0.4750	0.6175	0.5	1	0.3088	0.3088	OK	
	休憩室	12.1500	1/50	0.2430	AW-28　引違い窓	1.6000	0.4750	0.7600	0.5	1	0.3800	0.3800	OK	
	0才児保育室	34.6500	1/50	0.6930	AW-24上　外倒し窓	0.7650	0.4450	0.3404	1.0	4	1.3617	1.3617	OK	
	1才児保育室	51.8400	1/50	1.0368	AW-25上　外倒し窓	0.8700	0.4450	0.3872	1.0	4	1.5486	1.5486	OK	
	2才児保育室	51.8400	1/50	1.0368	AW-25上　外倒し窓	0.8700	0.4450	0.3872	1.0	4	1.5486	1.5486	OK	
	3才児保育室①	37.5975	1/50	0.7520	AW-12　外倒し窓	0.7700	0.7000	0.5390	1.0	2	1.0780	1.0780	OK	
	3才児保育室②	37.5975	1/50	0.7520	AW-12　外倒し窓	0.7700	0.7000	0.5390	1.0	2	1.0780	1.0780	OK	
	4才児保育室	59.4000	1/50	1.1880	AW-14　外倒し窓	0.7000	0.7000	0.4900	1.0	3	1.4700	1.4700	OK	
	5才児保育室	59.4000	1/50	1.1880	AW-14　外倒し窓	0.7000	0.7000	0.4900	1.0	3	1.4700	1.4700	OK	
	風除室	8.1000	1/50	0.1620	WD-1　片引き戸	0.9500	0.7750	0.7363	1.0	1	0.7363	0.7363	OK	
	森の広場	75.1500	1/50	1.5030	AW-20　引違い窓	2.3600	0.8750	2.0650	0.5	3	3.0975	3.0975	OK	
	廊下1	47.2500	1/50	0.9450	AW-34　外倒し窓	0.7800	0.7000	0.5460	1.0	6	3.2760	3.2760	OK	
	廊下2	50.6250	1/50	1.0125	AW-17　4枚引違い窓	4.2500	0.2750	1.1688	0.5	2	1.1688	2.0900	OK	平均天井高=141.372m3/55.44m2=2.55m
					AW-19　4枚引違い窓	3.3500	0.2750	0.9213	0.5	2	0.9213			

■消防無窓階計算(消防法規則5の5-1)

階	室名	階床面積(m2)	係数	必要面積(m2)	開口形状	有効幅W(m)	有効高H(m)	開口面積(m2)	係数	ヶ所	有効開口面積計(m2) 小計	有効開口面積計(m2) 合計	判定	備考
1	廊下2	983.4970	1/30	32.7832	AW-17　4枚引違い窓	4.2500	2.3750	10.0938	0.5	2	10.0938	37.7610	OK	
					AW-19　4枚引違い窓	3.3500	2.3750	7.9563	0.5	2	7.9563			
	図書コーナー				AW-20　引違い窓	2.3610	2.6750	6.3157	0.5	3	9.4735			
	0才児保育室				AW-24下　4枚引違い窓	3.2000	1.9500	6.2400	0.5	1	3.1200			
	1才児保育室				AW-25下　4枚引違い窓	3.6500	1.9500	7.1175	0.5	1	3.5588			
	2才児保育室				AW-25下　4枚引違い窓	3.6500	1.9500	7.1175	0.5	1	3.5588			

令和８年度　保育所管理事業 新保育園建設　建築工事	法規チェック図2	SCALE	DATE	A-13
		—	2026. 09. 14	

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

■外部仕上表

屋根A	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板(ｱ)0.5 立ﾊｾﾞ葺き + ｺﾞﾑｱｽｼｰﾄ + 構造用合板(ｱ)24	ﾃﾗｽ	樹脂系再生木ﾃﾞｯｷ(ｱ)30 + 鋼製下地 + 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ
屋根B	強化ｶﾞﾗｽ(ｱ)5 + 垂木 木材保護塗料塗り + 軒裏側 木ﾙｰﾊﾞｰ 木材保護塗料塗り	未満児室 給湯器目隠し	有孔折板t=1.6 粉体塗装 L=1350 両端受材
外壁A	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ張り(ｱ)16縦張り + 通気金物 + 透湿防水ｼｰﾄ + 構造用合板(ｱ)12 + 木組下地		
外壁B-1	ｽｷﾞ羽目板(ｱ)15縦張り + 木材保護塗料塗り + 横胴縁(通気) + 透湿防水ｼｰﾄ + 構造用合板(ｱ)12 + 木組下地		
外壁B-2	ｽｷﾞ羽目板(ｱ)15縦張り + 縦押縁30×30@90 木材保護塗料塗り + 横胴縁(通気) + 透湿防水ｼｰﾄ + 構造用合板(ｱ)12 + 木組下地		
軒裏	ｽｷﾞ羽目板張り(ｱ)12[相じゃくり加工] 木材保護塗料塗り + 木組下地		
樋	軒樋:樹脂被覆鋼板 竪樋:樹脂被覆鋼板 φ75		
雪留めｱﾝｸﾞﾙ	ｽﾁｰﾙｱﾝｸﾞﾙ L-50×50 1段 ﾊﾞﾚｰｶﾞｰﾄﾞ 溶融亜鉛ﾒｯｷの上ｼﾘｺﾝ塗装		

【区画仕様】

壁下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)15[両面張り] + 木組下地	令114条における準耐火構造部

【断熱仕様】

屋根	A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板3種b(ｱ)90
外壁	高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ16K(ｱ)100
床	A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板3種b(ｱ)50

■内部仕上表

階数	室名	居室・非居室 (法2条4号)		床		巾木	壁		天井	廻縁	CH	遮光方法	内装制限	備考
1階	風除室	非居室	仕上	【土間部分】 300角磁器質ﾀｲﾙ貼り(ｱ)9	【土間以外】 複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ｱ)12	ﾀｲﾙ H=60	EP塗装		EP塗装	塩ﾋﾞ製 目透し 見切	2500	—	天井:準不燃 壁:準不燃 (法128条の5 1項二号)	下足入 敷居:ﾀﾓ OSU 框 : ﾀﾓ OSU
			下地	下地ﾓﾙﾀﾙ(ｱ)20～40(水勾配) 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ	構造用合板(ｱ)24 木組下地	木製OSCL H=60	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地	【X8通り】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	廊下1	非居室	仕上	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ｱ)12		木製OSCL H=60	EP塗装		EP塗装	塩ﾋﾞ製 目透し 見切	2700 ～ 5200	遮光ｶｰﾃﾝ	天井:準不燃 壁:準不燃 (法128条の5 1項二号)	ﾋﾉｷ化粧板張り(ｱ)12(W=90) UC ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ OSCL
			下地	構造用合板(ｱ)24 木組下地			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地	【Y12,Y13通り】 【X8,X9a,X11a通り小屋裏】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	森の広場 図書ｺｰﾅｰ	非居室	仕上	【FL±0】 複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ｱ)12	【FL-150】 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ(ｱ)6.5	木製OSCL H=60	EP塗装	【C面】 練付不燃化粧板(ｱ)6 OSCL	木毛ｾﾒﾝﾄ板張り(ｱ)15 木造梁表し OSCL	塩ﾋﾞ製 目透し 見切	3000 ～ 4000	遮光ｶｰﾃﾝ	天井:準不燃 壁:準不燃 (法128条の5 1項二号)	ﾍﾞﾝﾁ、本棚、手洗台 框:ﾀﾓ OSU ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ OSCL
			下地	構造用合板(ｱ)24 木組下地	合板(ｱ)12 床暖房パネル(ｱ)12 構造用合板(ｱ)24 + 木組下地		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地	【X7通り小屋裏】 【X8通り】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	事務室	居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0		木製OSCL H=60	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	【ｷｯﾁﾝｶｳﾝﾀｰ正面】 ｷｯﾁﾝﾊﾟﾈﾙ張り (ｱ)3	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製 目透し 見切	2500	遮光ｶｰﾃﾝ 横型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	天井:難燃 壁:難燃 (法128条の5 1項一号)	ｷｬﾋﾞﾈｯﾄｷｯﾁﾝ(L=1650)、吊戸棚、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ OSCL 敷居:ﾀﾓ OSU 医務用収納ﾍﾞｯﾄﾞ:備品
			下地	合板(ｱ)12 構造用合板(ｱ)24 木組下地			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地	【X8通り小屋裏】 【X9通り】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	相談室 多目的室	居室	仕上	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ｱ)12		木製OSCL H=60	EP塗装		木毛ｾﾒﾝﾄ板張り(ｱ)15	塩ﾋﾞ製 目透し 見切	2500	遮光ｶｰﾃﾝ	天井:難燃 壁:難燃 (法128条の5 1項一号)	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ OSCL 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	構造用合板(ｱ)24 木組下地			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地	【X7通り小屋裏】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	遊戯室 前室	非居室	仕上	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ｱ)12		木製OSCL H=60	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り		ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製 目透し 見切	2500	横型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	—	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ OSCL 段鼻:ﾀﾓ OSU
			下地	構造用合板(ｱ)24 木組下地			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地	【X7通り小屋裏】 【Y14通り】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	遊戯室	居室	仕上	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ｱ)12		木製OSCL H=60	ｼﾅ合板(ｱ)5.5目透し貼り OSCL		木毛ｾﾒﾝﾄ板張り(ｱ)15 木造梁表し OSCL	塩ﾋﾞ製 目透し 見切	3500 ～ 6000	ﾚｰｽｶｰﾃﾝ 遮光ｶｰﾃﾝ (高所用ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ)	天井:準不燃 壁:制限なし (H12建告1439号)	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ OSCL 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	構造用合板(ｱ)24 木組下地			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地	【X7,Y14通り】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	遊戯室 ｽﾃｰｼﾞ	居室	仕上	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ｱ)12		木製OSCL H=60	ｼﾅ合板(ｱ)5.5目透し貼り OSCL		木毛ｾﾒﾝﾄ板張り(ｱ)15	塩ﾋﾞ製 目透し 見切	2500	舞台幕 (開閉用ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ)	天井:準不燃 壁:制限なし (H12建告1439号)	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ OSCL 電動ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ[電気設備工事] 框:ﾀﾓ OSU
			下地	構造用合板(ｱ)24 木組下地			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地	【Y14通り小屋裏】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	教材庫 器具庫	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0		ｿﾌﾄ巾木 H=60	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り		ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2500	—	—	収納棚:集成材(ｱ)25 OSU 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	合板(ｱ)12 構造用合板(ｱ)24 木組下地			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	女子WC	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0		ｿﾌﾄ巾木 H=60	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り		ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2500	—	—	洗面化粧台 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	耐水合板(ｱ)12 構造用合板(ｱ)24 木組下地			耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地	【X11通り】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	多目的WC	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0		ｿﾌﾄ巾木 H=60	【腰下 H=1200】 ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り(ｱ)3	【腰上】 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2500	—	—	ﾗｲﾆﾝｸﾞ(天板:ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ(ｱ)25 立上り:ﾒﾗﾐﾝ) 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	耐水合板(ｱ)12 構造用合板(ｱ)24 木組下地			耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地	【X11通り】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	男子・女子 更衣室	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0		ｿﾌﾄ巾木 H=60	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り		ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2500	—	—	敷居:ﾀﾓ OSU 職員用ﾛｯｶｰ:備品
			下地	合板(ｱ)12 構造用合板(ｱ)24 木組下地			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	廊下1 収納	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0		ｿﾌﾄ巾木 H=60	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り		ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2500	—	—	収納棚:集成材(ｱ)25 OSU 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	合板(ｱ)12 構造用合板(ｱ)24 木組下地			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	休憩室	居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0		ｿﾌﾄ巾木 H=60	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り		ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2500	横型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	天井:難燃 壁:難燃 (法128条の5 1項一号)	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ OSCL 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	合板(ｱ)12 構造用合板(ｱ)24 木組下地			石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					

備 考							
				令和８年度 保育所管理事業 新保育園建設 建築工事	仕上表1	SCALE —	DATE 2026.09.14
				株式会社 倉橋建築計画事務所	長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号 一級建築士大臣登録第225810号 小宮山吉登		A-14

■内部仕上表

階数	室名	居室・非居室 (法2条4号)		床	巾木	壁	天井	廻縁	CH	遮光方法	内装制限	備考
1階	調理室 前室	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	ｿﾌﾄ巾木 H=60	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2500	—	天井:準不燃 壁:準不燃 (法128条の5 1項二号)	ﾗｲﾆﾝｸﾞ(天板:ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ(ｱ)25　立上り:ﾒﾗﾐﾝ) 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	ﾓﾙﾀﾙ(ｱ)30金ｺﾞﾃ押え 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ		耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地 【X10a,X11通り小屋裏】 下地A	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	調理室	居室	仕上	防滑性長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	床材貼上 H=200	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼﾑ板貼り(ｱ)6 ※一部SUS(ｱ)0.8 HL 貼付け	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼﾑ板貼り(ｱ)6	塩ﾋﾞ製	2500	—	天井:準不燃 壁:準不燃 (法128条の5 1項六号)	火気使用室 厨房用排気ﾌｰﾄﾞ:SUS(ｱ)1.0 HL SUSｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ(回転釜設置部、塗布防水) 掃除用排水桝
			下地	ﾓﾙﾀﾙ(ｱ)30金ｺﾞﾃ押え 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ		強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)21 木組下地 【X8,Y13通り】 下地A	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	配膳	非居室	仕上	防滑性長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	床材貼上 H=200	SUS(ｱ)0.8 HL 貼付け	SUS(ｱ)0.8 HL 貼付け	塩ﾋﾞ製	2000	—	—	棚板、方立:SUS(ｱ)0.8 HL
			下地	ﾓﾙﾀﾙ(ｱ)30金ｺﾞﾃ押え 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ		耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	受入 検収室	非居室	仕上	防滑性長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	床材貼上 H=200	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼﾑ板貼り(ｱ)6	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼﾑ板貼り(ｱ)6	塩ﾋﾞ製	2500	—	天井:準不燃 壁:準不燃 (法128条の5 1項二号)	
			下地	ﾓﾙﾀﾙ(ｱ)30金ｺﾞﾃ押え 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ		耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地 【X10a通り小屋裏】 下地A	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	下処理室	居室	仕上	防滑性長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	床材貼上 H=200	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼﾑ板貼り(ｱ)6	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼﾑ板貼り(ｱ)6	塩ﾋﾞ製	2500	—	天井:難燃 壁:難燃 (法128条の5 1項一号)	
			下地	ﾓﾙﾀﾙ(ｱ)30金ｺﾞﾃ押え 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ		強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)21 木組下地	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	食品庫	非居室	仕上	防滑性長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	床材貼上 H=200	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼﾑ板貼り(ｱ)6	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼﾑ板貼り(ｱ)6	塩ﾋﾞ製	2500	—	—	
			下地	ﾓﾙﾀﾙ(ｱ)30金ｺﾞﾃ押え 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ		耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	洗浄室	非居室	仕上	防滑性長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	床材貼上 H=200	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼﾑ板貼り(ｱ)6	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼﾑ板貼り(ｱ)6	塩ﾋﾞ製	2500	—	—	
			下地	ﾓﾙﾀﾙ(ｱ)30金ｺﾞﾃ押え 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ		耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地 【X10a通り小屋裏】 【Y13通り】 下地A	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	調理室 休憩室	居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	ｿﾌﾄ巾木 H=60	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2500	横型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	天井:難燃 壁:難燃 (法128条の5 1項一号)	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ OSCL 職員用ﾛｯｶｰ:備品
			下地	ﾓﾙﾀﾙ(ｱ)30金ｺﾞﾃ押え 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地 【X10a通り小屋裏】 【X11通り】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	調理室 WC	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	ｿﾌﾄ巾木 H=60	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2500	—	—	
			下地	ﾓﾙﾀﾙ(ｱ)30金ｺﾞﾃ押え 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ		耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地 【X11通り】 下地A	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	0歳児 保育室	居室	仕上	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ｱ)12 (床暖房用) 縁なし畳(ｱ)13	木製OSCL H=60 畳寄	ｼﾅ合板(ｱ)5.5目透し貼り OSCL	木毛ｾﾒﾝﾄ板張り(ｱ)15	塩ﾋﾞ製 目透し 見切	2700	遮光ｶｰﾃﾝ	天井:準不燃 壁:制限なし (H12建告1439号)	手流い台、保育士机、遊具ﾛｯｶｰ、園児ﾛｯｶｰ、ﾍﾞﾋﾞｰｹﾞｰﾄ ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ OSCL、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 敷居:ﾀﾓ OSU[床レベル差　ﾃｰﾊﾟｰ加工] 畳縁:ﾀﾓ OSU 掲示用ｺﾙｸｼｰﾄ貼り(ｱ)5
			下地	床暖房パネル(ｱ)12 構造用合板(ｱ)24 木組下地 合板(ｱ)12 構造用合板(ｱ)24 木組下地		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地 【X9,Y12通り】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	0歳児 保育室 収納	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	ｿﾌﾄ巾木 H=60	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2250	—	—	収納棚:ｼﾅ合板(ｱ)5.5 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	合板(ｱ)12　2重張り 構造用合板(ｱ)24 木組下地		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	調乳室	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	ｿﾌﾄ巾木 H=60	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り 【ｷｯﾁﾝｶｳﾝﾀｰ正面】 ｷｯﾁﾝﾊﾟﾈﾙ張り (ｱ)3	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2450	—	—	ｷｬﾋﾞﾈｯﾄｷｯﾁﾝ(L=1200)、吊戸棚
			下地	合板(ｱ)12　2重張り 構造用合板(ｱ)24 木組下地		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地 【Y12通り】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	沐浴室	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	ｿﾌﾄ巾木 H=60	【腰下 H=1200】 ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り(ｱ)3 【腰上】 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2450	—	—	ﾗｲﾆﾝｸﾞ(天板:ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ(ｱ)25　立上り:ﾒﾗﾐﾝ) ｵﾑﾂ交換台 収納棚:集成材(ｱ)25 OSU
			下地	耐水合板(ｱ)12　2重張り 構造用合板(ｱ)24 木組下地		耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地 【X9,Y12通り】 下地A	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	1･2歳児 保育室	居室	仕上	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ｱ)12 (床暖房用)	木製OSCL H=60	ｼﾅ合板(ｱ)5.5目透し貼り OSCL	木毛ｾﾒﾝﾄ板張り(ｱ)15	塩ﾋﾞ製 目透し 見切	2700	遮光ｶｰﾃﾝ	天井:準不燃 壁:制限なし (H12建告1439号)	手流い台、保育士机、遊具ﾛｯｶｰ、園児ﾛｯｶｰ ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ OSCL、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 敷居:ﾀﾓ OSU[床レベル差　ﾃｰﾊﾟｰ加工] 掲示用ｺﾙｸｼｰﾄ貼り(ｱ)5
			下地	床暖房パネル(ｱ)12 構造用合板(ｱ)24 木組下地		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地 【X12,Y10a,Y12通り】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	1･2歳児 保育室 収納	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	ｿﾌﾄ巾木 H=60	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2250	—	—	収納棚:ｼﾅ合板(ｱ)5.5 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	合板(ｱ)12　2重張り 構造用合板(ｱ)24 木組下地		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地 【X12a,Y10a,Y12通り】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	未満児用 WC	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	ｿﾌﾄ巾木 H=60	【腰下 H=1200】 ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り(ｱ)3 【腰上】 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2450	—	—	ﾗｲﾆﾝｸﾞ(天板:ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ(ｱ)25　立上り:ﾒﾗﾐﾝ) ｵﾑﾂ交換台 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	耐水合板(ｱ)12　2重張り 構造用合板(ｱ)24 木組下地		耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地 【X12,Y10a通り】 下地A	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	廊下2	非居室	仕上	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ｱ)12	木製OSCL H=60	EP塗装 【一部】 練付不燃化粧板(ｱ)6 OSCL	EP塗装	塩ﾋﾞ製 目透し 見切	2400 ～ 2700	遮光ｶｰﾃﾝ	天井:準不燃 壁:準不燃 (法128条の5 1項二号)	ﾋﾉｷ化粧板張り(ｱ)12(W=90) UC ﾍﾞﾝﾁ、給湯器収納 ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ OSCL
			下地	構造用合板(ｱ)24 木組下地		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地 【X6通り】 【Y3,Y5,Y10通り小屋裏】 下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					

備考							
				令和８年度　保育所管理事業 新保育園建設　建築工事	仕上表2	SCALE —	DATE 2026.09.14
				株式会社 倉橋建築計画事務所	長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登		A-15

■内部仕上表

階数	室名	居室・非居室（法2条4号）		床	巾木	壁	天井	廻縁	CH	遮光方法	内装制限	備考
1階	3歳児 保育室1・2	居室	仕上	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ｱ)12（床暖房用）	木製OSCL H=60	ｼﾅ合板(ｱ)5.5目透し貼り OSCL	木毛ｾﾒﾝﾄ板張り(ｱ)15	塩ﾋﾞ製 目透し 見切	2400 ～ 4700	ﾚｰｽｶｰﾃﾝ 遮光ｶｰﾃﾝ （高所用ｵﾍﾞﾚｰﾀｰ）	天井:準不燃 壁:制限なし (H12建告1439号)	手流い台、保育士机、遊具ﾛｯｶｰ、園児ﾛｯｶｰ ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ OSCL、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 敷居:ﾀﾓ OSU[床レベル差　ﾃｰﾊﾟｰ加工] 掲示用ｺﾙｸｼｰﾄ貼り(ｱ)5
			下地	床暖房パネル(ｱ)12 構造用合板(ｱ)24 木組下地		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5　【X6,Y5,Y10通り】 木組下地　下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	3歳児 保育室1・2 収納	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	ｿﾌﾄ巾木 H=60	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2250	—	—	収納棚:ｼﾅ合板(ｱ)5.5 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	合板(ｱ)12　2重張り 構造用合板(ｱ)24 木組下地		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5　【X6,Y5,Y10通り】 木組下地　下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	3歳児用 WC	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	ｿﾌﾄ巾木 H=60	【腰下 H=1200】 ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り(ｱ)3 【腰上】 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2500	—	—	ﾗｲﾆﾝｸﾞ(天板:ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ(ｱ)25　立上り:ﾒﾗﾐﾝ) ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	耐水合板(ｱ)12　2重張り 構造用合板(ｱ)24 木組下地		耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5 木組下地	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	4・5歳児 保育室	居室	仕上	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ｱ)12	木製OSCL H=60	ｼﾅ合板(ｱ)5.5目透し貼り OSCL	木毛ｾﾒﾝﾄ板張り(ｱ)15	塩ﾋﾞ製 目透し 見切	2400 ～ 4700	ﾚｰｽｶｰﾃﾝ 遮光ｶｰﾃﾝ （高所用ｵﾍﾞﾚｰﾀｰ）	天井:準不燃 壁:制限なし (H12建告1439号)	手流い台、保育士机、遊具ﾛｯｶｰ、園児ﾛｯｶｰ ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ OSCL、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 敷居:ﾀﾓ OSU 掲示用ｺﾙｸｼｰﾄ貼り(ｱ)5
			下地	構造用合板(ｱ)24 木組下地		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5　【X6,Y3通り】 木組下地　下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	4・5歳児 保育室 収納	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	ｿﾌﾄ巾木 H=60	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2250	—	—	収納棚:ｼﾅ合板(ｱ)5.5 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	合板(ｱ)12 構造用合板(ｱ)24 木組下地		石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5　【Y3通り】 木組下地　下地A	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	以上児用 WC	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	ｿﾌﾄ巾木 H=60	【腰下 H=1200】 ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り(ｱ)3 【腰上】 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り 【袖壁】 磁器質ﾀｲﾙ貼り(ｱ)9	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2500	—	—	ﾗｲﾆﾝｸﾞ(天板:ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ(ｱ)25　立上り:ﾒﾗﾐﾝ) 手洗い台 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	耐水合板(ｱ)12 構造用合板(ｱ)24 木組下地		耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5　【X6,Y5通り】 木組下地　下地A	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					
	洗濯室	非居室	仕上	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼り(ｱ)2.0	ｿﾌﾄ巾木 H=60	【腰下 H=1200】 ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼り(ｱ)3 【腰上】 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	塩ﾋﾞ製	2500	—	—	ﾗｲﾆﾝｸﾞ(天板:ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ(ｱ)25　立上り:ﾒﾗﾐﾝ) 収納棚:ﾀﾓ集成材(ｱ)25 OSU 敷居:ﾀﾓ OSU
			下地	耐水合板(ｱ)12 構造用合板(ｱ)24 木組下地		耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)12.5　【Y5通り】 木組下地　下地A	耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｱ)9.5 木組下地					

■仕上特記(下記同等品とする)

ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	三晃金属:立馳SX-40　馳高40 ﾌﾗｯﾄ・ｷｬｯﾌﾟﾚｽﾀｲﾌﾟ	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ	ｻﾝｹﾞﾂ:ｴｽﾘｭｰﾑ	遮光ｶｰﾃﾝ	ｻﾝｹﾞﾂ:ﾙﾝﾄﾞGL	床木組下地	鋼製束 + 大引:ﾋﾉｷ 90×90 + 土台:ﾋﾉｷ 120×120　※土台と大引の天端ﾚﾍﾞﾙを揃える。(FL-40)
窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ	ｹｲﾐｭｰ:ﾓﾀﾞﾝｽﾘｯﾄ	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(調理室)	ｻﾝｹﾞﾂ:ﾆｭｰｾｰﾌﾃｨ	ﾚｰｽｶｰﾃﾝ	ｻﾝｹﾞﾂ:PK9592	建築材料	建築基準法に基づくｼｯｸﾊｳｽ対策に係る規制の対象となる建築材料
軒樋/竪樋	ﾊﾟﾅﾎﾆｯｸ:ｻｰﾌｨｽｹｱFS-Ⅱ型/VU75	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	ｻﾝｹﾞﾂ:NT-350	横型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	ﾀﾁｶﾜﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ:ｼﾙｷｰ		告示対象建築材料についてはF☆☆☆☆等級のものを使用し、必ず設計監理者の承認を得ることとする。
樹脂系人工木ﾃﾞｯｷ	ｴｱｳｫｰﾀｰ:ｴｺﾛｯｶ	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	天龍木材:ｾｯﾀ12ｴｸｽﾄﾗ ｶﾊﾞ	舞台幕	ｻﾝｹﾞﾂ:ｳｨｰﾝN		造付家具、流し台等の製品についても同様とする。
給湯器目隠し	日本ﾊﾟｰﾂｾﾝﾀｰ:有孔折板YBS530-40	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（床暖房用）	天龍木材:ｾｯﾀ12ｴｸｽﾄﾗ ｶﾊﾞ（床暖房対応）	高所用ｵﾍﾞﾚｰﾀｰ	ﾀﾁｶﾜﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ:ﾄﾘｰﾁｪ　ｷﾞｱｼｽﾄ	消火器	ABC粉末消火器6号 10本
		縁なし畳	DAIKEN:健やか畳床				厨房(園児が使用しないｴﾘｱ)以外は壁埋込型とする。消火器、埋込ﾎﾞｯｸｽ設置は建築工事。
止水板	日本ﾊﾟﾝﾃﾞｯｸｽ:ｹﾞﾙﾌｨｯﾄﾛｰﾌﾞ	300角磁器質ﾀｲﾙ	LIXIL:庵路	ｼｽﾃﾑｷｯﾁﾝ (W1650,W1200)	LIXIL:ｺﾝﾊﾟｸﾄｷｯﾁﾝ　ﾃｨｵ		
塗布防水	日本ﾊﾟﾝﾃﾞｯｸｽ:ﾊﾟﾝﾃﾞｯｸｽ防水S+P工法	以上児WC袖壁磁器質ﾀｲﾙ	名古屋ﾓｻﾞｲｸ工業:ｴﾘｱﾎﾞｰﾀﾞｰ彩				
				ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	分化ｼｬｯﾀｰ:ﾌﾟﾚｸﾘﾝPHC/ﾌﾟﾚｷｯｽﾞ(園児用)		
棟換気金物	ﾄｰｺｰ:I-roof	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板	ﾆﾁｱｽ:ｱｽﾗｯｸｽ200R				
軒裏換気金物	日本住環境:ｲｰｳﾞｽﾍﾟﾝﾂ18	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	ｻﾝｹﾞﾂ:AA級				
掃除用排水桝	ｶﾈｿｳ:SUS製厨房用排水桝　300角	練付不燃化粧板	ｱﾀﾞﾁ技研:ｱﾀﾞﾁﾈﾝDK-1000　ｼﾅ				
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	第一機材:SUS製　細目　ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ	ﾒﾗﾐﾝ化粧板	ｱｲｶ:ﾗﾋﾞｱﾝ				
天井点検口	ﾅｶ工業:ﾊｲﾊｯﾁMMⅡf　450角　20ヶ所	ｷｯﾁﾝﾊﾟﾈﾙ	ｱｲｶ:ｾﾗｰﾙ				
床下点検口	ﾅｶ工業:ﾆｭｰﾊｯﾁNHEⅡ　600角　20ヶ所						
消火器ﾎﾞｯｸｽ	UNION:UFB-1F-124 7ヶ所	木毛ｾﾒﾝﾄ板	竹村工業:木毛ｾﾒﾝﾄ板(QM9020)				
郵便受	田島ﾒﾀﾙ:MX310T						
ｺﾞﾐ庫	ﾀﾞｲｹﾝ:CKS-1606						
屋外物置	ﾀﾞｲｹﾝ:DM-Z2921 2台						
ﾌｪﾝｽ	朝日ｽﾁｰﾙ:ﾋﾟｹｯﾄﾌｪﾝｽF型、ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ						
ﾌﾟｰﾙ	ﾅｯｸｹｲｴｽ:FRP製据置型　FKC3663						
ｵｰﾆﾝｸﾞ	BXﾃﾝﾊﾟﾙ:ｿﾗｶｾﾞiori　滑車型　W5105,D9200,H3000						
ｱﾙﾐ製伸縮ｹﾞｰﾄ	LIXIL:ｸﾞﾗｼｬｲﾝAﾀｲﾌﾟ						

備　考				

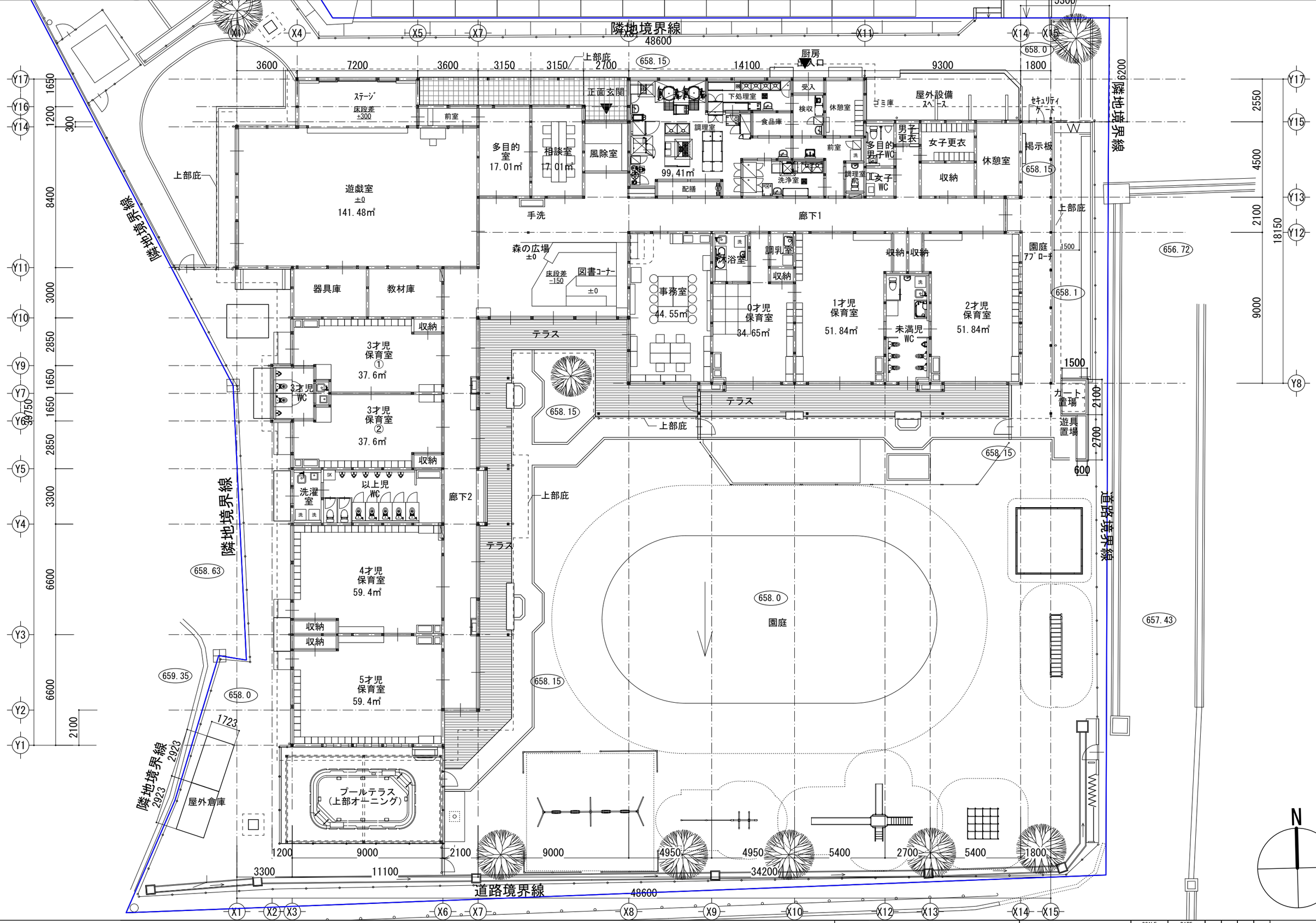
令和８年度　保育所管理事業
新保育園建設　建築工事

仕上表3

SCALE	DATE
—	2026.09.14

A-16

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

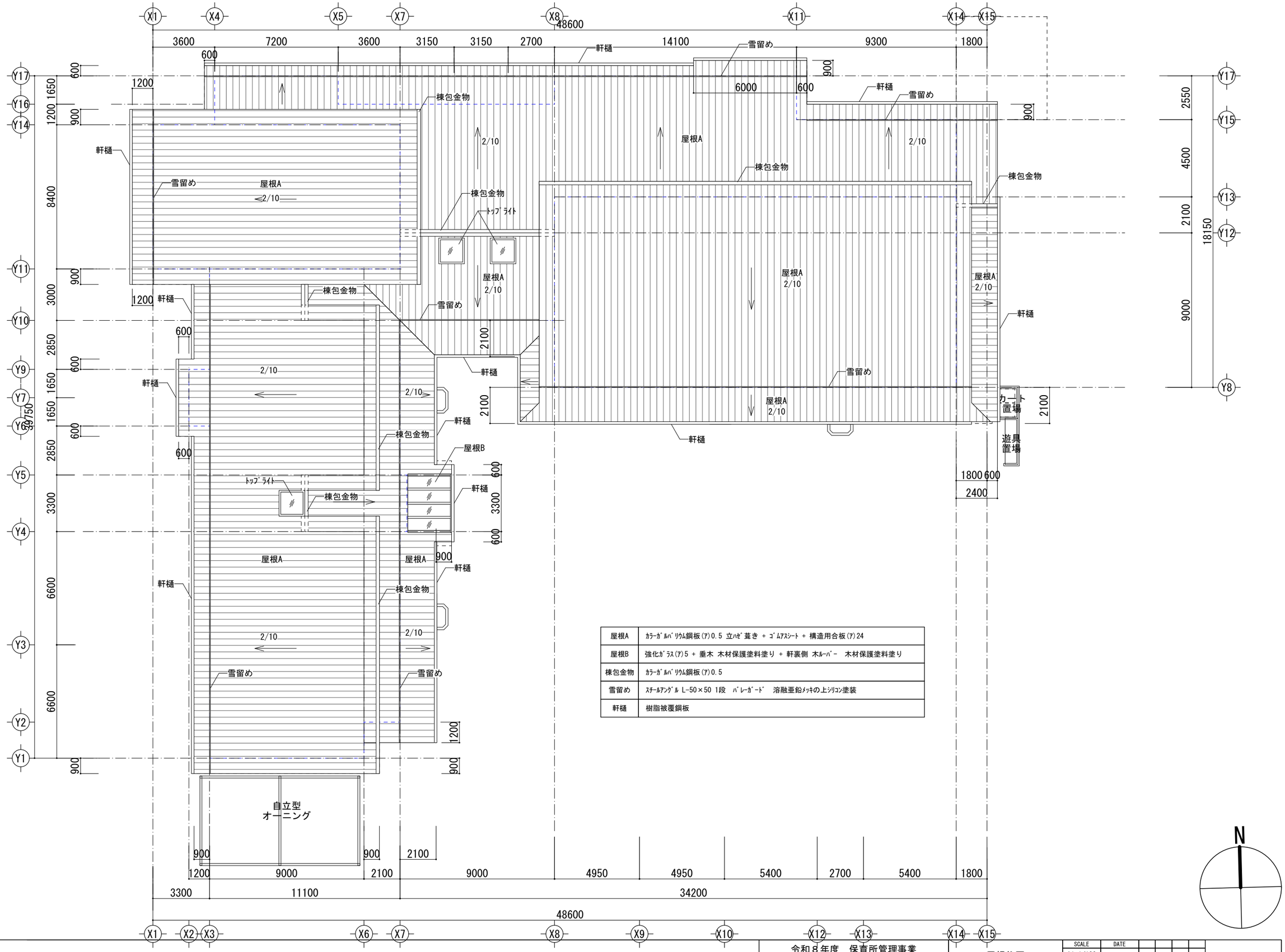


設計GL = 680.00
FL = 設計GL + 300(680.30)

令和８年度　保育所管理事業 新保育園建設　建築工事	平面図	SCALE A1:1/100 A3:1/200	DATE 2026.09.14

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

A-17



屋根A	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板(ｱ)0.5 立ﾊｾﾞ葺き + ｺﾞﾑｱｽｼｰﾄ + 構造用合板(ｱ)24
屋根B	強化ｶﾞﾗｽ(ｱ)5 + 垂木 木材保護塗料塗り + 軒裏側 木ﾙｰﾊﾞｰ 木材保護塗料塗り
棟包金物	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板(ｱ)0.5
雪留め	ｽﾁｰﾙｱﾝｸﾞﾙ L-50×50 1段 ﾊﾞﾚｰｶﾞｰﾄﾞ 溶融亜鉛ﾒｯｷの上ｼﾘｺﾝ塗装
軒樋	樹脂被覆鋼板

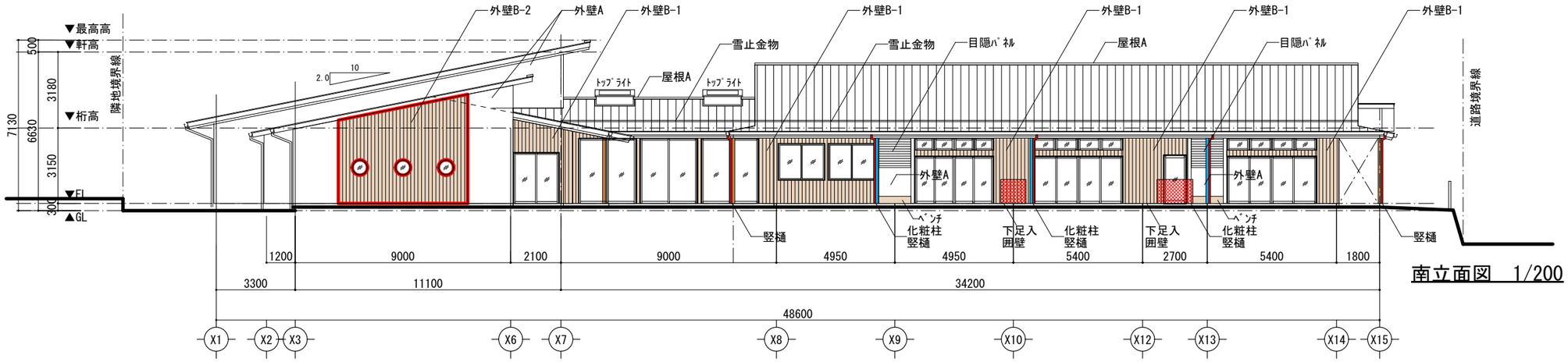
令和８年度　保育所管理事業
新保育園建設　建築工事

屋根伏図

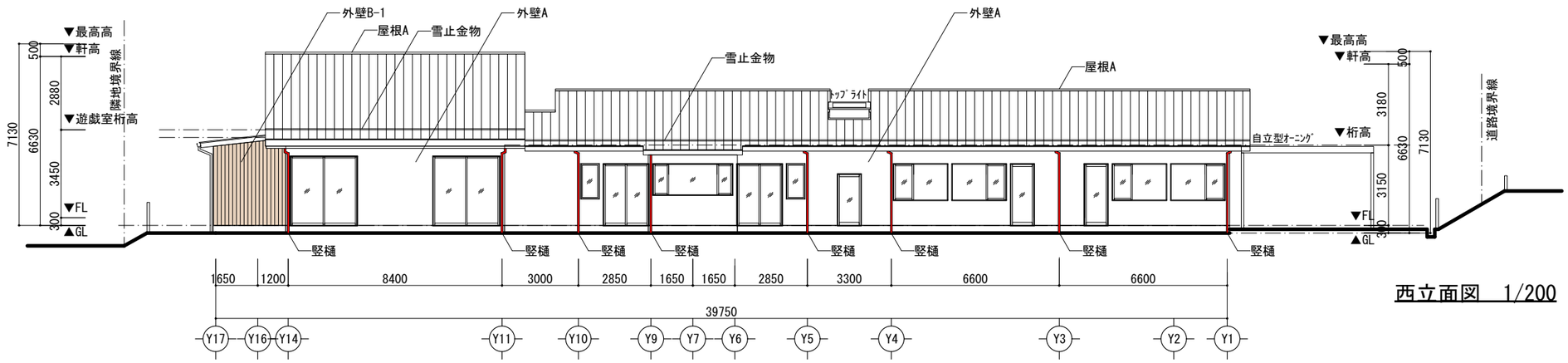
SCALE	DATE
A1:1/100 A3:1/200	2026/09/14

A-18

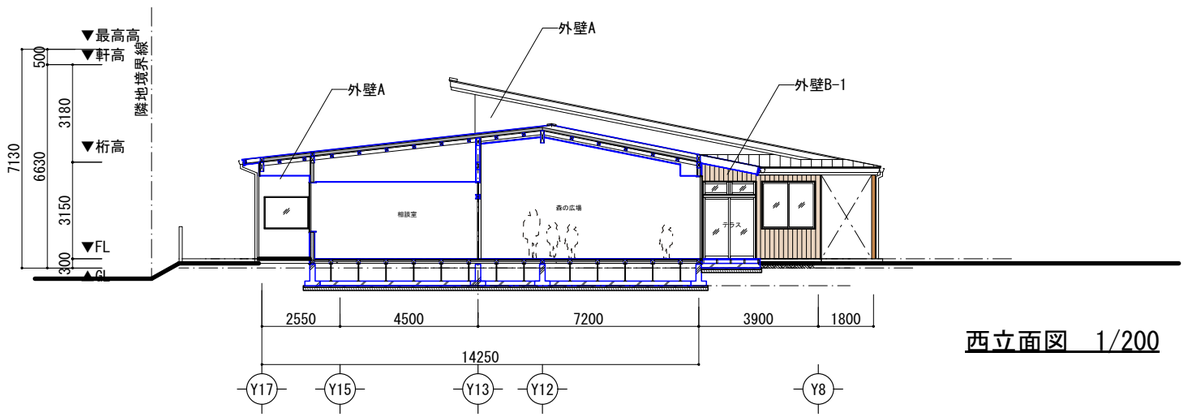
株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登



南立面図　1/200



西立面図　1/200



西立面図　1/200

■外部仕上

	屋根A	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板(ｱ)0.5 立ﾊｾﾞ葺き + ｺﾞﾑｱｽｼｰﾄ + 構造用合板(ｱ)24　棟換気金物　：雪止金物L50×50ｼﾘｺﾝ塗装		軒裏	ｽｷﾞ羽目板張り(ｱ)12[相じゃくり加工] 木材保護塗料塗り + 木組下地		目隠ﾊﾟﾈﾙ	有孔折板t=1.6　粉体塗装　L=1350　両端受材
	屋根B	強化ｶﾞﾗｽ(ｱ)5 + 垂木 木材保護塗料塗り + 軒裏側 木ﾙｰﾊﾞｰ　木材保護塗料塗り		構造柱	表し 木材保護塗料塗り		下足入囲壁	外構図参照
	外壁A	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ張り(ｱ)16縦張り + 通気金物 + 透湿防水ｼｰﾄ + 構造用合板(ｱ)12 + 木組下地		化粧柱	ｽｷﾞ:120×120 木材保護塗料塗り		ﾍﾞﾝﾁ	外構図参照
	外壁B-1	ｽｷﾞ羽目板(ｱ)15縦張り + 木材保護塗料塗り + 横胴縁(通気) + 透湿防水ｼｰﾄ + 構造用合板(ｱ)12 + 木組下地		竪樋	樹脂被覆鋼板　φ75			
	外壁B-2	ｽｷﾞ羽目板(ｱ)15縦張り + 縦押縁30×30@90　木材保護塗料塗り + 横胴縁(通気) + 透湿防水ｼｰﾄ + 構造用合板(ｱ)12 + 木組下地		ｹﾗﾊﾞ	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板(ｱ)0.5			

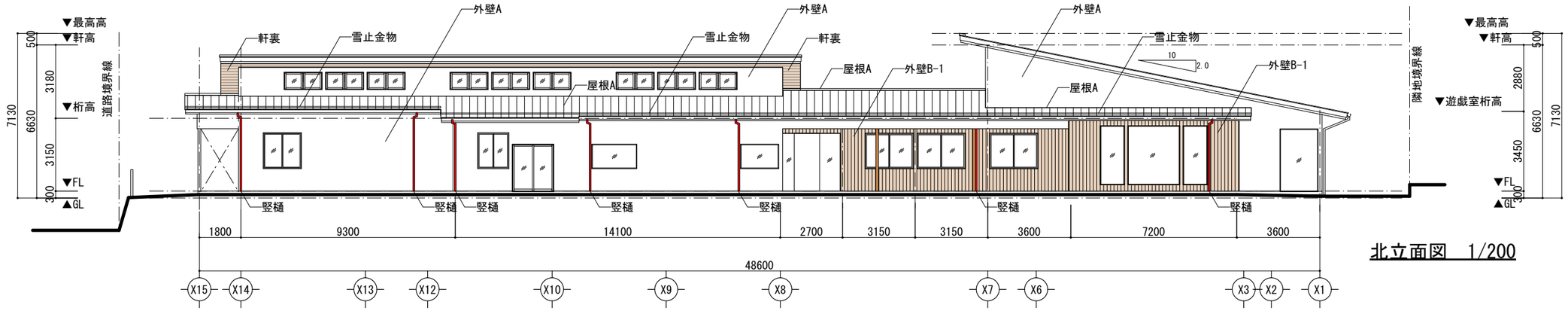
令和８年度　保育所管理事業
新保育園建設　建築工事

立面図1

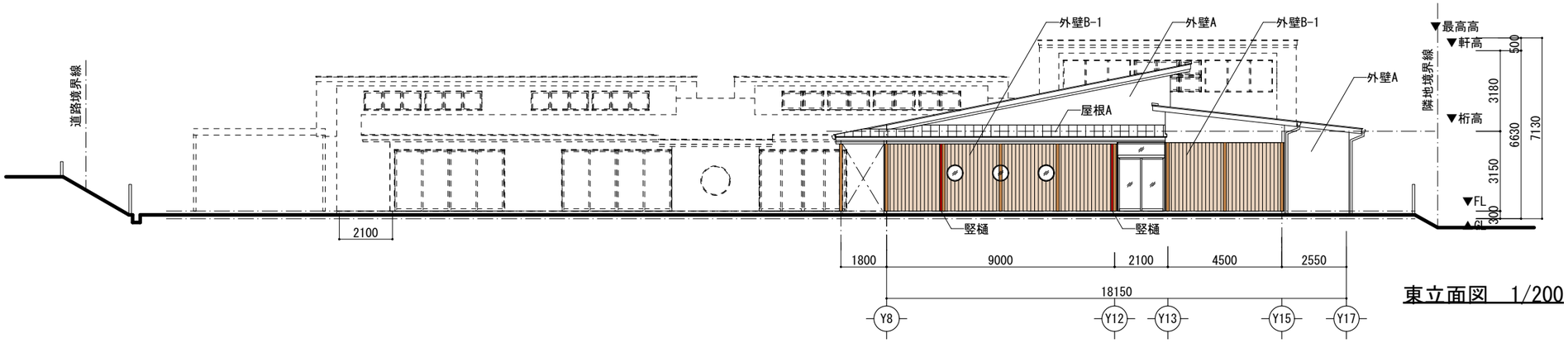
SCALE	DATE
A1:1/100 A3:1/200	2026/09/14

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

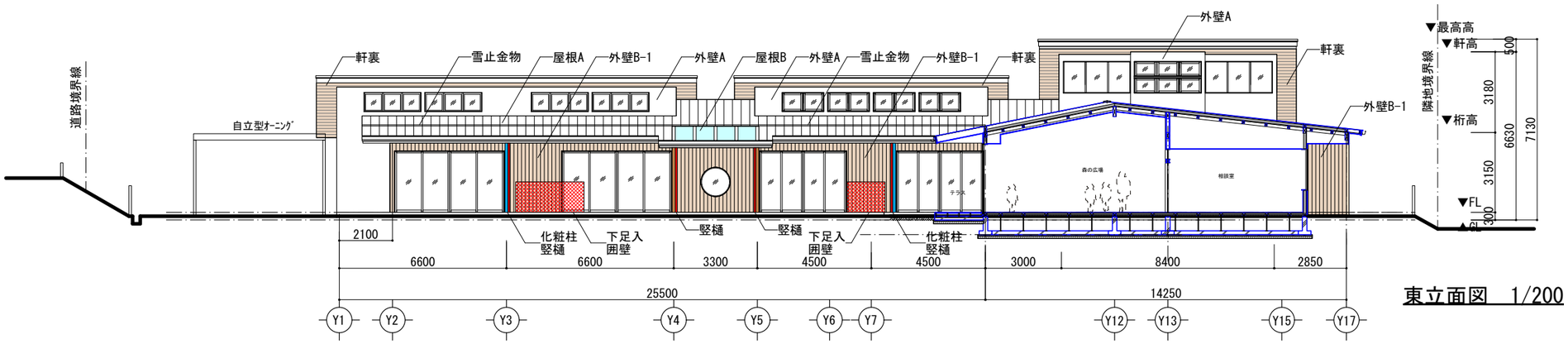
A-19



北立面図　1/200



東立面図　1/200



東立面図　1/200

■外部仕上

	屋根A	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板(ア)0.5 立ﾊｾﾞ葺き + ｺﾞﾑｱｽｼｰﾄ + 構造用合板(ア)24　棟換気金物　　:雪止金物L50×50ｼﾘｺﾝ塗装		軒裏	ｽｷﾞ羽目板張り(ア)12[相じゃくり加工] 木材保護塗料塗り + 木組下地		目隠ﾊﾟﾈﾙ	有孔折板t=1.6　粉体塗装　L=1350　両端受材
	屋根B	強化ｶﾞﾗｽ(ア)5 + 垂木 木材保護塗料塗り + 軒裏側 木ﾙｰﾊﾞｰ　木材保護塗料塗り		構造柱	表し 木材保護塗料塗り		下足入囲壁	外構図参照
	外壁A	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ張り(ア)16縦張り + 通気金物 + 透湿防水ｼｰﾄ + 構造用合板(ア)12 + 木組下地		化粧柱	ｽｷﾞ:120×120 木材保護塗料塗り		ﾍﾞﾝﾁ	外構図参照
	外壁B-1	ｽｷﾞ羽目板(ア)15縦張り + 木材保護塗料塗り + 横胴縁(通気) + 透湿防水ｼｰﾄ + 構造用合板(ア)12 + 木組下地		竪樋	樹脂被覆鋼板　φ75			
	外壁B-2	ｽｷﾞ羽目板(ア)15縦張り + 縦押縁30×30@90　木材保護塗料塗り + 横胴縁(通気) + 透湿防水ｼｰﾄ + 構造用合板(ア)12 + 木組下地		ｹﾗﾊﾞ	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板(ア)0.5			

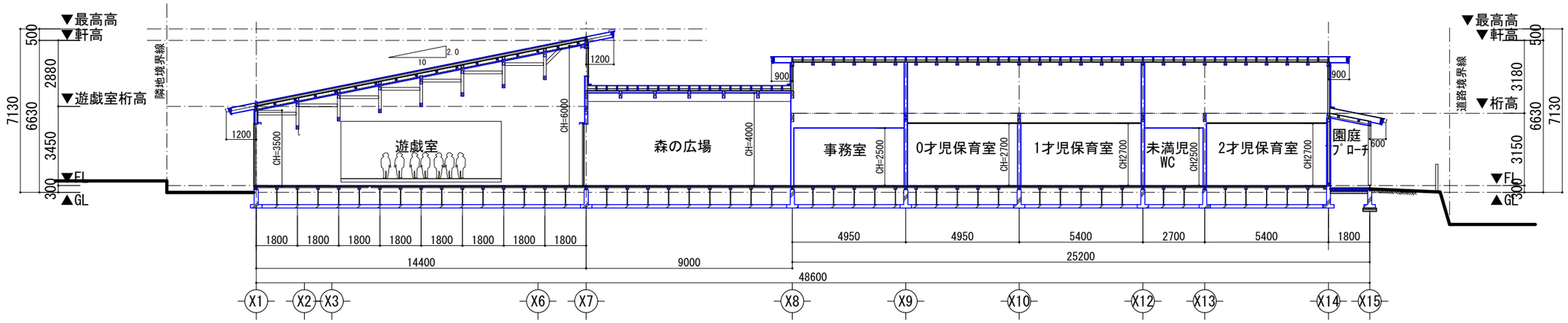
令和８年度　保育所管理事業
新保育園建設　建築工事

立面図2

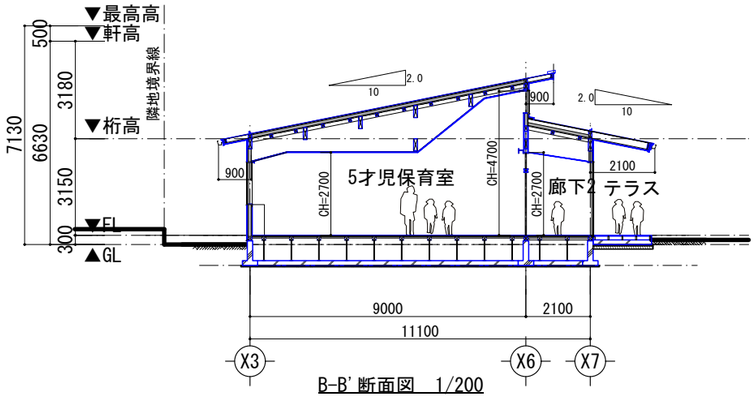
SCALE	DATE
A1:1/100 A3:1/200	2026/09/14

A-20

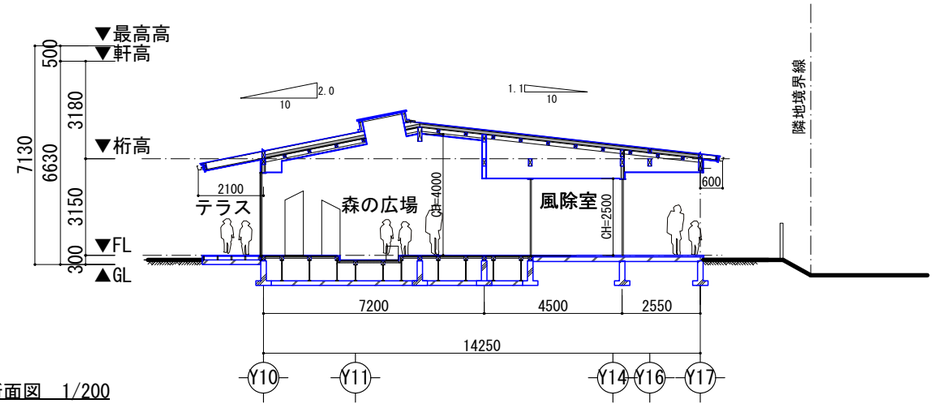
株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登



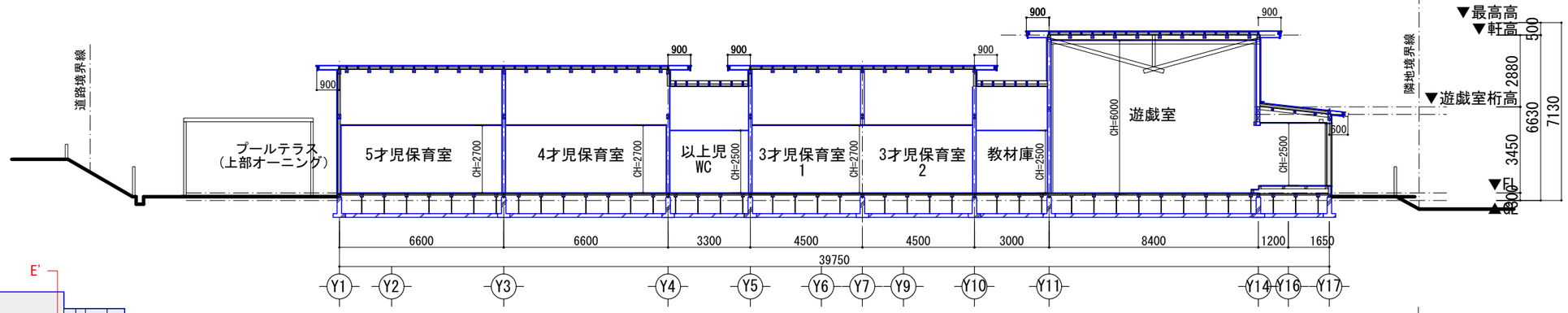
A-A' 断面図　1/200



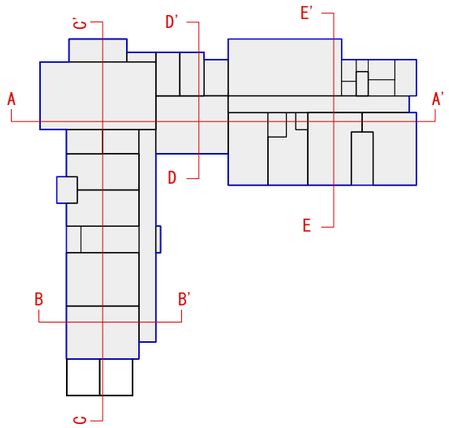
B-B' 断面図　1/200

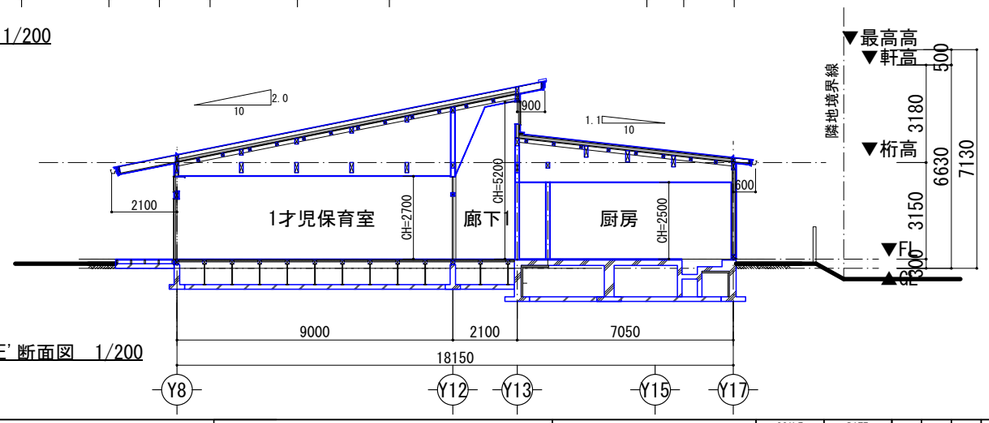


D-D' 断面図　1/200



C-C' 断面図　1/200

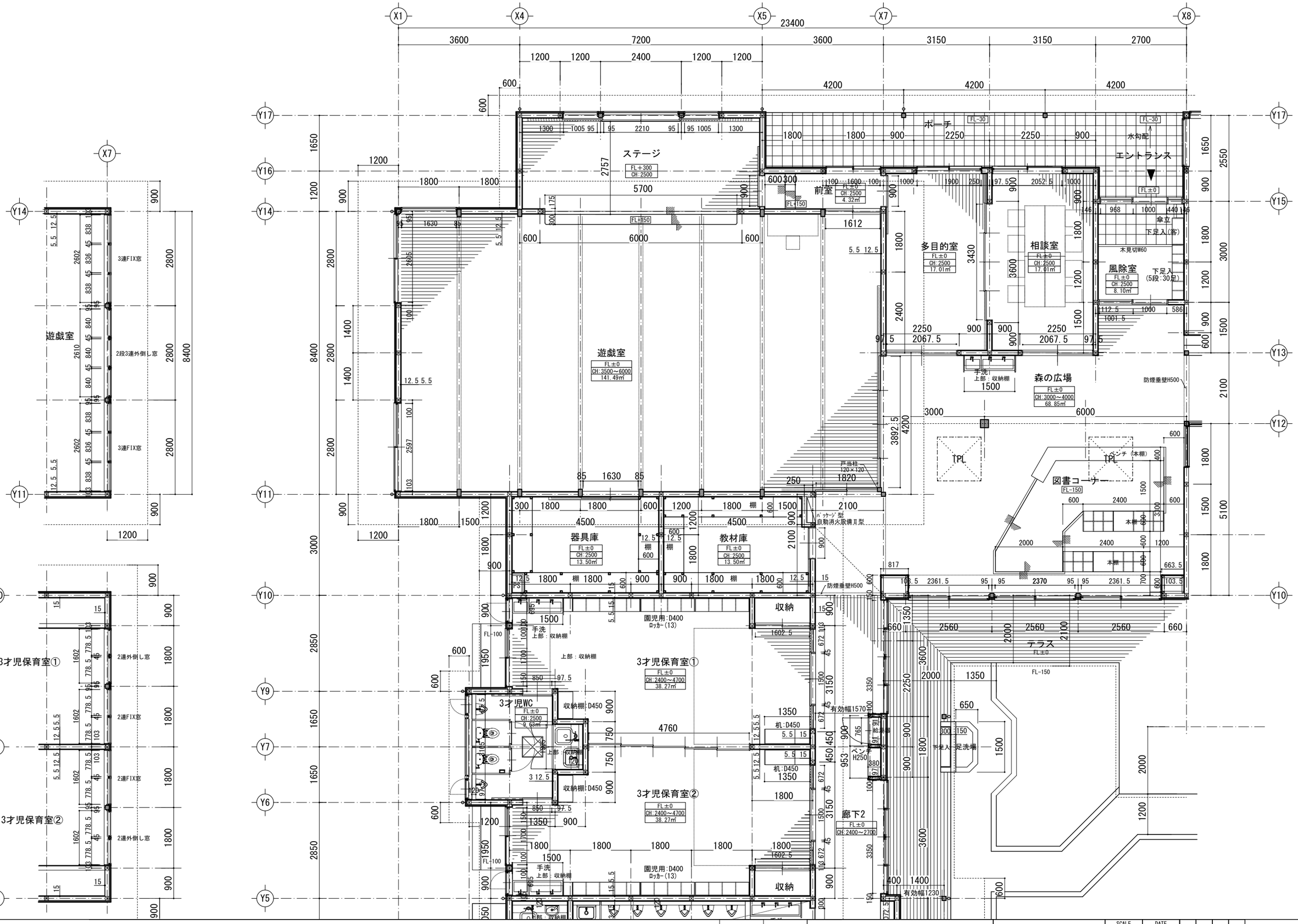




E-E' 断面図　1/200

令和8年度　保育所管理事業 新保育園建設　建築工事	断面図	SCALE A3:1/200	DATE 2026/09/14	A-21

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登



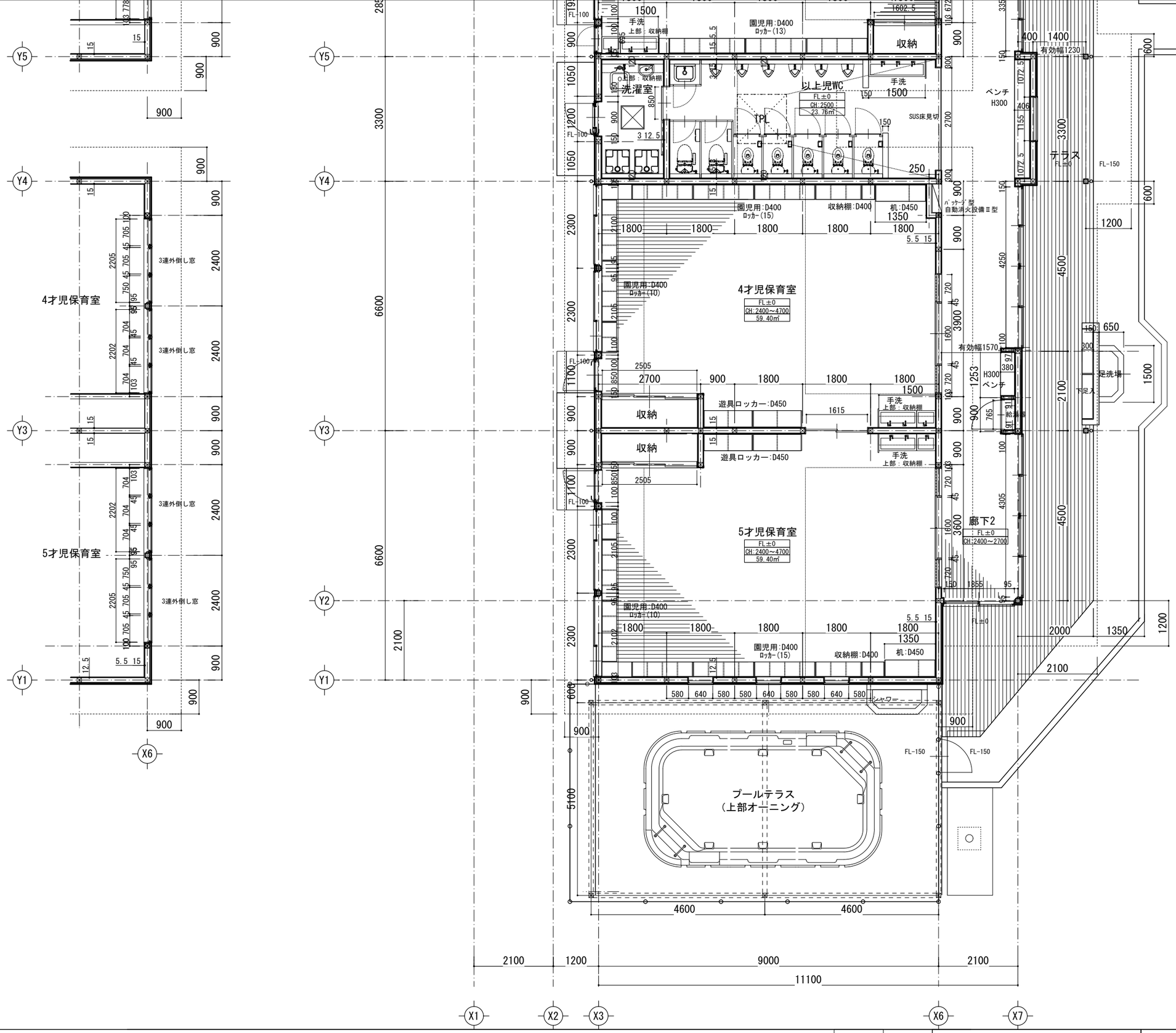
令和８年度　保育所管理事業
新保育園建設　建築工事

平面詳細図1

SCALE	DATE
A1:1/50 A3:1/100	2026/09/14

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

A-22



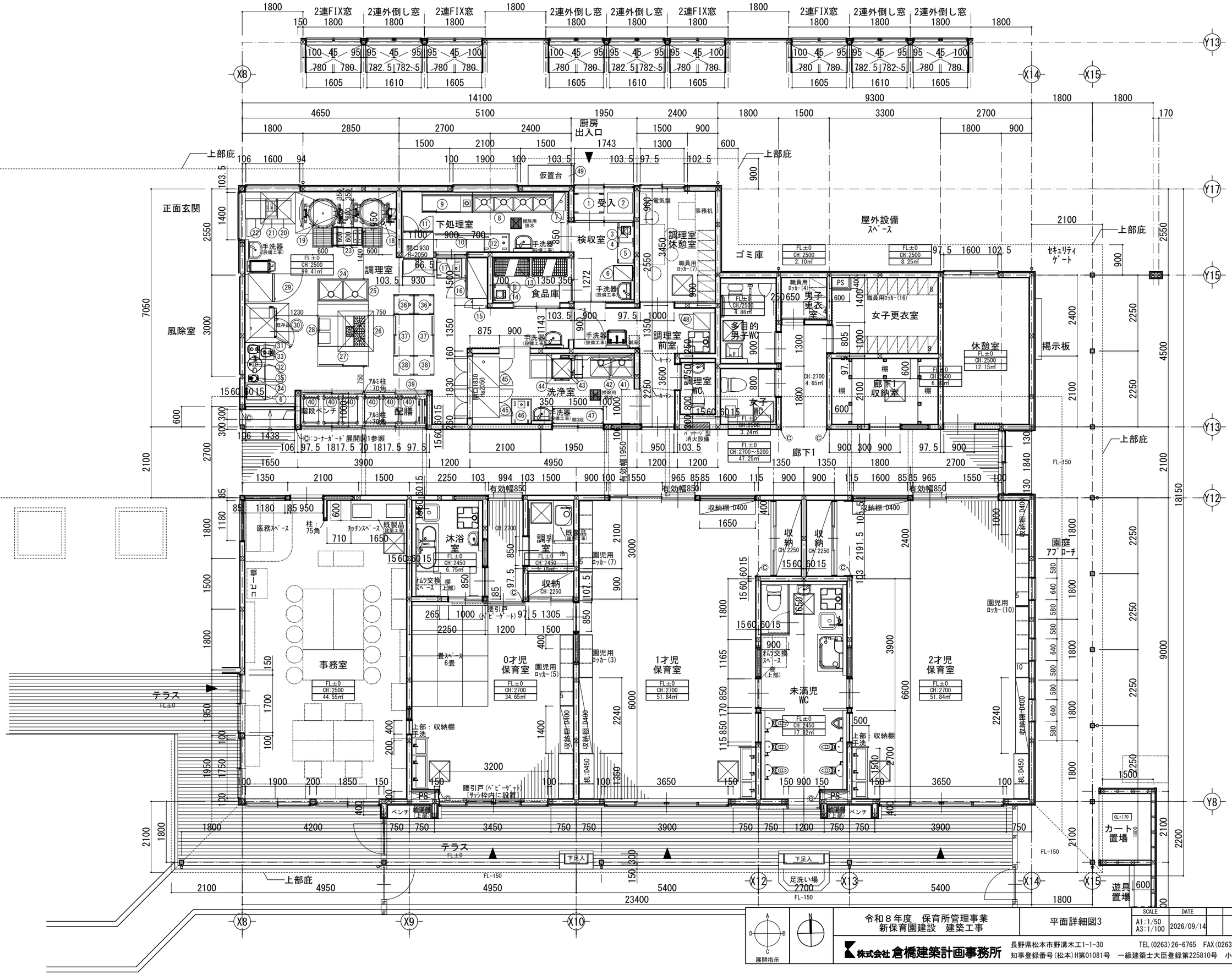
令和８年度　保育所管理事業
新保育園建設　建築工事

平面詳細図2

SCALE	DATE
A1:1/50 A3:1/100	2026/09/14

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

A-23



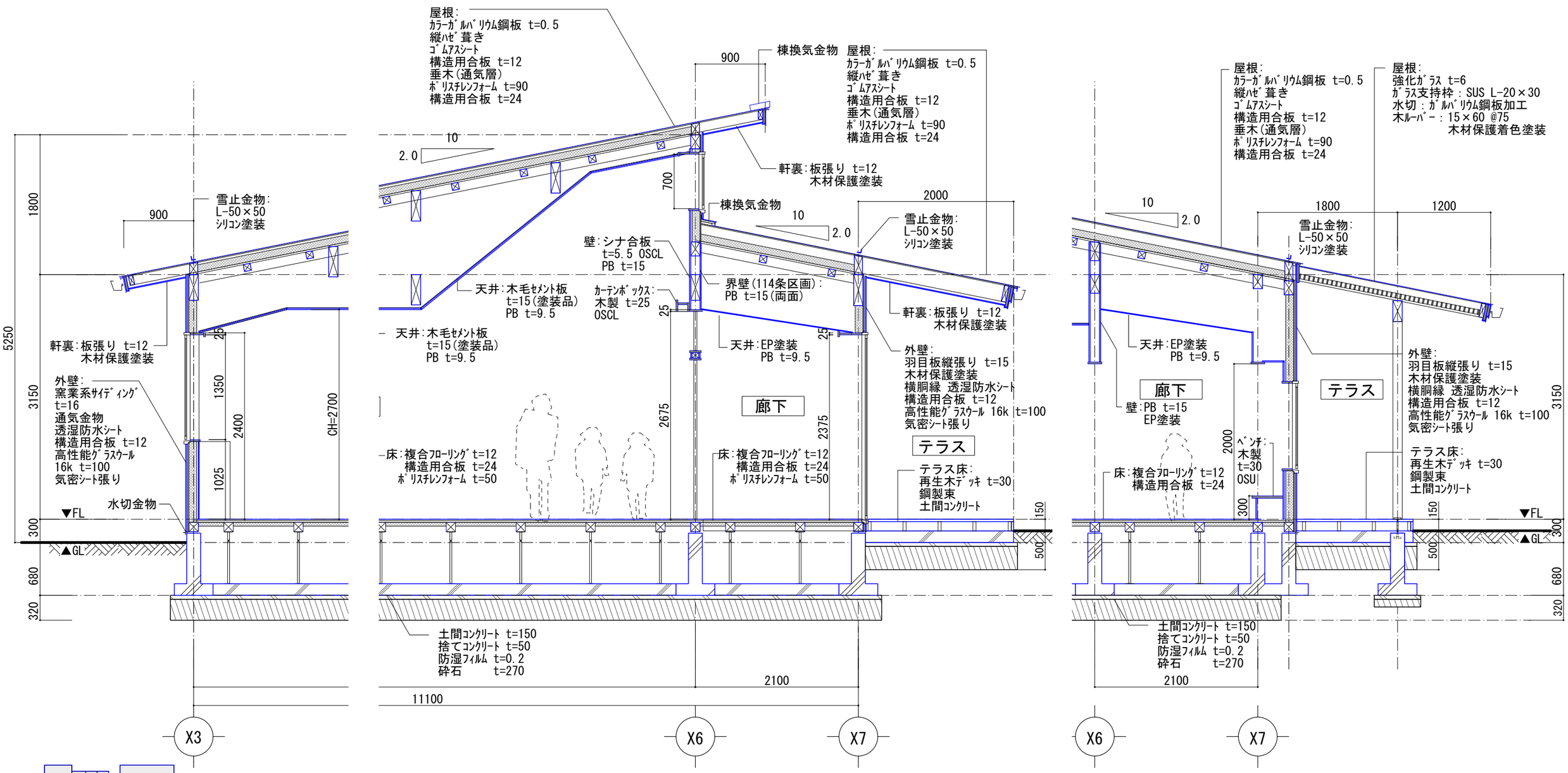
令和８年度　保育所管理事業
新保育園建設　建築工事

平面詳細図3

SCALE	DATE
A1:1/50 A3:1/100	2026/09/14

A-24

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

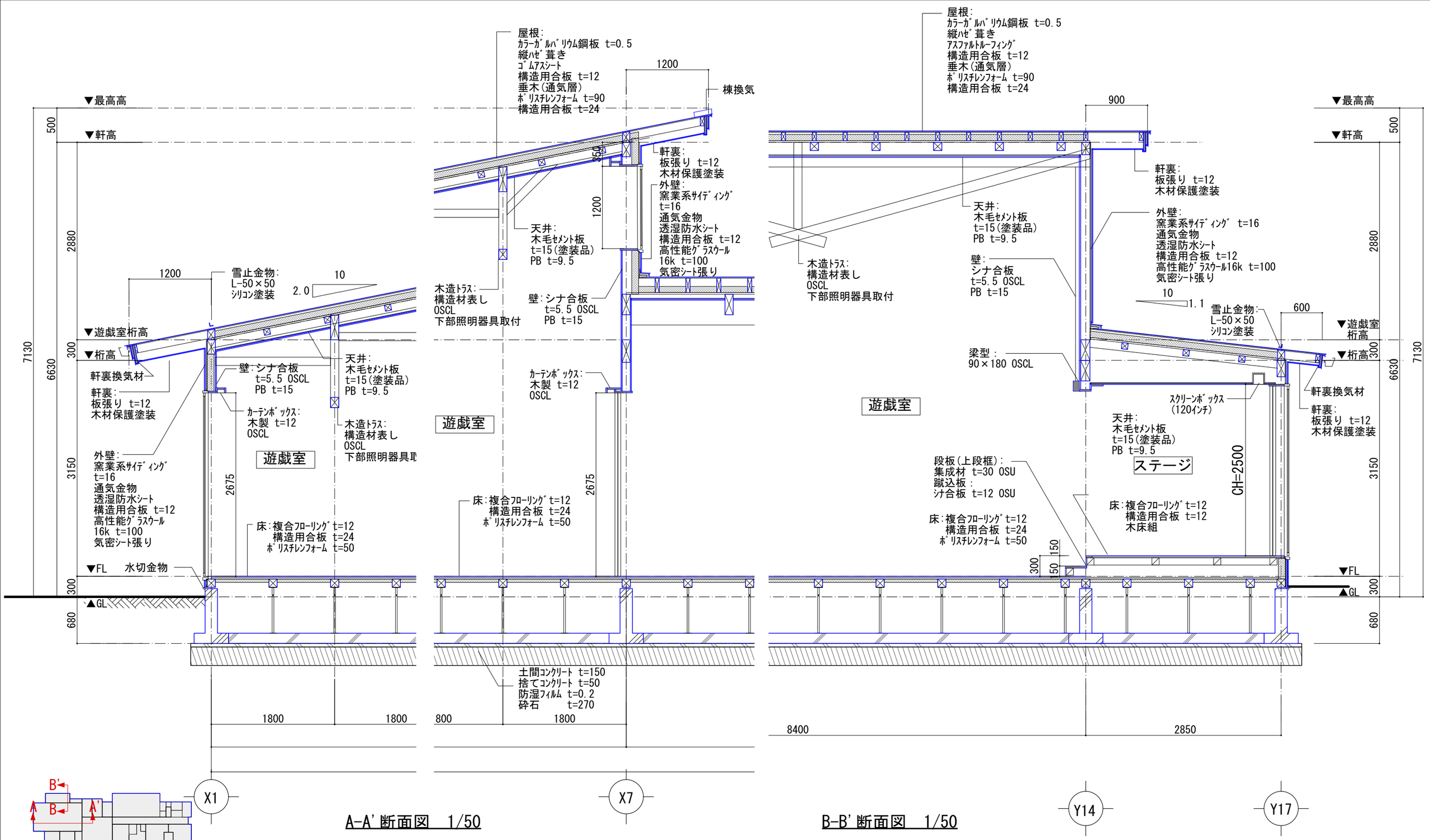


A-A'断面図 1/50

B-B'断面図 1/50

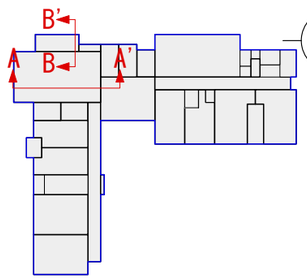
令和8年度 保育所管理事業 新保育園建設 建築工事	断面詳細図1	SCALE A3:1/50 / DATE 2026/09/14	A-25

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号 一級建築士大臣登録第225810号 小宮山吉登



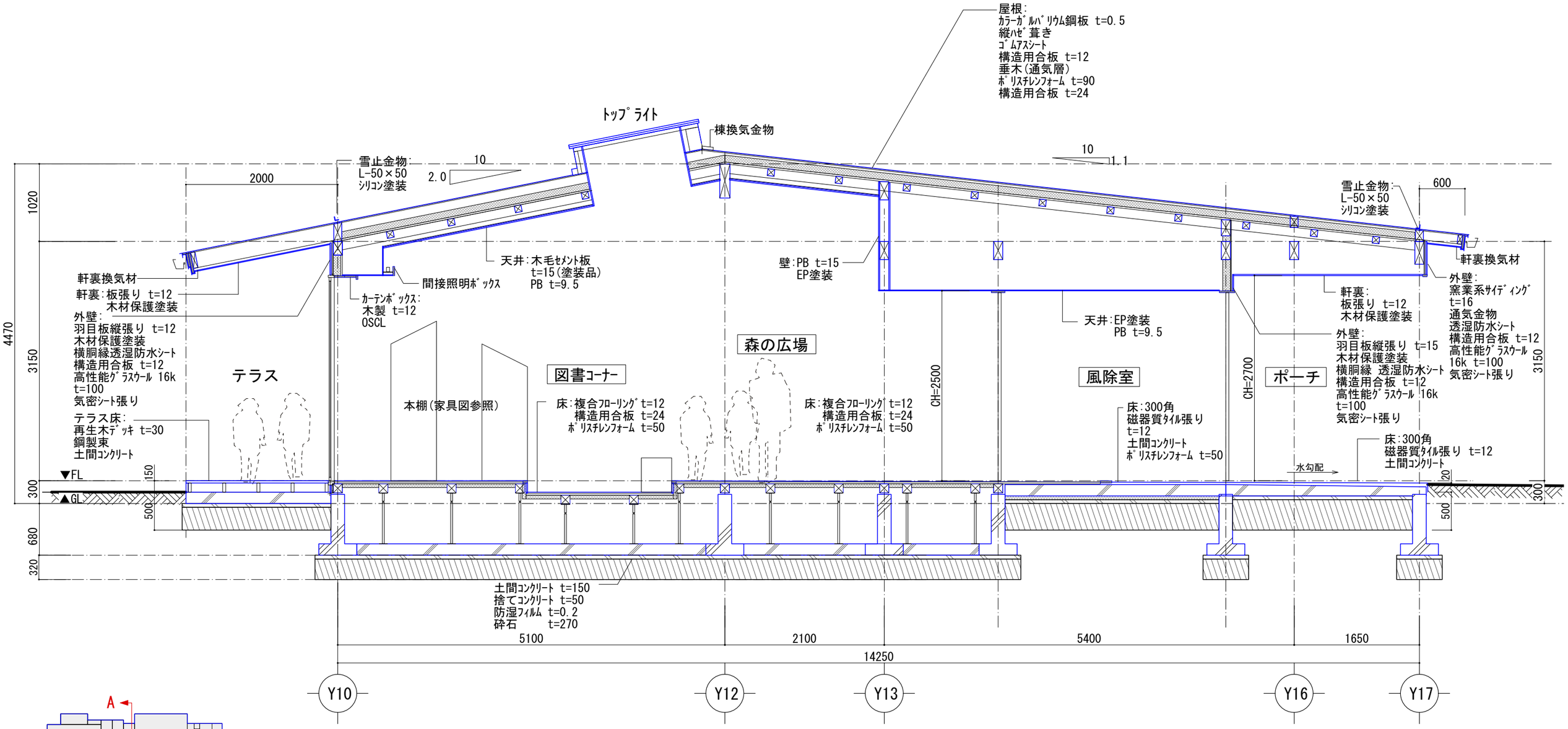
A-A' 断面図 1/50

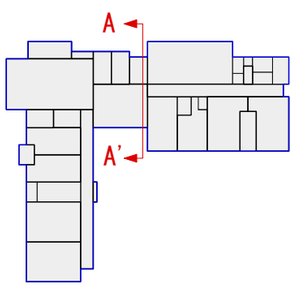
B-B' 断面図 1/50



令和8年度 保育所管理事業 新保育園建設 建築工事	断面詳細図2	SCALE A3:1/50	DATE 2026/09/14	A-26

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号 一級建築士大臣登録第225810号 小宮山吉登

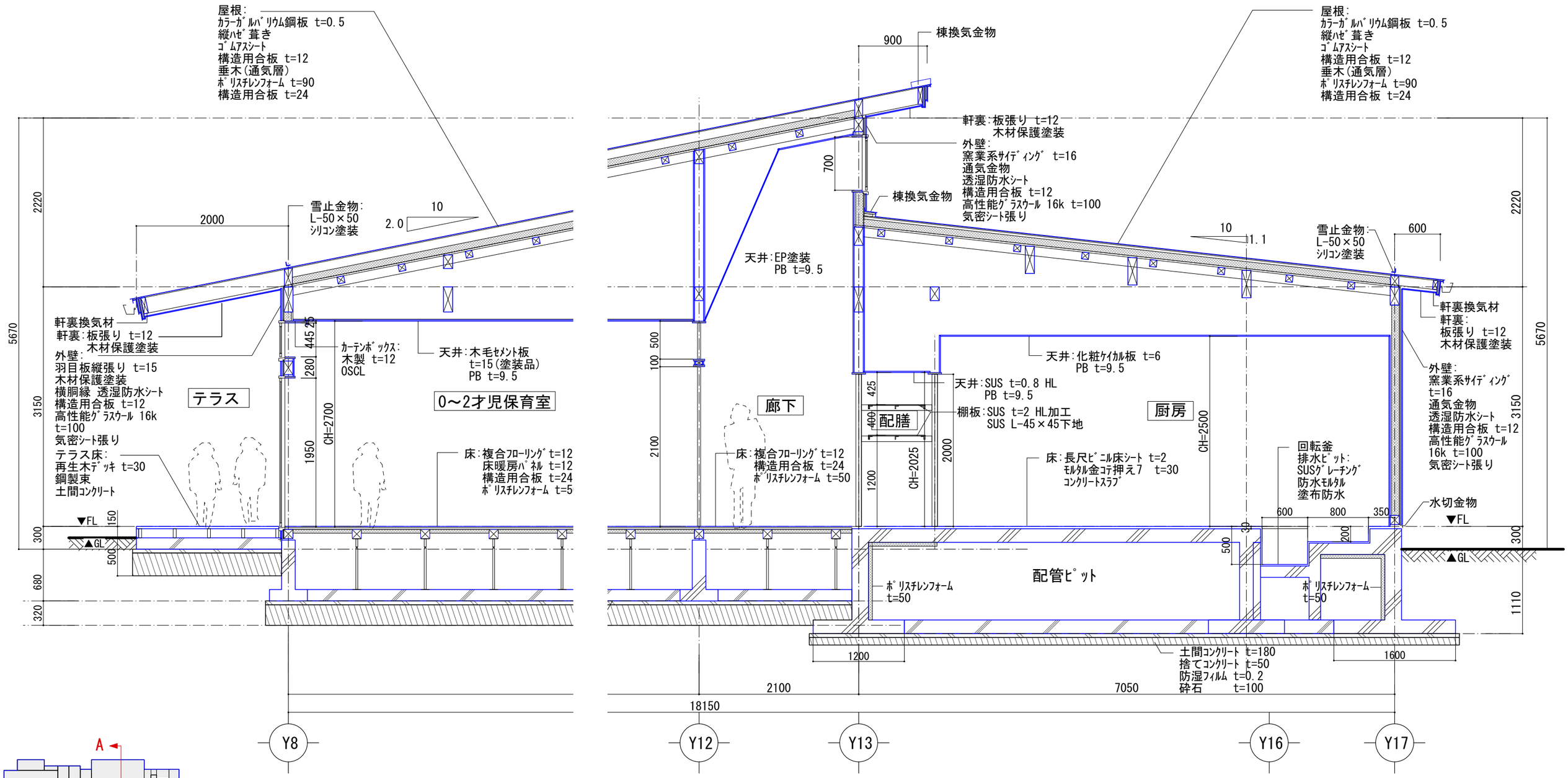


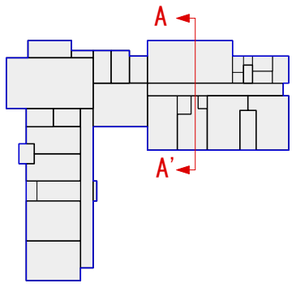


A-A' 断面図 1/50

令和8年度 保育所管理事業 新保育園建設 建築工事	断面詳細図3	SCALE A3:1/50	DATE 2026/09/14	A-27

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号 一級建築士大臣登録第225810号 小宮山吉登

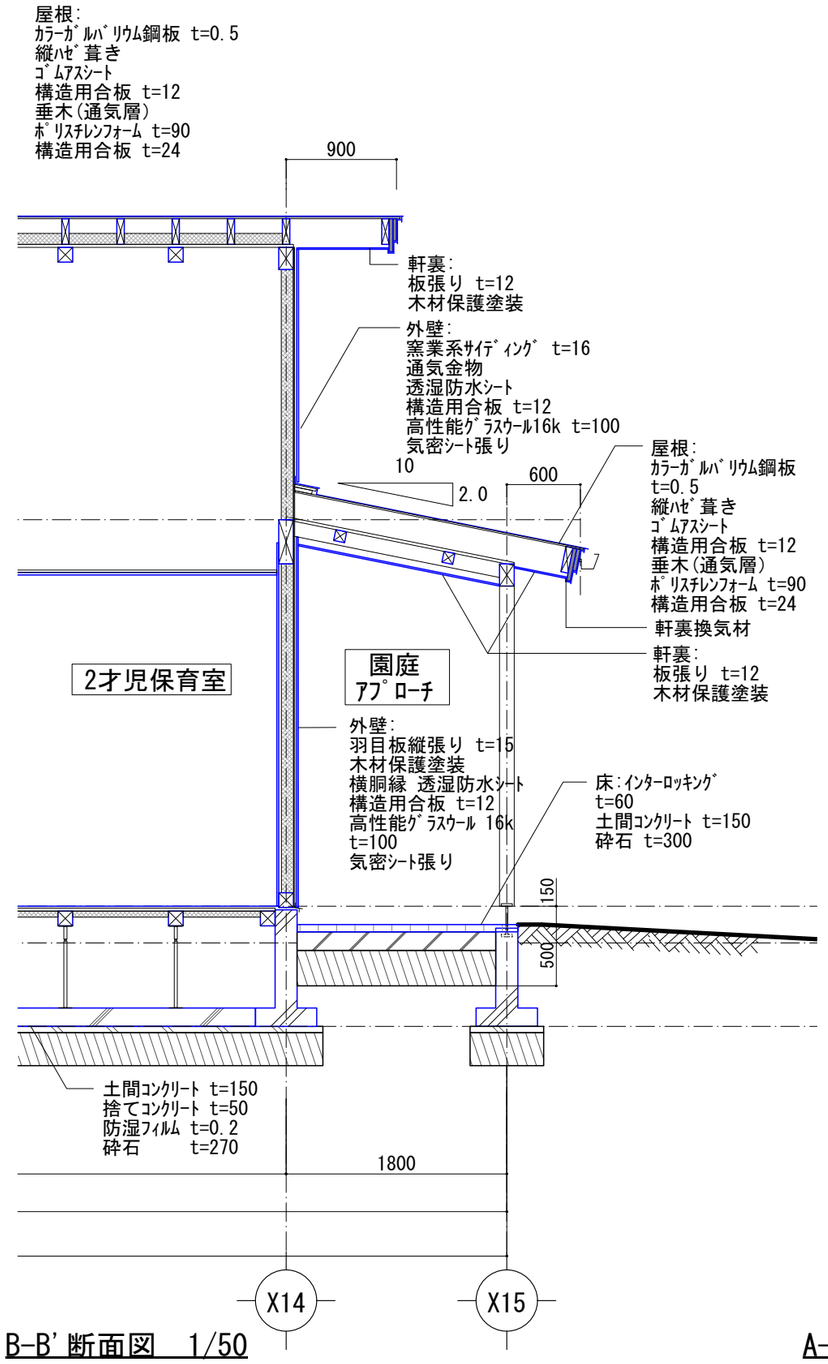




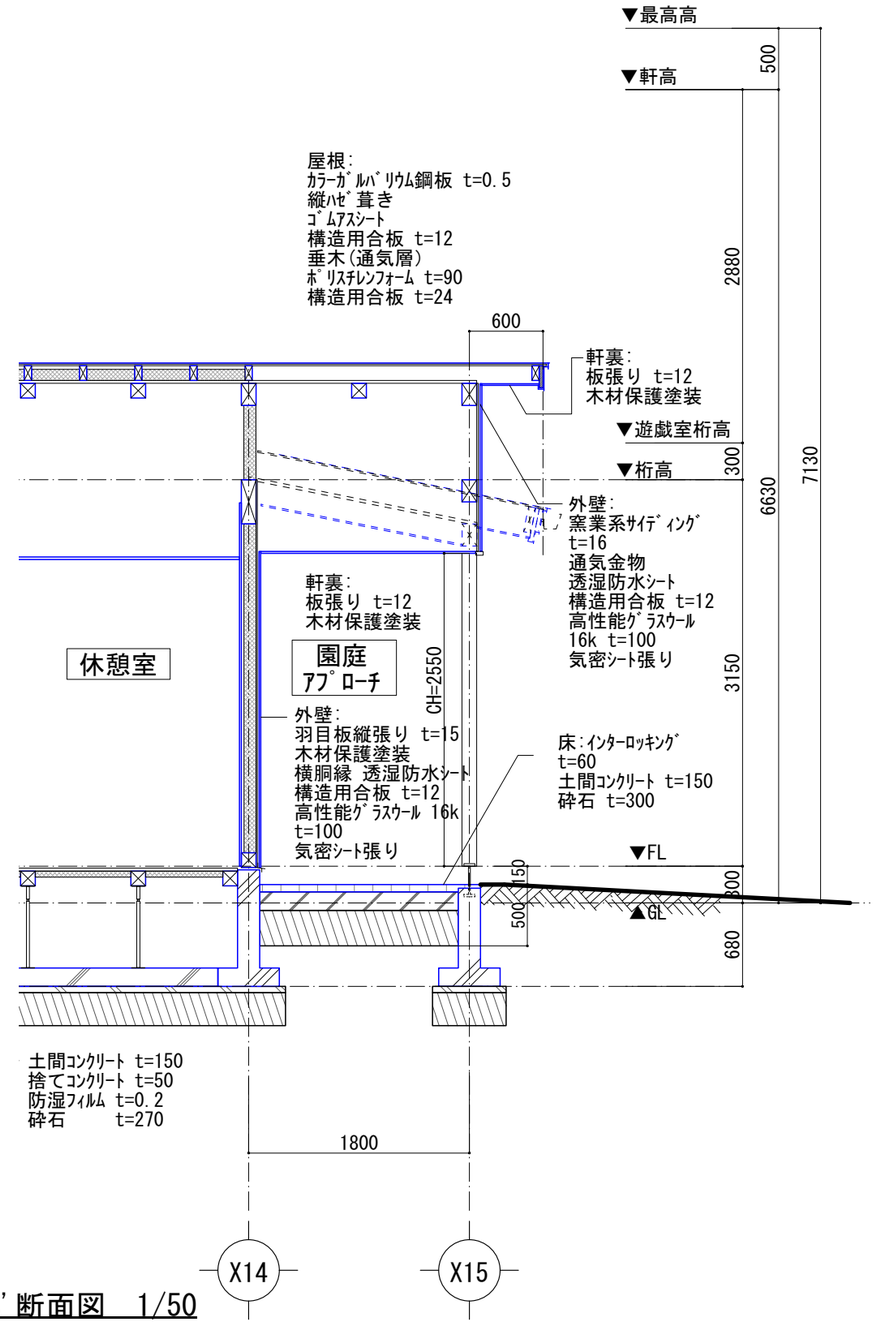
A-A' 断面図 1/50

令和8年度 保育所管理事業 新保育園建設 建築工事	断面詳細図4	SCALE A3:1/50	DATE 2026/09/14	A-28

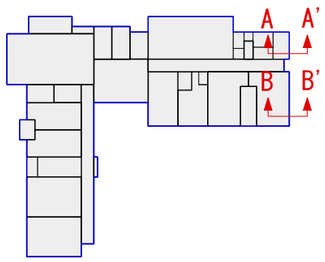
株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号 一級建築士大臣登録第225810号 小宮山吉登



B-B' 断面図 1/50

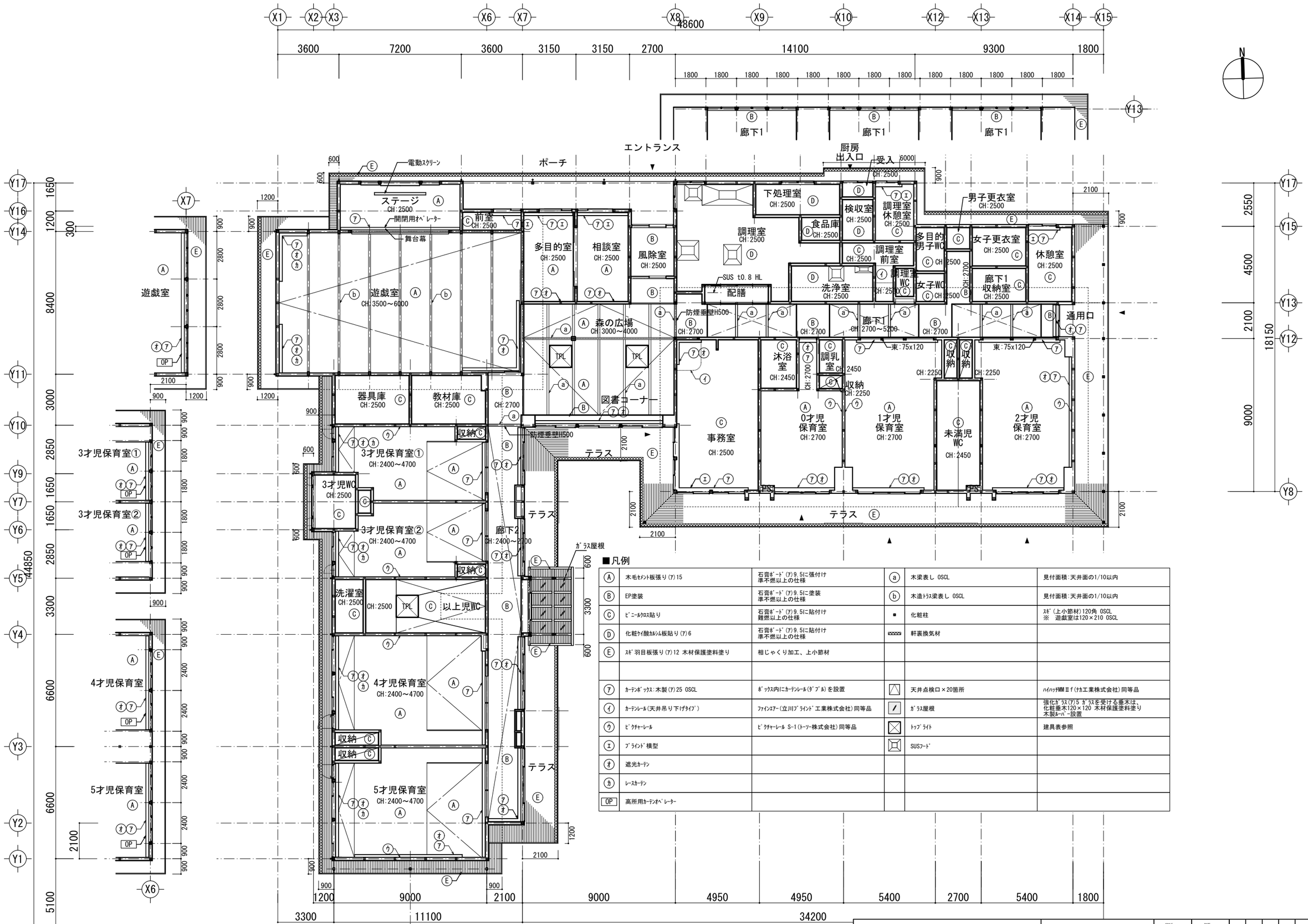


A-A' 断面図 1/50



令和8年度 保育所管理事業 新保育園建設 建築工事	断面詳細図5	SCALE A3:1/50	DATE 2026/09/14	A-29

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号 一級建築士大臣登録第225810号 小宮山吉登

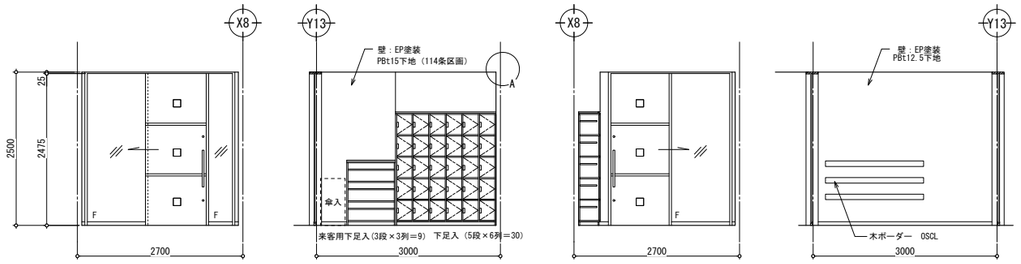


■凡例

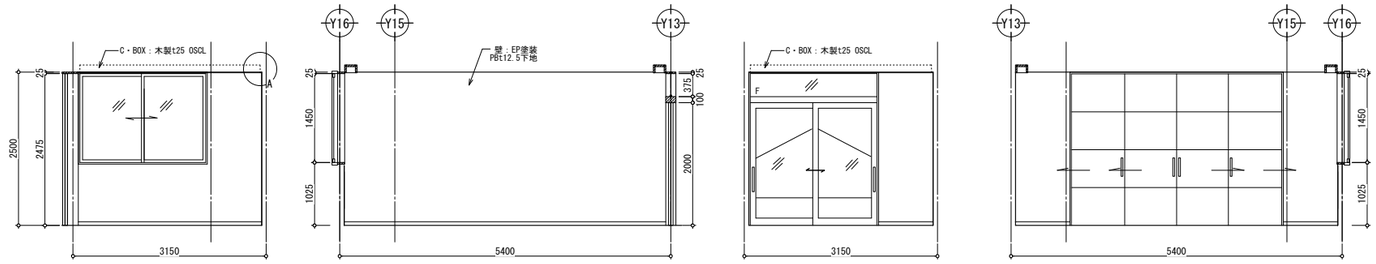
Ⓐ	木毛セメント板張り(ア)15	石膏ボード(ア)9.5に張付け 準不燃以上の仕様	ⓐ	木梁表し OSCL	見付面積:天井面の1/10以内
Ⓑ	EP塗装	石膏ボード(ア)9.5に塗装 準不燃以上の仕様	ⓑ	木造トラス梁表し OSCL	見付面積:天井面の1/10以内
Ⓒ	ビニールクロス貼り	石膏ボード(ア)9.5に貼付け 難燃以上の仕様	■	化粧柱	スギ(上小節材)120角 OSCL ※ 遊戯室は120×210 OSCL
Ⓓ	化粧ケイ酸カルシム板貼り(ア)6	石膏ボード(ア)9.5に貼付け 準不燃以上の仕様		軒裏換気材	
Ⓔ	スギ羽目板張り(ア)12 木材保護塗料塗り	相じゃくり加工、上小節材			
⑦	カーテンボックス:木製(ア)25 OSCL	ボックス内にカーテンレール(ダブル)を設置		天井点検口×20箇所	ハイハッチMMⅡf(ナカ工業株式会社)同等品
㋑	カーテンレール(天井吊り下げタイプ)	ファインエアー(立川ブラインド工業株式会社)同等品		ガラス屋根	強化ガラス(ア)5 ガラスを受ける垂木は、 化粧垂木120×120 木材保護塗料塗り 木製ルーバー設置
㋒	ピクチャーレール	ピクチャーレール S-1(トーソー株式会社)同等品		トップライト	建具表参照
㋓	ブラインド横型			SUSフード	
㋔	遮光カーテン				
㋕	レースカーテン				
OP	高所用カーテンオペレーター				

令和８年度　保育所管理事業 新保育園建設　建築工事	天井伏図	SCALE A1:1/100 A3:1/200	DATE 2026. 09. 14	A-30

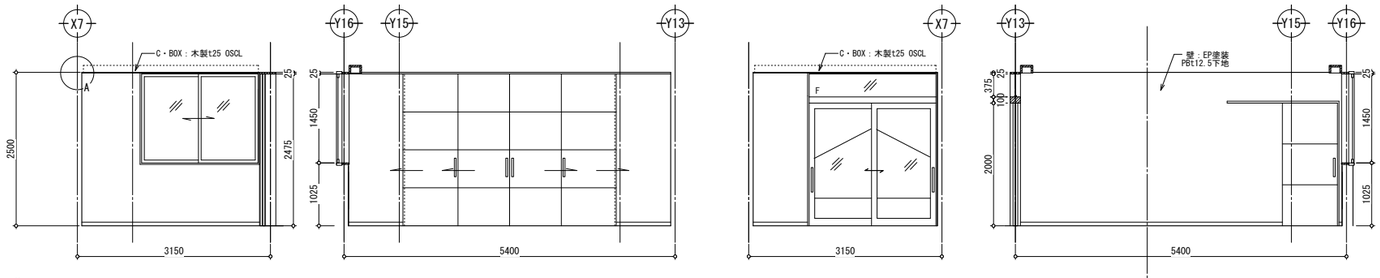
株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登



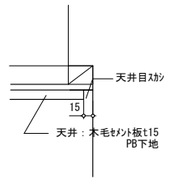
風除室 A B C D



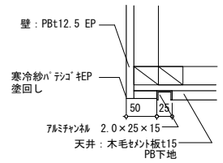
相談室 A B C D



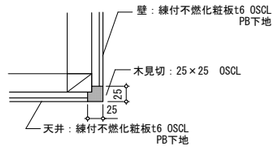
多目的室 A B C D



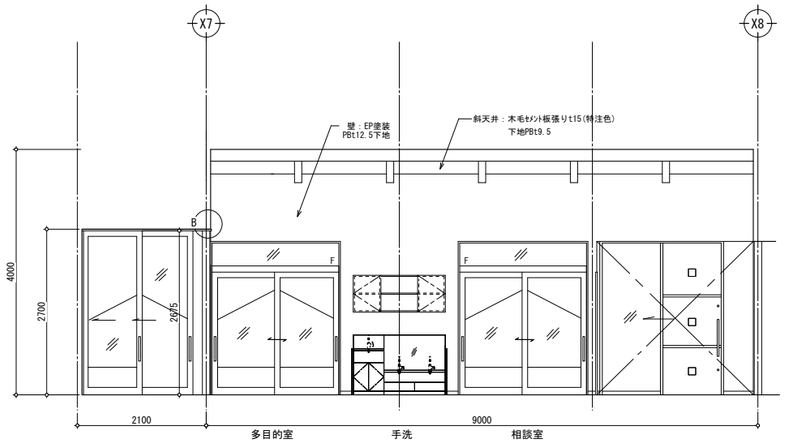
A:壁詳細図 S=1/5(A3:1/10)



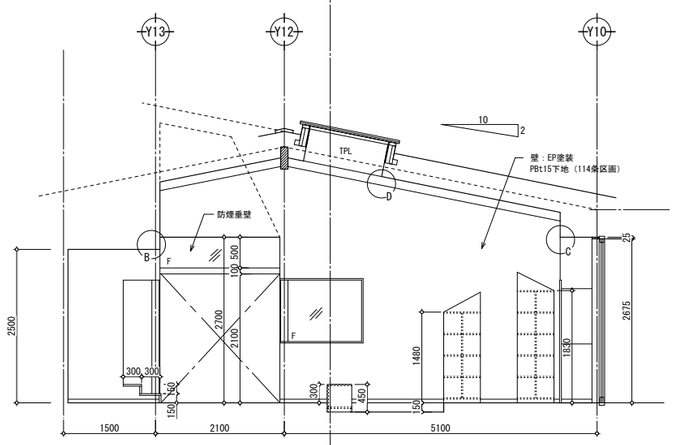
B:下がり壁詳細図 S=1/5(A3:1/10)



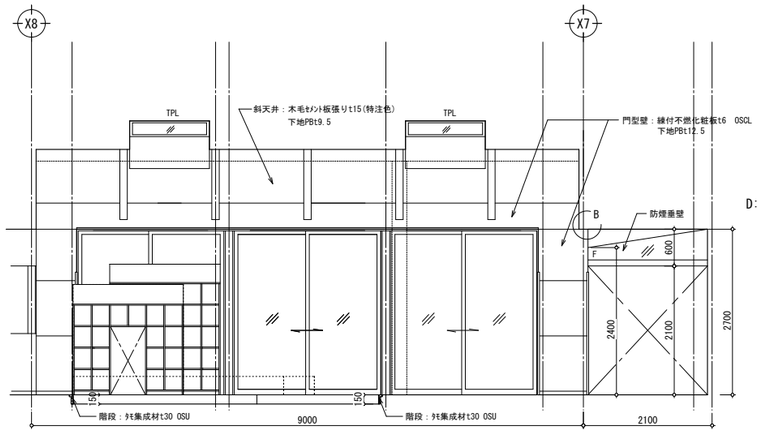
C:下がり壁詳細図 S=1/5(A3:1/10)



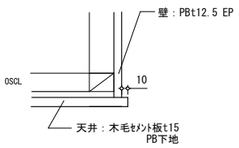
森の広場 A



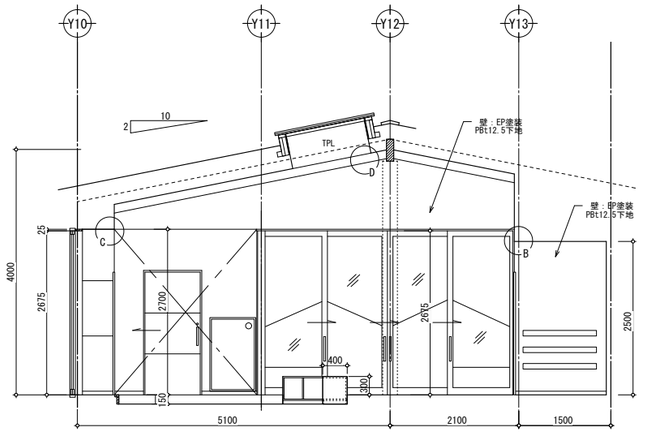
B



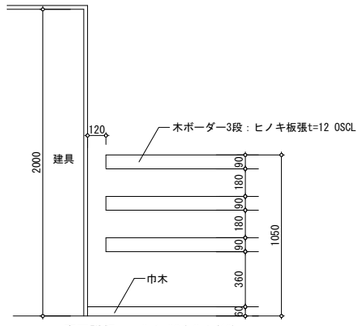
C



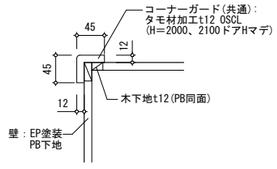
D:トップライト穴詳細図 S=1/5(A3:1/10)



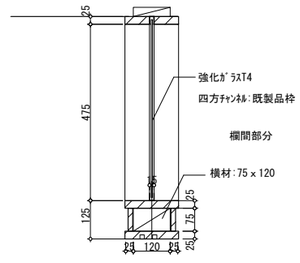
D



廊下詳細図 S=1:20(A3:1/40)

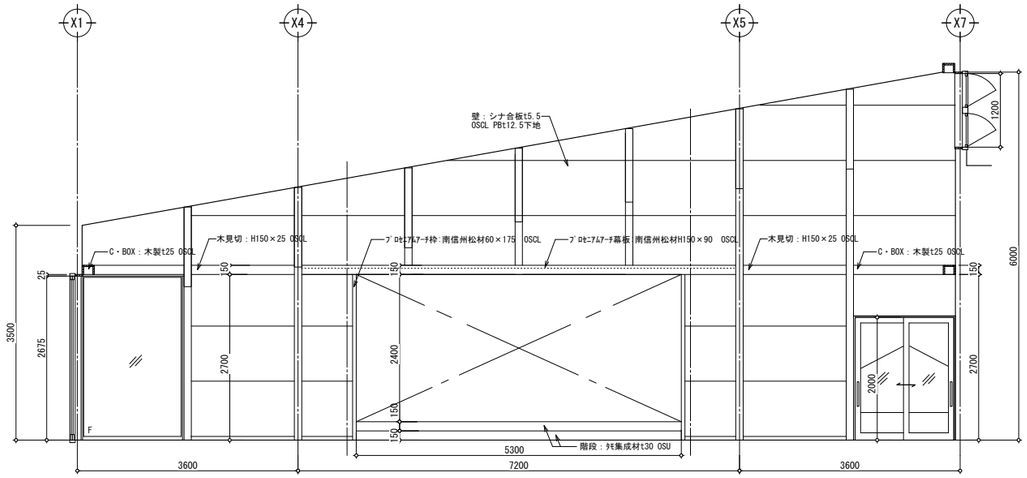


ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ平面詳細図 S=1/5(A3:1/10)

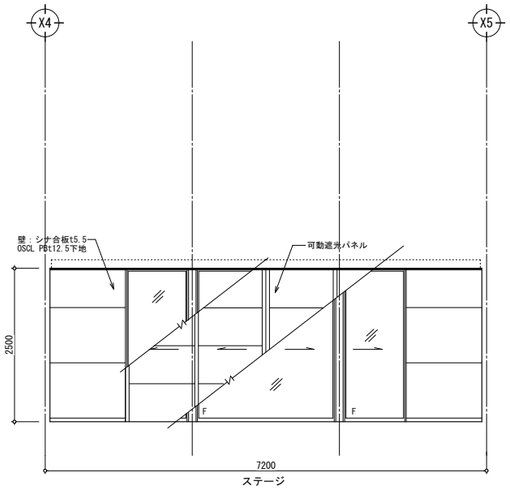


防煙垂壁 部分詳細図 S=1/10(A3:1/20)

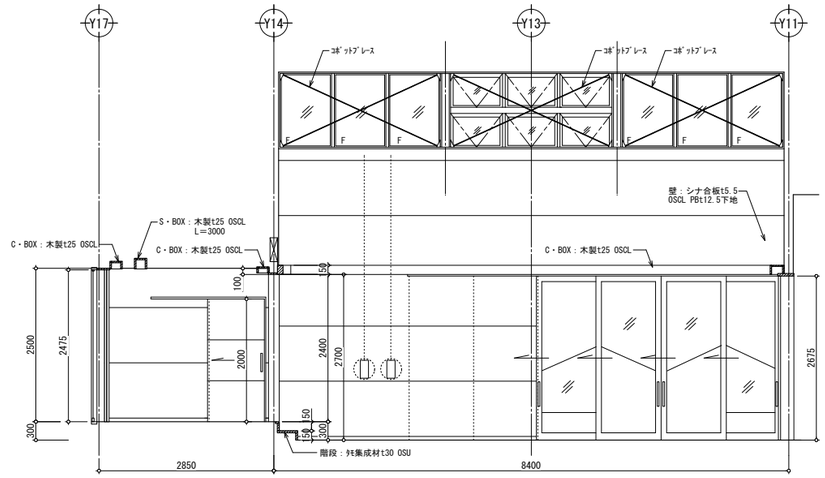
令和８年度 保育所管理事業 新保育園建設 建築工事	展開図 1	SCALE A1:1/50 A3:1/100	DATE 2026. 09. 14	A-31
株式会社 倉橋建築計画事務所	長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号 一級建築士大臣登録第225810号 小宮山吉登			



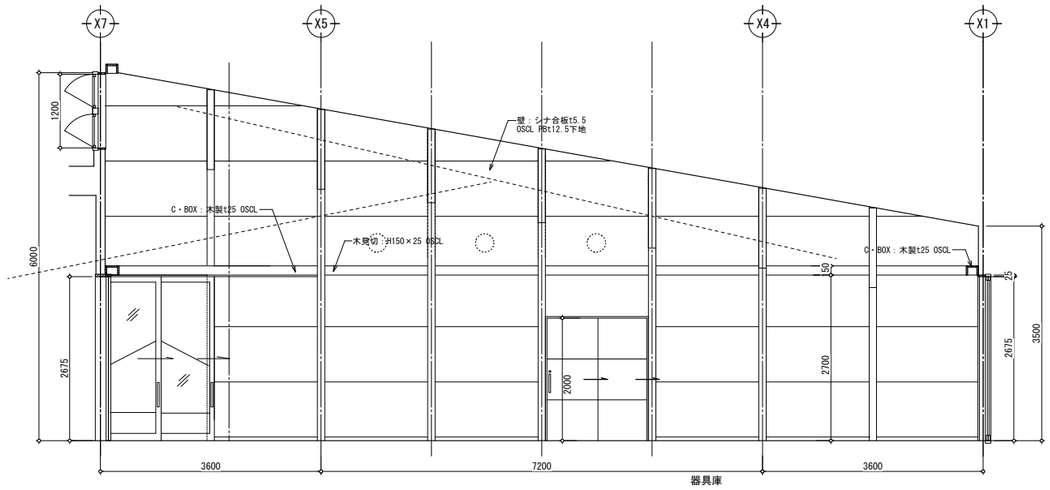
遊戯室



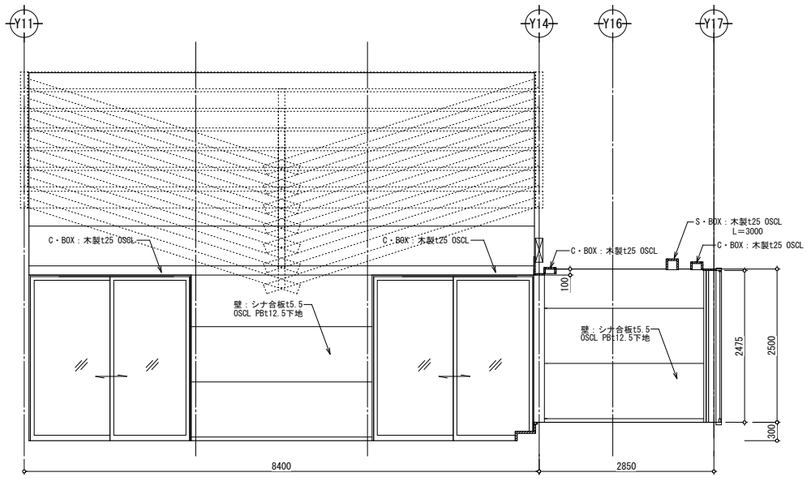
A´



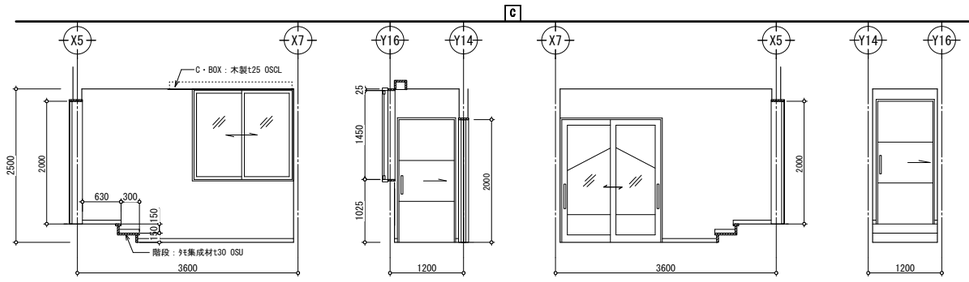
B



C

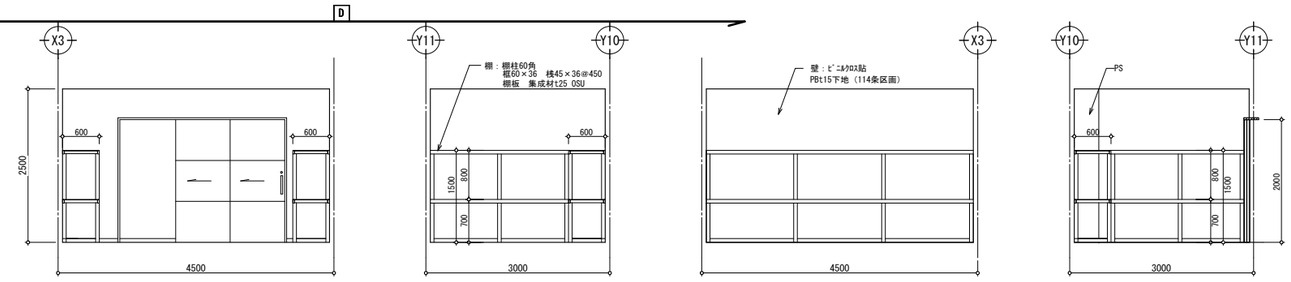


D



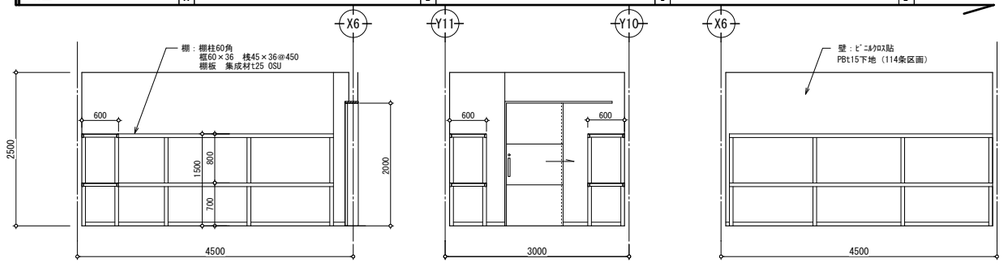
前室

A B C D



器具庫

A B C D

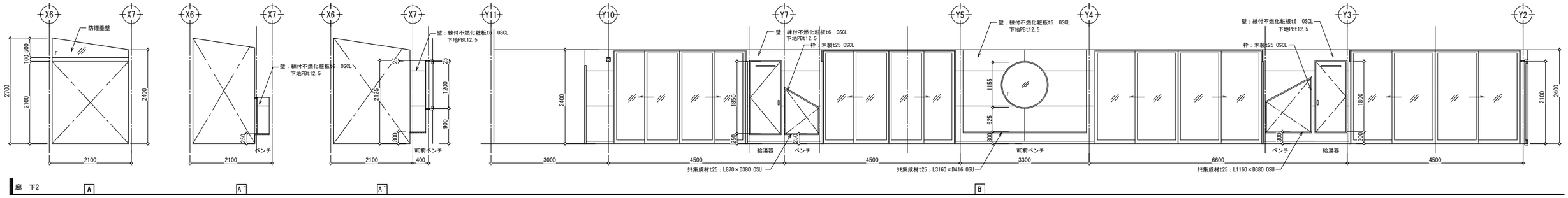


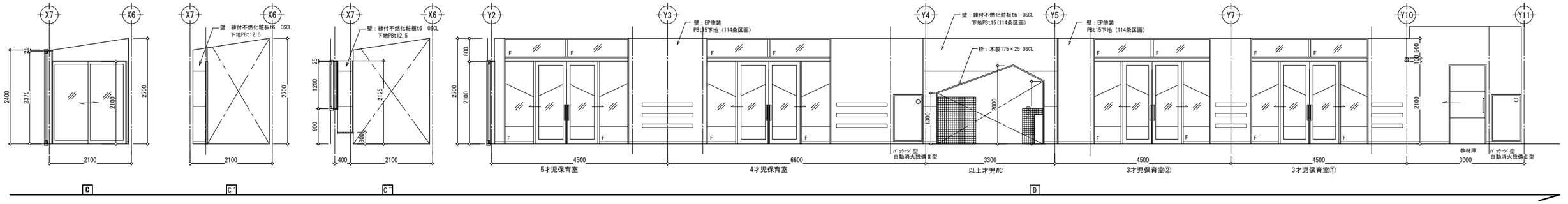
教材庫

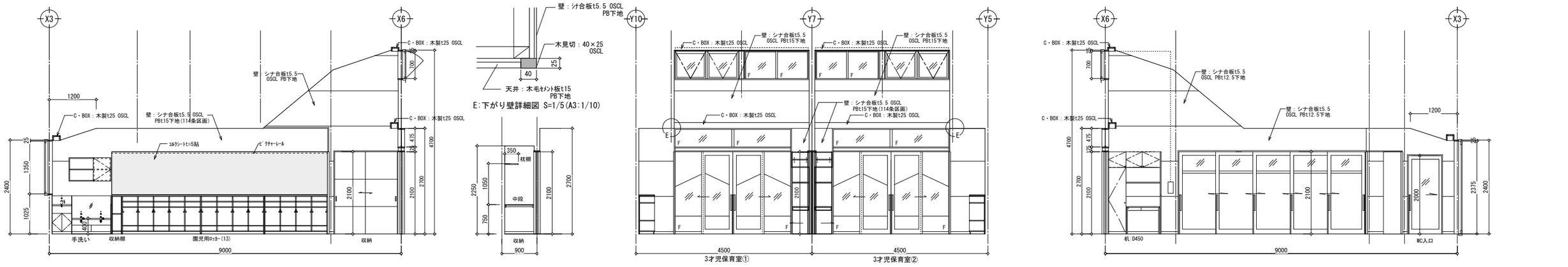
A B C D

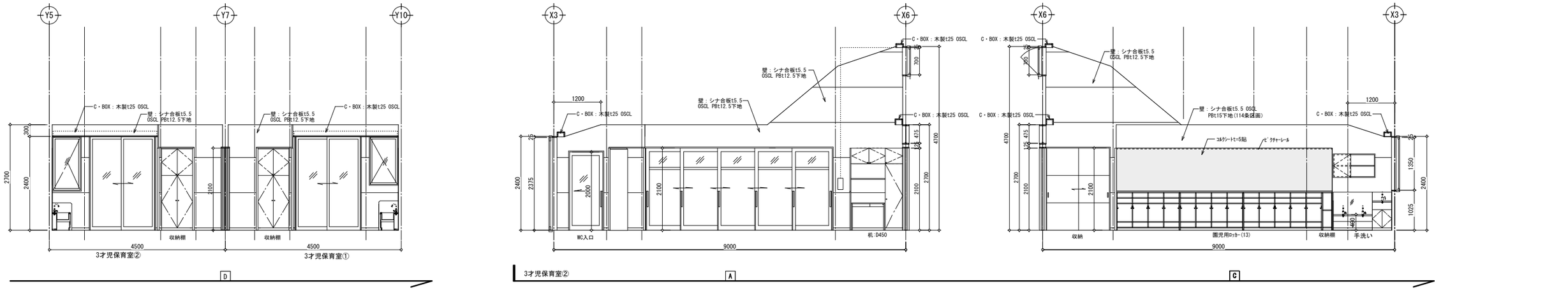
令和８年度　保育所管理事業 新保育園建設　建築工事	展開図 ２	SCALE A1:1/50 A3:1/100	DATE 2026.09.14	A-32

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

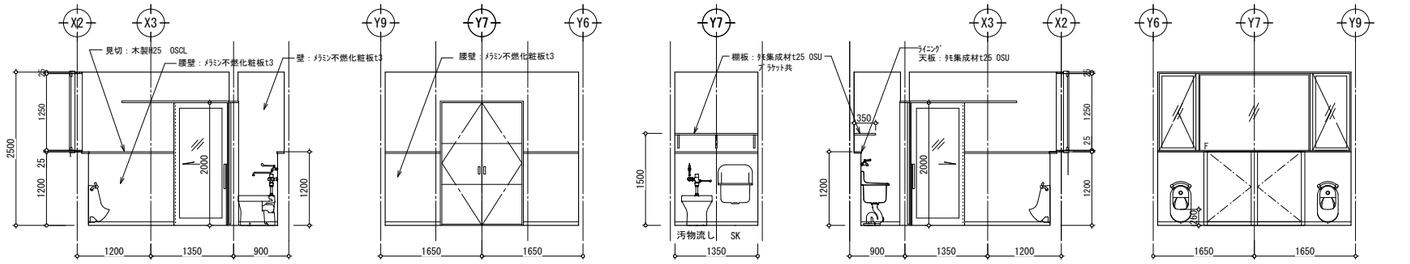




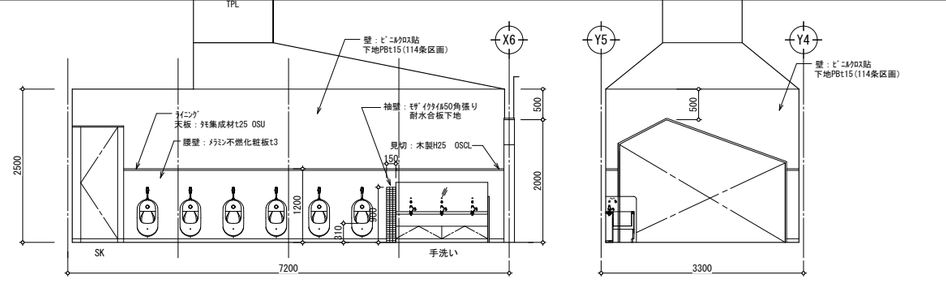




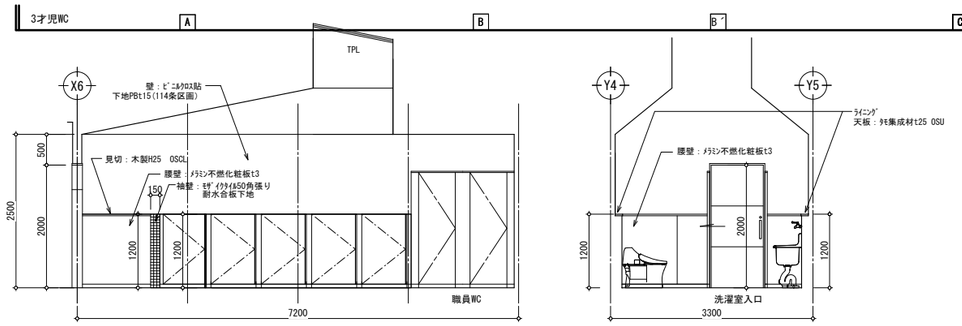
令和８年度　保育所管理事業 新保育園建設　建築工事	展開図 ３	SCALE A1:1/50 A3:1/100	DATE 2026.09.14	A-33
株式会社 倉橋建築計画事務所	長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登			

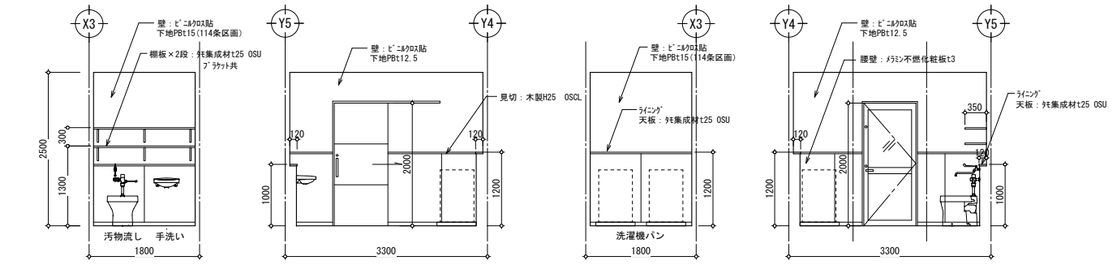


3才児WC

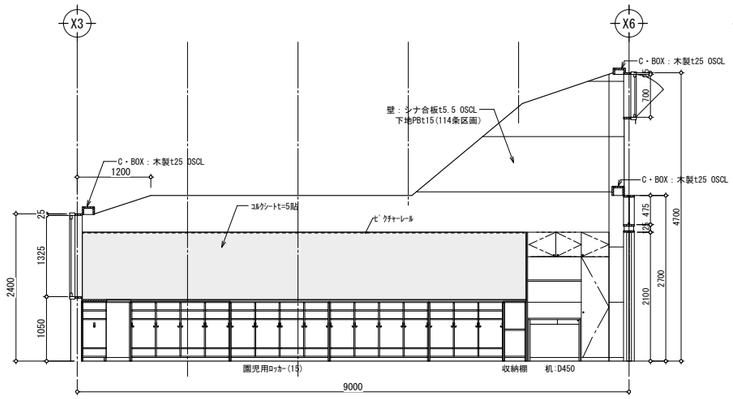


以上児WC

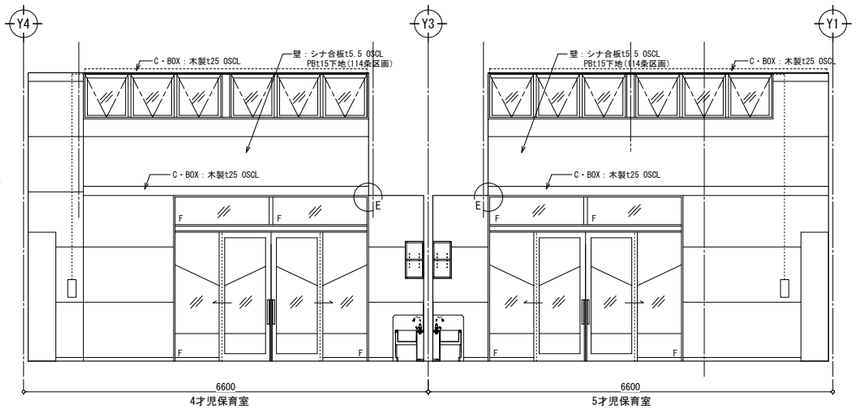


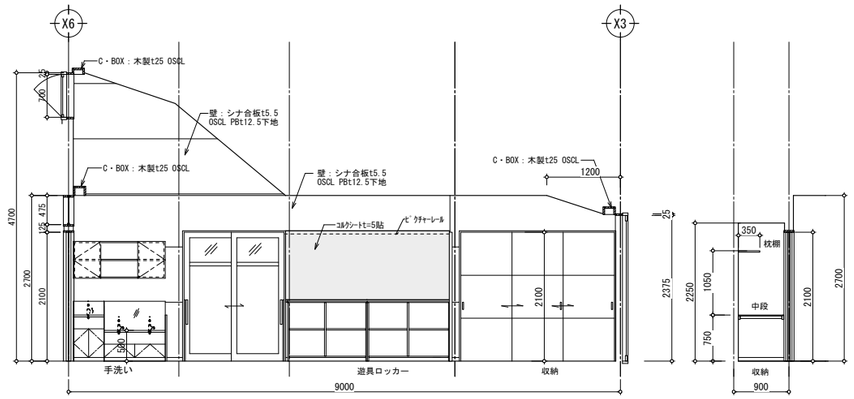


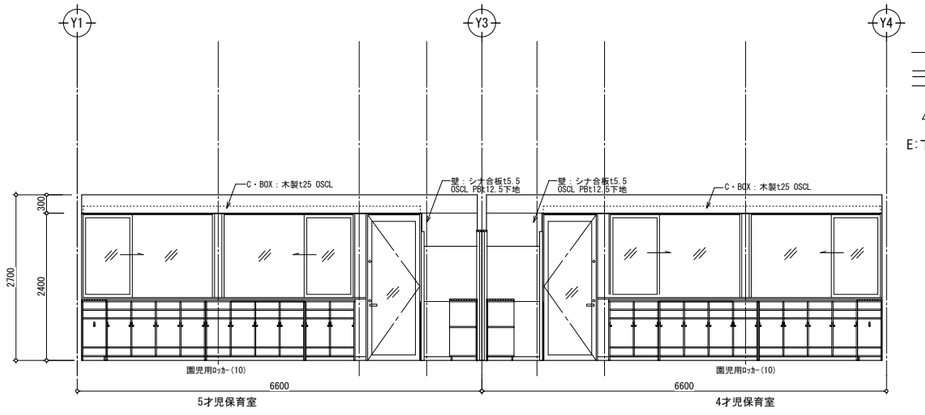
洗濯室

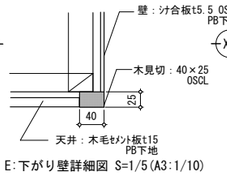


4才児保育室

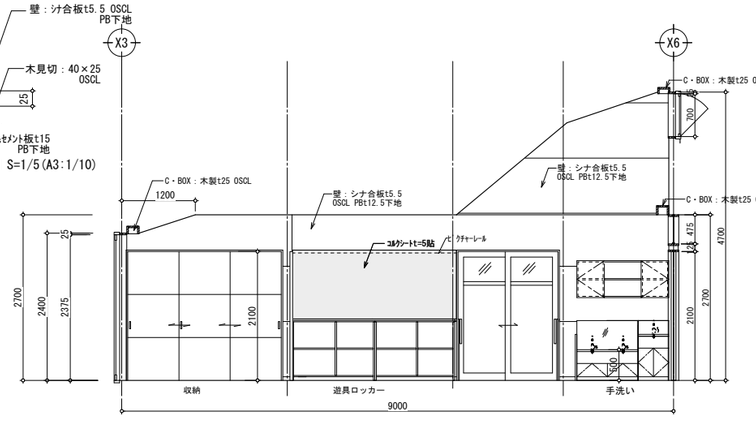


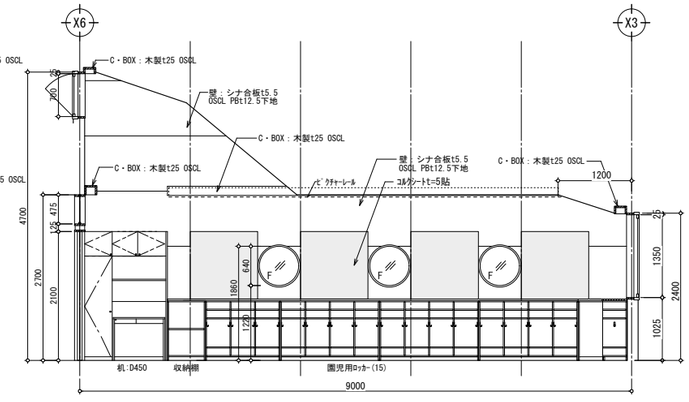






E:下がり壁詳細図 S=1/5(A3:1/10)

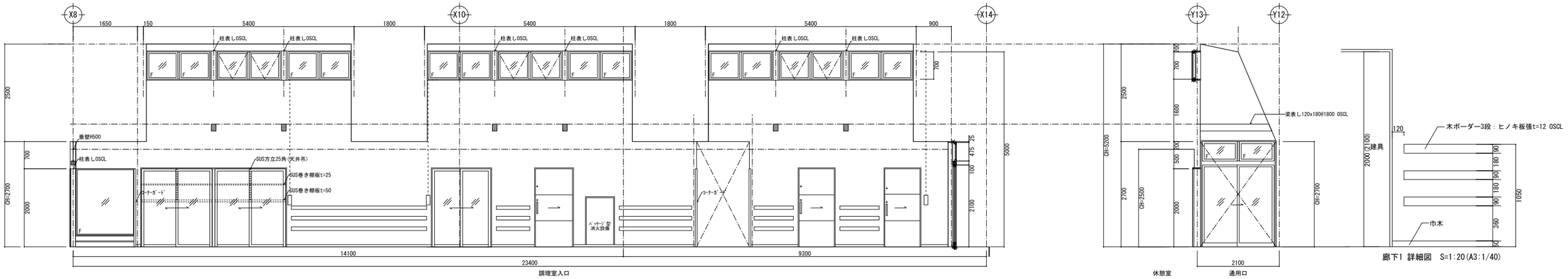


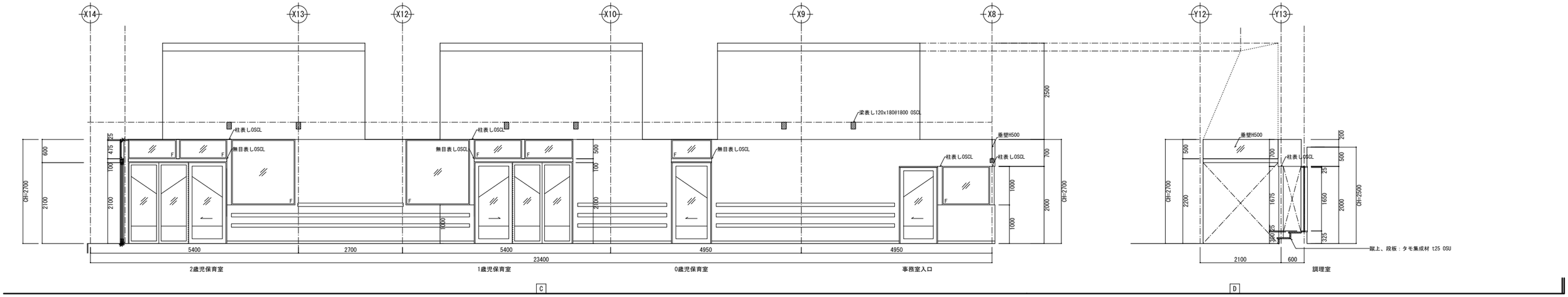


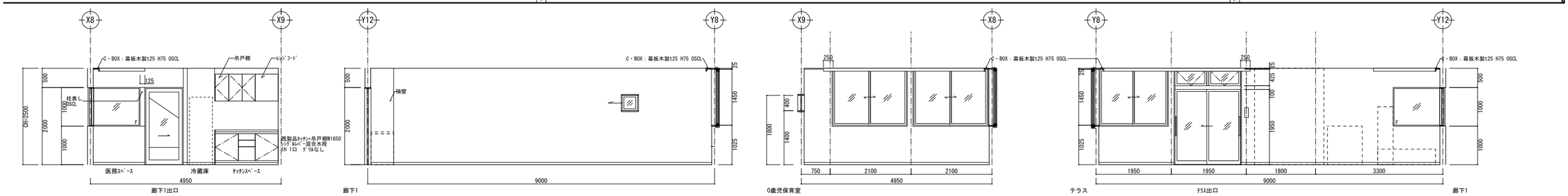
5才児保育室

令和８年度　保育所管理事業 新保育園建設　建築工事	展開図　4	SCALE A1:1/50 A3:1/100	DATE 2026.09.14	A-34

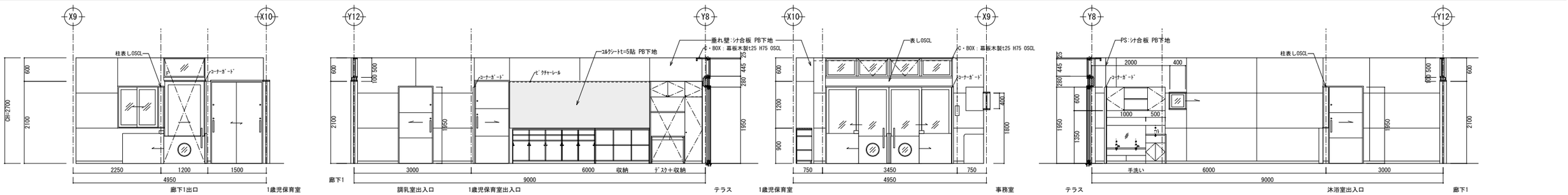
株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登







事務室



0歳児保育室

特記・凡例	

展開指示 A B C D

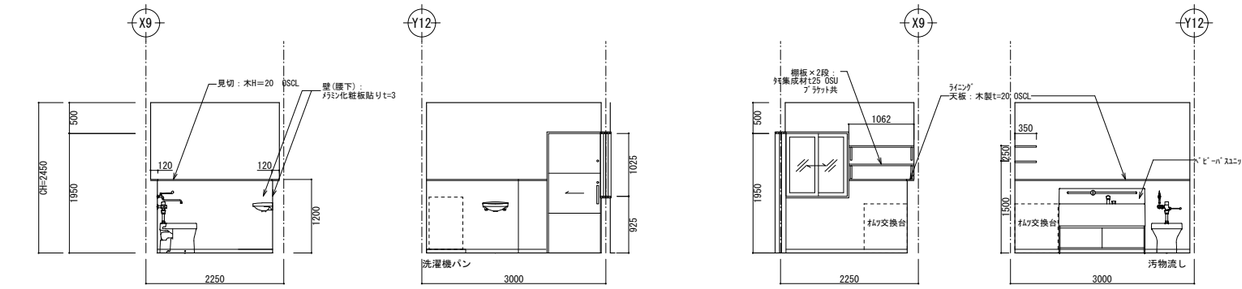
令和８年度　保育所管理事業
新保育園建設　建築工事

展開図 5

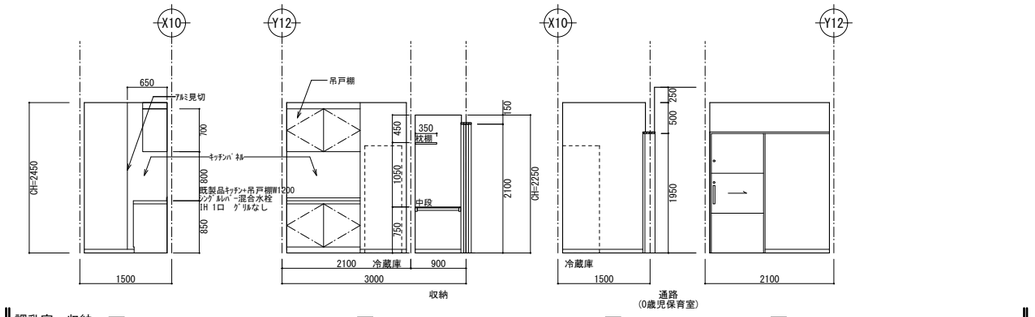
SCALE	DATE
A1:1/50 A3:1/100	2026.09.14

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

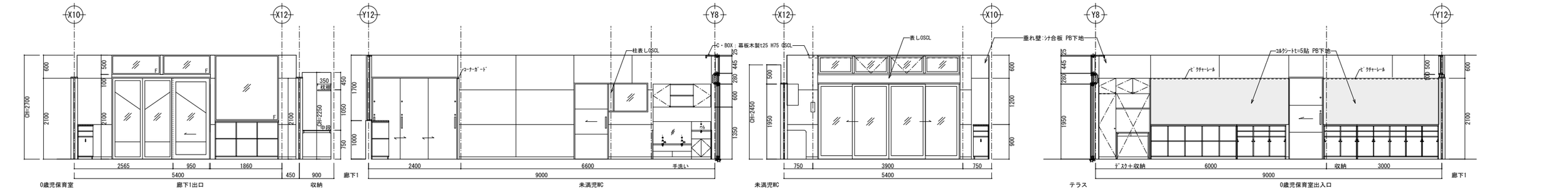
A-35



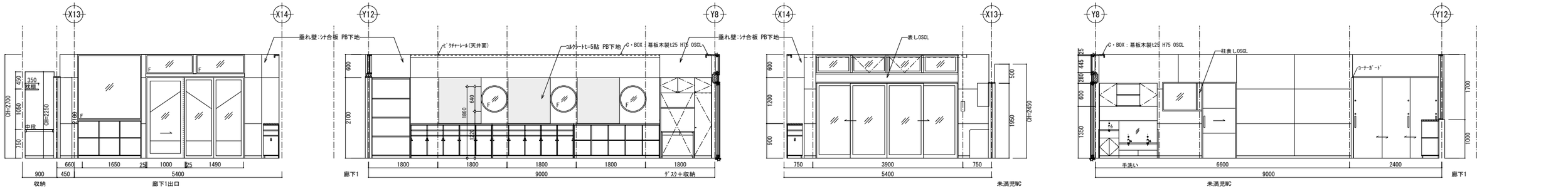
沐浴室



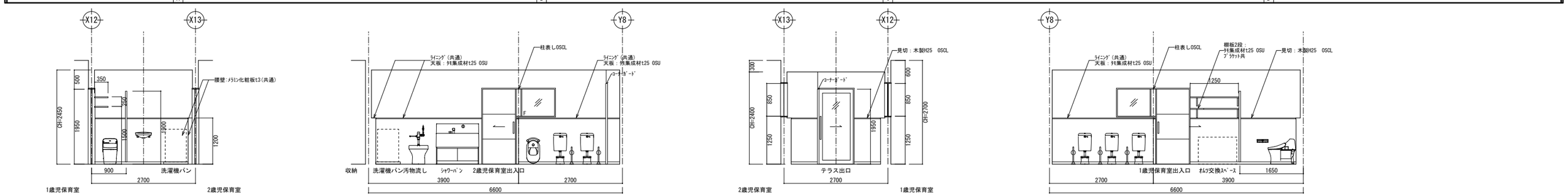
調乳室・収納



1歳児保育室

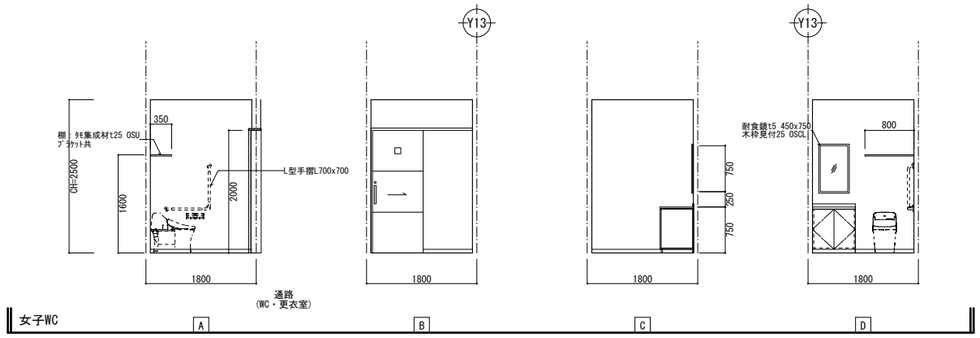


2歳児保育室

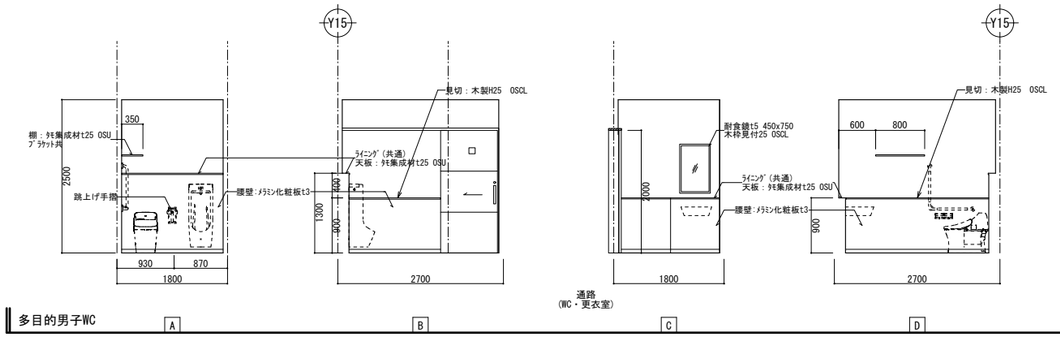


未満児WC

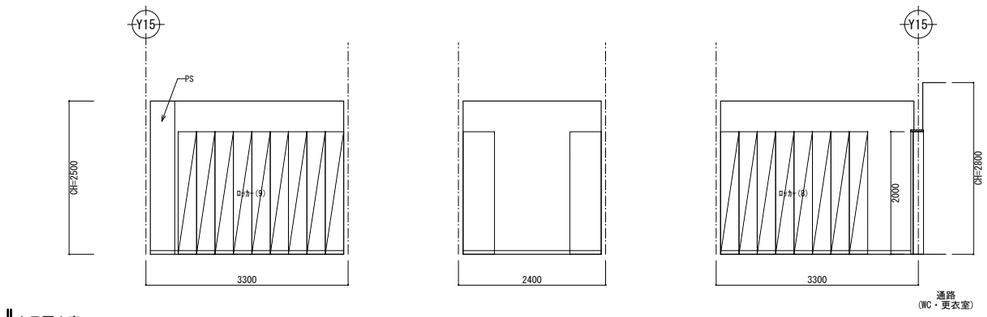
特記・凡例		令和８年度　保育所管理事業 新保育園建設　建築工事	展開図 6	SCALE A1:1/50 A3:1/100	DATE 2026.09.14		A-36
		展開指示	株式会社 倉橋建築計画事務所	長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登			



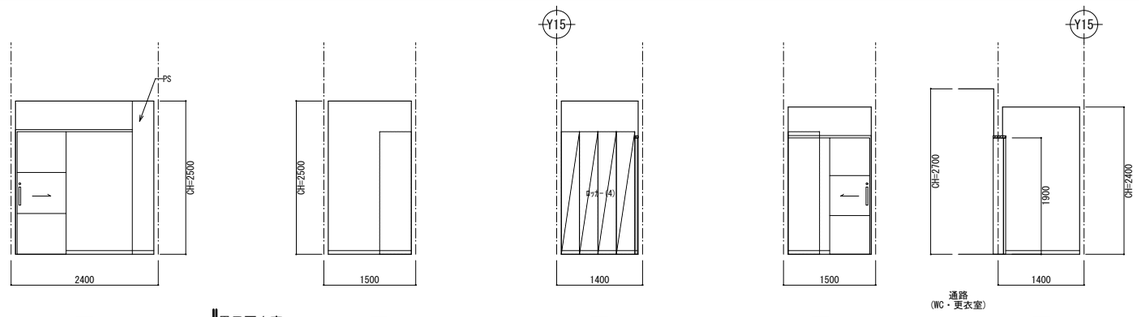
女子WC



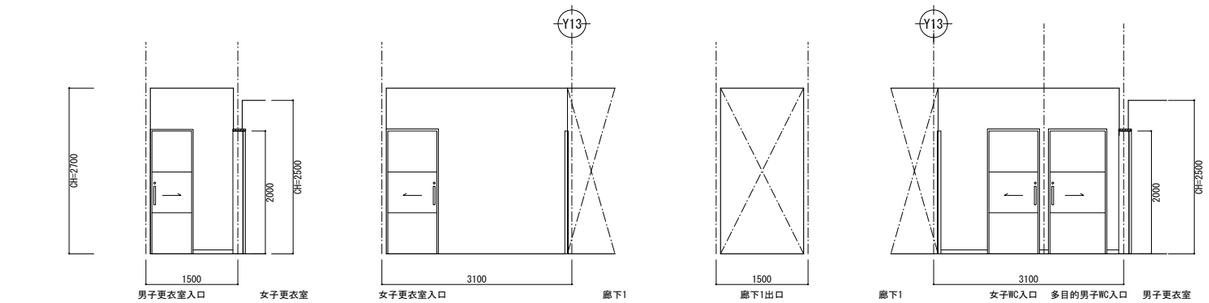
多目的男子WC



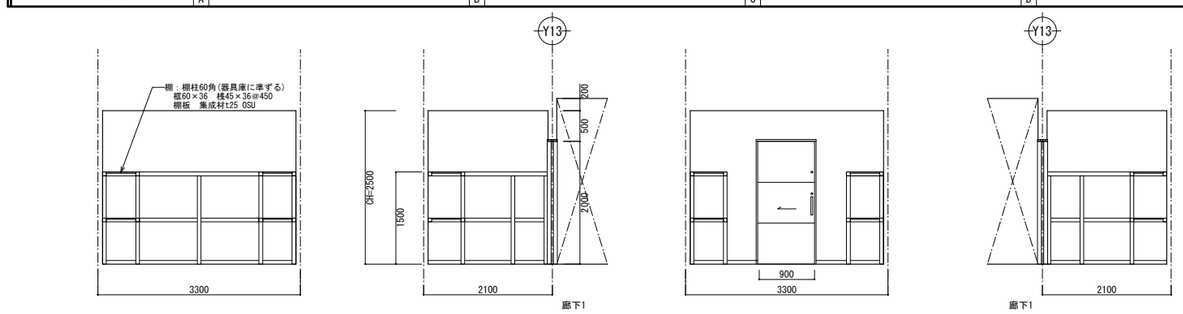
女子更衣室



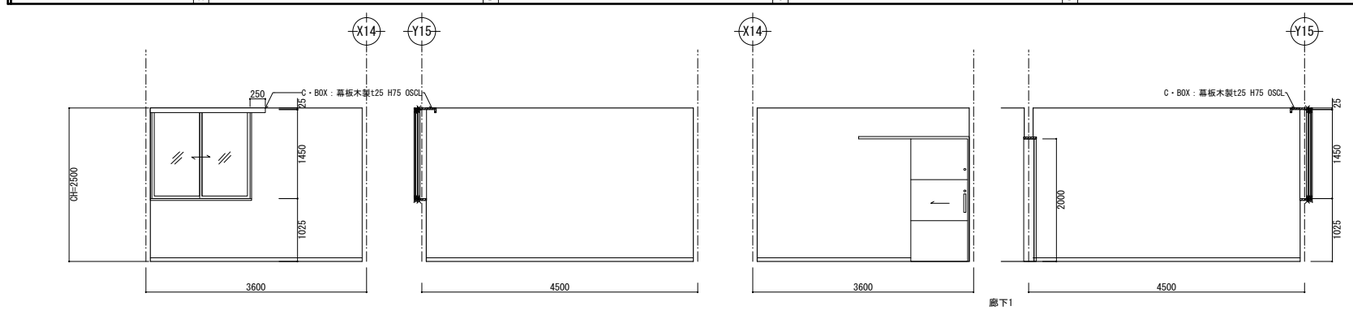
男子更衣室



通路(WC・更衣室)



廊下1収納室



休憩室

特記・凡例	

展開指示

令和８年度　保育所管理事業
新保育園建設　建築工事

展開図 7

SCALE	DATE
A1:1/50 A3:1/100	2026.09.14

株式会社 倉橋建築計画事務所
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

A-37